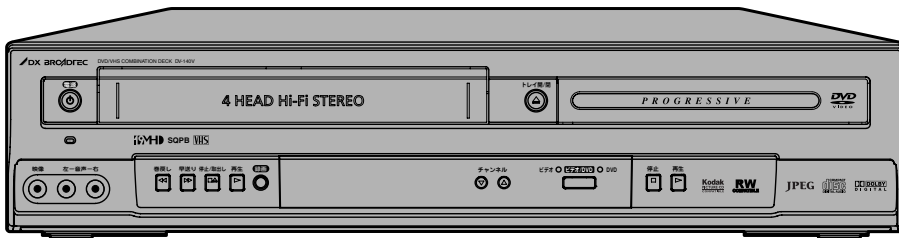
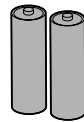
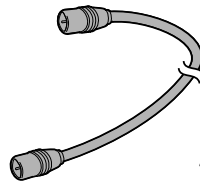
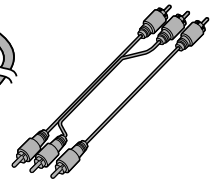
取扱説明書

このたびは製品を
お買い上げいただき、
ありがとうございます。

DVD/VHSコンビネーションデッキ DV-140V

製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見ることのできるところに必ず保存してください。

SQPB

付属品が同梱されているかお確かめください

保証書について

・保証書に販売店名と購入日（購入日を証明する納品書や領収書）の記入、納品書や領収書がありませんと保証期間内でも万一故障がある場合に有償修理になることがあります。内容をご確認の上、大切に保管してください。

もくじ

希望するところから再生する（サーチ）

JPEG

再生中の設定

DVD・CDの設定をかえる（セットアップ）

故障かな？と思ったら

その他

ー アナログ放送からデジタル放送への移行について ー

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の施策として決定されています。

アナログ放送受信チューナー内蔵の録画機器でデジタル放送を録画するには

別売りのデジタルチューナーまたはデジタルチューナー内蔵テレビと、お手元の録画機器を接続することにより、デジタル放送を録画いただけます。ただし、録画機器の種類により、接続方法は異なります。また、録画機器により録画画質は異なります。番組によっては、著作権保護の目的により、録画や一度録画した番組のダビングができない場合があります。

ご注意

■ 安全にお使いいただくために

この製品を正しく安全にお使いいただくために、次の事項に注意してください。

絵表示について

・この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

△記号は注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

絵表示の意味

• 必ず指示にしたがい、行なってください。

• 絶対に行わないでください。

• 絶対に触れないでください。

• 絶対に濡らさないでください。

• 注意してください。

• 破裂に注意してください。

• 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

• 絶対に分解/修理はしないでください。

• 絶対に水場では使用しないでください。

• 絶対に濡れた手で触れないでください。

• 高温に注意してください。

• 指をはさまないよう注意してください。

• 指のケガに注意してください。

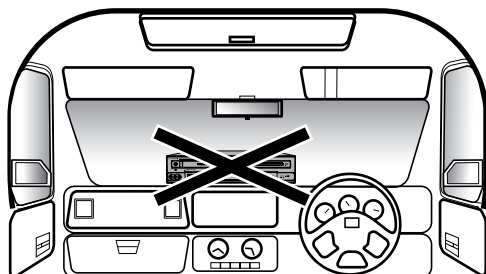
• 手をはさまれないよう注意してください。

おことわり

・製品本体やリモコンなどのイラストは、実際の商品と形状が異なる場合があります。

⚠警告　**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**

使用禁止

本機は車載用ではありませんので、お車の中ではご使用にならないでください。また、自動車内に放置しないでください。
- 車載で使用した場合、車特有のノイズをひろい、音声や画像が乱れます。
- 窓を閉めきった自動車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し、発火、発煙事故の恐れがあります。また冬場や雨期には結露が発生し、ビデオテープを傷めたり、本機の故障の原因になります。
- 市販されている電源コンバーターなどや、お車に付いているACコンセントを使って本機を使用しないでください。

⚠警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

使用禁止

プラグを抜く

本機や電源コードが異常なとき(煙がでている、異常に熱い、変なにおいがする)は使うのをやめ電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因になります。お客様による修理は危険ですからお買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

本機内部に水や異物が入ったときは使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因になります。お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本機が破損した場合、電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因になります。お買い求めの販売店にご連絡ください。

交流100V

本機を指定(表示)された電源電圧(交流100V)以外で使用しない

- 指定(表示)以外で使用すると火災・感電・故障の原因になります。
- 接続する前に指定の電源電圧に適合しているかもう一度確かめてください。

ほこりをとる

電源プラグのほこりなどはとる

- 絶縁不良となり火災・感電の原因となります。
- ほこりをとる際は、かわいた布でふいてください。

水濡れ禁止

水場での使用禁止

本機を水でぬらさない
水滴のかかる場所に置かない

- 海岸・水区や雨天・降雪時の窓辺での使用や設置に注意してください。
- 風呂場では使用しないでください。
- 内部に水が入ると火災・感電・故障につながります。

改造・分解禁止

本機を改造または分解しない

- 裏ぶた、キャビネット、カバーははずさないでください。感電の原因になります。
- 内部の点検・調整・修理は、お買い求めの販売店にご依頼ください。

禁止

本機をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない

- 落ちたり倒れたりしてけがの原因となるため注意してください。

電源プラグやコードを温度や湿度の高い場所(こたつの中やサウナなど)で使用しない

- 感電や火災の原因になります。

本機の開口部(通風孔/カセットテープ挿入口/ディスクトレイなど)から内部に異物をいれない

- 金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりすると火災・感電の原因になります。
- **特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。**

本機を持ち運ぶとき振動や衝撃をあたえない

- 故障の原因となることがあります。

本機の上に水などの入った容器を置かない(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)

- こぼれて本機の内部に入った場合、火災・感電の原因になります。

電源プラグは確実に差し込み、抜き差しが弱くなったものは使用しない

- 不完全な差し込みは接触不良となり発熱・火災・感電の原因になります。
- ときどき点検をしてください。

電源コードを正しく使用する
・束ねない・延長・固定しない
・タコ足配線しない

- 束ねての使用やステップルなどで固定すると内部の電線が切れ発熱し焼損・発火の原因になります。
- タコ足配線すると発熱し火災・故障の原因になります。

電源コードを傷つけない
・破損させない・加熱しない
・引っぱらない・加工しない
・切断しない・ねじらない
・曲げない・重いものをのせない

- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

DVDプレーヤーのピックアップからでるレーザ光線を直接見たり体に浴びない

- 失明や火傷をするおそれがあります。

本機は国際規格 IEC 825 に準ずるクラス1 レーザ製品です。

ご注意

警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

接触禁止

雷が鳴りだしたらアンテナ線や電源プラグにふれない

● 落雷すると誘導雷雷により感電することがあります。

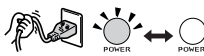
電源プラグやコードは乳幼児に触れさせない

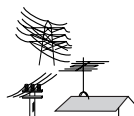
● 電源プラグやコードは小さなお子様の手の届くところに放置しないようご注意ください。
● 感電の原因となることがあります。

電源プラグやコードが傷んでいる場合(刃の曲がり、プラグカバーの傷み、心線の露出、断線など)は電源プラグをコンセントから抜く

● そのまま使うと火災・感電の原因になります。お買い求めの販売店にご連絡ください。

電源コードを動かすと電源が入ったり切れたりするときや、コードが部分的に熱いときは使用しない

● コード内部の電線が切れているため、使用すると感電・火災の原因になります。

アンテナは送配電線から離れた場所に設置する

● 倒れた場合は感電事故の原因になります。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

プラグを抜く

お手入れの際、電源プラグをコンセントから抜く

● 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本機を移動させる場合、電源プラグをコンセントから抜く

• アンテナ線や外部の接続線もはずす
● そのまま移動するとコードに傷がつき火災・感電の原因となります。
● ディスク/ビデオカセットテープは取り出しておいてください。

次のような場合、電源プラグをコンセントから抜いておく

• 長時間外出するとき
• 旅行をするとき
● 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

正しく入れる

乾電池は正しく挿入する

• プラス(+)とマイナス(–)の向きを正しく入れる
● 誤って挿入すると破裂・液もれによりけがや周囲を汚損する原因となることがあります。

掃除

年に一度くらいは本機内部の掃除を依頼する

● 内部にほこりがたまったまま使用すると火災や故障の原因となることがあります。
● 内部の掃除やその費用については、お買い求めの販売店にご相談ください。

海水や塩害に注意

● 海辺にお住まいのかたは窓からの海水や塩害に注意してください。

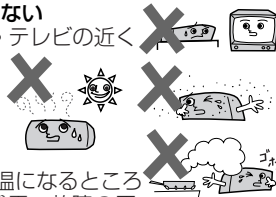
⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

濡れ手禁止

水濡れ禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり水や液体をかけない
- 水は電気を通しますので感電の恐れがあります。
- 必ずかわいた手で持ってください。

設置禁止

本機を次のような場所に置かない
- 湿気やほこりの多い場所
- テレビの近く
- 油煙や湯気が当たる場所
- 熱器具の近く
- 直射日光の当たる場所
- 押し入れや本棚など風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など高温になるところ
- 発熱による変形や火災・感電・故障の原因になります。

高温注意

電源コードを熱器具に近付けない
- コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

注意

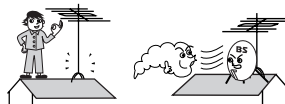
注意

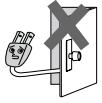
注意

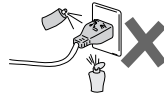
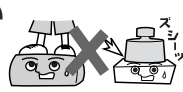
指や手をはさまれないように注意
- 小さなお子様がディスクトレイから手を入れないようご注意ください。
- けがの原因となることがあります。

破裂注意

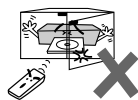
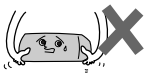
乾電池の取り扱いに注意
- ショートさせない
- 分解・加熱をしない
- 火の中に投入しない
- 破裂したりする危険があります。

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、お買い求めの販売店にご相談ください
- アンテナが倒れた場合の感電事故を防ぐため、送配電線から離れた場所に設置してください。

禁止

電源コードを引き回さない
- 戸を介して別の部屋へ引き回さないでください。コード内部の電線が切れて焼損や火災の原因となります。

電源コードを引っ張らない
- 電源プラグを抜くとき、電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

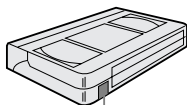
電源プラグに洗剤や殺虫剤をかけない
- 発煙や発火の原因となります。

本機の上に重いものを置かない、乗らない
- バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本機の通風孔をふさがない
- 風通しの悪い狭い場所に置かない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない
- 内部に熱がこもり火災の原因になります。

指定されていない電池は使用しない
- 新しいものと古いものを混ぜて使わない
- 種類の異なるものを混ぜて使わない
- 指定以外のものを使用すると破裂・液もれにより火災・けがの原因となることがあります。

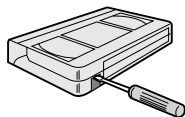
ガラスドア付ラックに入れたときは、ガラスドアを閉めたままリモコンのトレイ開／閉 ボタンを押さない
- 故障の原因になることがあります。

再生中は本機を絶対に動かさない
- 再生中はディスクが高速回転していますので、本機を動かすと、中のディスクを傷つけたり、破損するおそれがあります。

お使いになる前に

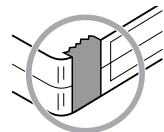
■ ビデオカセットテープについて

このビデオは VHS 方式のビデオです。 VHS マークのついたビデオカセットテープ以外は使用できません。

大切な録画テープを誤って消さないように…

誤消去防止用のツメ

• カセットテープには誤消去防止用のツメがついています。

誤って消さないために…

• ドライバーなどでツメを折ります。(ツメ折れテープは録画できません)

ふたたび録画したいとき…

• セロハンテープを二重に貼り、めくれないようにしてください。

テープの保管は…

● 次のような場所に保管された場合、テープを傷める場合があります。
- 湿気やほこりの多いところ、カビの発生しやすいところ
- 直射日光が当たるところやストーブの近く
- 磁気の発生するところ

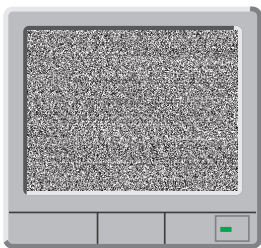
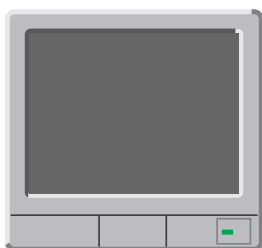
● 落としたり衝撃を与えないでください。
● ケースに入れて保管してください。

録画時間について…

● 標準：画質優先の場合に使用するモードです。テープに表示されている時間を録画することができます。
● 3倍：長時間録画の場合に使用するモードです。テープに表示されている時間の3倍の時間を録画することができます。

テープの種類	標 準	3 倍
T-60	60分	180分
T-120	120分	360分
T-160	160分	480分
T-180	180分	540分

映像が映らないとき…

● 突然、画像が下記のようになった場合は、ビデオヘッドが汚れていることが考えられますので市販または船井サービス(株)で販売している「クリーニングテープ」で、ヘッドクリーニングを定期的に行なってください。

“ノイズ”だけの映像

“ブルー”一色の映像

“ノイズ”が入った映像

● ヘッドクリーニングしても効果がない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

オートヘッドクリーニングおよびビデオヘッドの寿命について

● **オートヘッドクリーニング機能について**
カセットテープを入れたときや、出したときに自動的にビデオヘッドの汚れを取り除きます。上記画像になった場合には、ビデオヘッドのクリーニングが必要です。市販のクリーニングテープでヘッドクリーニングを行なってください。（ただし、取りきれない汚れもあります。）

● **ビデオヘッドの点検について**
美しい画面をご覧いただくためには、使用環境(温度/湿度/ほこり)などによって異なりますが、ビデオヘッドはおよそ**1000時間**を目安に点検・清掃されることをおすすめします。詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

● **ビデオヘッドの交換について**
ビデオヘッドは消耗部品です。ビデオヘッドは高速で回転しながらテープと接触し画像を録画・再生します。そのために長期にわたるテープとの摩擦によりビデオヘッドは磨耗してきます。再生画像が乱れたりクリーニングテープでヘッドクリーニングしても改善しない場合は、ビデオヘッドの磨耗が考えられ交換が必要になります。**お買い求めの販売店にご相談ください。**

■ 市販テープ・レンタルテープのダビングについて

市販のテープやレンタルテープをダビングされた場合、正常に録画できなかったり（画像が乱れる、定期的に暗くなったり明るくなったりする）、テレビの映像が正常に映らない場合があります。これは著作権保護の目的で、コピーガード機能が働いているために起こる現象です。本機の故障ではありません。
● **あなたがテレビ放送や音楽用CD、録画物などから録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。**

■ テープ内容補償・ご注意について

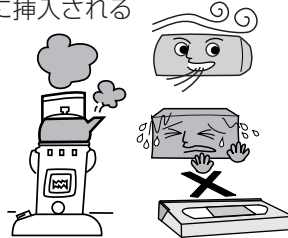
● **万一本機およびビデオカセット等の不具合により正常に録画されなかったり、再生できなくなった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。**

■ 結露について（本機は乾燥した状態でご使用ください。）

● 結露が発生したときはビデオテープやディスクを本機に挿入しないでください。（本機やビデオテープ、ディスクを傷めてしまいます。）
結露が発生しているときに、ビデオテープを本機に挿入されると、ドラムヘッドにテープが張り付き巻き付いてしまい、テープや本機を傷めてしまいます。また、ディスクを本機に挿入されると、ディスク信号が読み取れず、本機が正常に動作しないことがあります。

● 本機はよく乾燥した状態でお使いください。
結露が発生した場合、電源ボタンを「入」にしたまま、最低2時間は乾燥のため放置したうえで本機をご使用ください。

■ 結露とは…
暖房した部屋の窓ガラスに水滴がつくことがあります。これを「結露」(またはつゆつき)と呼びます。本機に結露が発生した場合は、本機内部のドラムヘッドやピックアップレンズ、ディスクに水滴がつきます。乾燥させないかぎり、本機はご使用にならないでください。

■ 次のようなときに結露になりやすいので、ご注意ください。
• 本機を寒いところから暖かい部屋に移動したとき
• 急に部屋を暖房したとき
• エアコンなどの冷風が直接当たるところ
• 湿気の多いところ

結露が発生したときの
テープが巻き付いてしまった状態

正常なテープローディング状態

■ ディスクの取り扱い

● 再生面(虹色に光っている面)に触れないようにディスクの端を持ってください。
● 紙などを貼ったり、傷をつけたりしないでください。
● 直射日光の当たる場所や熱器具のそばなど高温になる場所には置かないでください。(車のダッシュボードやリヤウインドウなどに放置しないでください。)
● 使用後は、**所定のケースに入れて、保管してください**。ケースに入れずに重ねたり、ななめに立てかけて置くとソリの原因になります。
● 指紋やほこりによるディスクの汚れは、音質や画質低下の原因となります。いつもきれいに清掃しておきましょう。
● お手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外のほうへ軽くふきます。汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸し、よくしぼってからふき、乾いた布で水気をふき取ってください。
● ベンジン/レコードクリーナー/静電気防止剤などは、逆にディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
● 再生可能なディスクについては11ページを参照してください。

■ 著作権について

● **ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。**
● **ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画面は乱れます。**
● 本製品は、著作権保護技術を採用しており、米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
● 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
● DVD はDVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の登録商標です。

■ 本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について

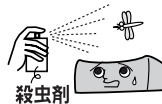
本機のプログレッシブ出力 (525P/480P)は、マクロビジョンコピーガード方式に対応しています。プログレッシブテレビによっては本機プログレッシブ出力に対応しておらず、映像に悪い影響が生じる可能性があります。プログレッシブ映像出力においてこのような問題が起きた場合は、　電源がオンの状態で本体DVD側の“再生”ボタンを５秒以上押し、本体表示部の“ P．SCAN ”をオフにしてください。

■ お手入れについて

キャビネットは…

- キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってからふき取り、最後にかわいた布でからぶきしてください。中性洗剤をご使用の際は、その注意書をよくお読みください。
- シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。
- 殺虫剤などの揮発性のものをかけないでください。

取り扱いは…

- 国外では使えません。
  本機は日本国内用に設計されています。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
  (This DVD/VHS combination deck is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)
- ご使用にならないときは、必ず停止ボタンを押してからビデオカセットテープまたはディスクを取り出し、電源を切ってください。

■ 本機の置き場所や取り扱い

- 本機の上に、テレビなど重いものを置かないでください。画面にノイズがでたりキャビネットが変形するなど故障の原因となります。
- 不安定な場所や振動の多い場所、ほこりの多い場所には置かないでください。故障や事故の原因となります。
- 使い終わったあとは電源を切り、節電に心掛けましょう。また旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。
- 長期間ご使用にならないときは、ディスクを取り出し電源を切ってください。
- 本機を移動するときは、ビデオテープまたはディスクを取り出し、電源を切ってください。

■ トラッキング調整について

ほかのビデオで録画したテープを本機で再生すると、映像にノイズが発生する場合があります。その調整を行うのが、トラッキング調整で、デジタル調整(自動)とマニュアル調整(手動)の2つの方法があります。初期状態ではテープを再生するとデジタルトラッキング調整が自動的に行われますが、ノイズが少なくならない場合はマニュアルトラッキング調整をしてください。

デジタルトラッキング調整

- 再生中、自動的に調整します。

マニュアルトラッキング調整

- デジタルトラッキング時にテレビ画面を見ながら、ノイズが最も少なくなる状態までリモコンまたは本体のチャンネル(▲▼)ボタンを押して調整してください。画面ノイズの発生状況は録画テープにより異なります。（ノイズが少なくなるまで、チャンネル(▲▼)ボタンを数回押すか、押し続けてください。）
  - 再生中に停止ボタンを押しもう一度再生ボタンを押す、またはビデオカセットテープを入れ直すとデジタルトラッキングに戻ります。

■ アンテナについて

- 妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してください。
- 風雨にさらされているので、定期的に点検・交換することをおすすめします。
- アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

■ ご注意

- 本機の近くで携帯電話およびPHSなどを使用すると、映像または、テレビ画面や音声にノイズが入ることがあります。この現象は本機の故障ではありません。携帯電話およびPHSなどを使用するときは、本機から離れた場所でご使用ください。
- 次のような場合に、映像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一このような状況が生じた場合は、テレビと本機を離してください。
  - 本機の上に、テレビを直接置いたとき。
  - テレビの上に、本機を直接置いたとき。

■ リサイクルについて

- 本製品の梱包材はリサイクルができ、再利用が可能です。
  お住まいの地域のリサイクルに関する取り決めにしたがって梱包材を処分してください。
- 乾電池は、投棄や焼却処分をしないで化学廃棄物に関する地元自治体の規制にしたがって処分してください。

■ この取扱説明書の見かた

本文見出し下部や注意書き部分に下記の用語が記されています。それぞれの意味は次の通りです。

DVD-V　DVDビデオディスクで楽しめる機能を表します。

DVD-RW/-R VRフォーマット　VRフォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）で記録されたDVD-RW/-Rディスクで楽しめる機能を表します。

CD　音楽用CDで楽しめる機能を表します。

JPEG　JPEGが記録されたCD-RW/-Rで楽しめる機能を表します。

あどばいす　操作上、気を付けていただきたい情報を表します。

用語の説明や操作の補足説明を表します。

この取扱説明書では操作の説明をリモコン主体で行なっています。

■ 再生できるディスク

本機では、下表のディスクを再生できます。

【DVDビデオディスク】
- 本機は、NTSC方式に適合しています。PALやSECAMなどのほかの方式で、記録されたディスクは再生できません。
- DVDビデオには、リージョン番号（再生可能地域番号）が設けられています。
  本機のリージョン番号（再生可能地域番号）は「2」です。（リージョン番号が2以外でも「ALL」と表記されているディスクは、再生できます。）

ディスクの種類	ディスクの内容	ディスク盤の大きさ
DVDビデオディスク リージョン番号 2 ALL 上記リージョン番号のついたNTSC方式のDVDビデオディスク	音声＋映像(動画)	12cm盤 8cm盤
DVD-RW/DVD-R※1 記録状態によっては再生できないディスクもあります		
音楽用CD	音声	12cm盤 8cm盤（シングル）
CD-RW/CD-R※1、2 音楽CDフォーマット、JPEG形式で記録されたディスク	音声 静止画像（JPEG）	12cm盤 8cm盤
KodakピクチャーCD	静止画像（JPEG）	12cm盤

- ディスクレーベル面に上記ロゴマークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。規格外ディスクを使用された場合には再生できない場合があります。また再生できた場合であっても、画質・音質の保証は致しかねます。
- ディスクの記録状態、傷、汚れやDVD再生機のピックアップレンズの状態により再生できない場合があります。
- Content Protection for Recordable Media　CPRMとは、「1回だけ録画可能」番組に対してスクランブルをかけて録画する著作権保護システムです。

DVD-RW/-Rディスクの再生について
- 再生できるDVD-RW/-Rは、ビデオフォーマットまたはVRフォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）で記録されているディスクです。（CPRM対応）
- DVD-RW/-Rディスクは、本機で再生する前に、記録したレコーダーでファイナライズを行なってください。

※弊社製のDVDレコーダーで記録された未ファイナライズディスクに対応しています。他社製のDVDレコーダーで記録されたファイナライズしていないディスクは再生できません。
- ビデオフォーマット、VRフォーマット、ファイナライズ等、DVD-RW/-Rについて詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

RW COMPATIBLE　この表示は、DVDレコーダーでVRフォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）記録されたDVD-RWディスクが再生できる機能を示します（CPRM対応）。

下記のディスクは再生できません。
- リージョン番号「2」、「ALL」以外のDVD ● VCD ● DVD-ROM
- CD-ROM ● VSD ● CDV ● CD-G ● DVD-RAM ● DVD-Audio
- CD-RW/-R(音楽用、JPEG用データ以外のもの) ● CD-i ● DTS-CD
- SACD（ハイブリッドディスクで、通常のオーディオCD層に記録された音は再生することができます。スーパーオーディオCD層に記録された音は再生することはできません。）
- フォトCD　など
- 特殊な形状のディスク(ハート形など)（故障の原因となります。）

■ 8cmアダプター（音楽用CD用)は使わないでください。故障の原因となります。
■ 記憶領域が少ないディスク（直径55mm以下）は、再生できない場合があります。

※1ディスクにラベルや紙などを貼りつけると、再生できない場合があります。
※2CDの標準規格に準拠していない「コピーコントロールCD」などのディスクについては、再生の状態を保証できません。
特殊ディスク再生時にのみ支障をきたす場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。

■ ディスク表示について

DVDビデオソフトに記載されている表示をご確認のうえお楽しみください。

表示		機能説明
・リージョン番号（再生可能地域番号）を表しています。 2 ALL		・本機は、「リージョン番号」が「ALL」または「2」の含まれるDVDビデオディスクの再生が可能です。
・DVDビデオディスクに記録されている画面サイズを表しています。		・本機を接続するテレビの種類（ワイドテレビや4：3のテレビ）に応じた画面サイズが選べます。
	4:3	・4：3の画面サイズで記録されています。
	16:9 LB	・ワイドテレビではワイド画像を、4：3のテレビでは上下に黒いバーつき（レターボックス）サイズ画像を楽しめるように記録されています。
	16:9 PS	・ワイドテレビではワイド画像を、4：3のテレビでは左右をカットした4：3の画像を楽しめるように記録されています。
・字幕の種類を表しています。 例： 2　1：日本語 字幕 2：英語 字幕		・リモコンの字幕ボタンまたは、再生設定画面でお好みの字幕が選べます。
・DVDビデオディスクに記録されているアングル数（前方からの撮影画像や後方からの撮影画像）を表しています。 例： 2		・リモコンのアングルボタンまたは、再生設定画面でお好みのアングルが選べます。
・音声トラック数や音声記録方式を表しています。 例： 4 音声1：オリジナル<英語>（5.1chサラウンド） 音声2：日本語（ドルビーサラウンド） 音声3：ドルビーデジタル（ステレオ） 音声4：リニアPCM音声		・DVDビデオディスクに記録されている音声をリモコンの音声切換ボタンで切り換えることができます。 ※本機は、DTS音声出力に対応していません。

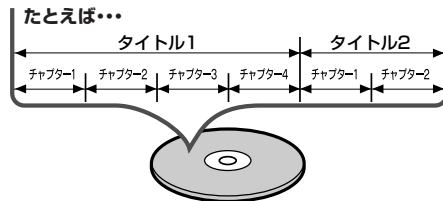
■ ディスクの構成

DVDビデオディスクは、「タイトル」と「チャプター」に区切り構成されています。

● タイトルとは、たとえば複数の映画が入っているDVDビデオディスクで各映画ごとをさします。

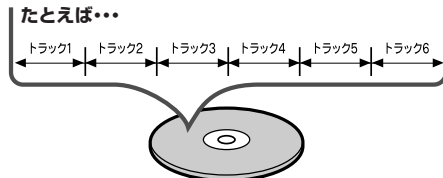
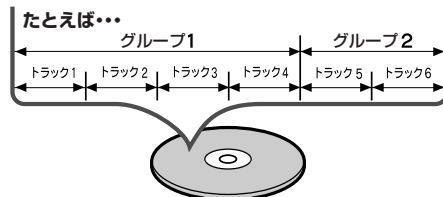
● チャプターとは、「タイトル」をさらに細かく分けたものです。

音楽用CD

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

音楽用CDは、「トラック」に区切り構成されています。

● トラックとは、たとえば複数の音楽が入っているCDで各曲ごとをさします。

CD-RW/-R
（JPEGファイル形式）

たとえば・・・
グループ1　グループ2
トラック1　トラック2　トラック3　トラック4　トラック5　トラック6

● CD-RW/-Rに記録されているJPEGのデータはグループとよばれる部分に分けられ、各グループはトラックとよばれる小さな部分に分けられています。JPEGデータ作成の際、アルバムやトラックは階層に分けて記録させることができます。（記録方法はJPEGデータを作成した機器の説明書をご覧ください。）本機では8階層まで認識することができます。

■ おもな特長

ビデオ

ステレオ音声多重機能 [➡ 55ページ]
- ステレオサウンドや音声多重放送を楽しむことができます。

CATV対応チューナー [➡ 31～32ページ]
- C13ch～C63chまでのフルバンドを受信できます。

DVD

ドルビーデジタルサラウンド [➡ 25、101～102ページ]
- ドルビーラボラトリーズが開発した音声圧縮方式でマルチチャンネルサラウンドによる音の移動感や立体感を楽しむことができます。

早送り、早戻し、一時停止（静止）、コマ送り再生、スロー再生 [➡ 65、67～69ページ]
- 早送り再生、早戻し再生、静止画、コマ送り再生、スロー再生などの再生ができます。

ランダム再生(音楽用CD、JPEG) [➡ 73、87ページ]
- 本機は、トラックの順番をランダムに変えて再生することができます。

プログラム再生(音楽用CD、JPEG) [➡ 72、86ページ]
- 本機は、トラックの順番をプログラムして、お好きな順番で再生することができます。

早見早聞／遅見遅聞再生(DVD) [➡ 68ページ]
- 早送り／遅送り再生時でも聞き取りやすい音声を出力する機能です。

DVDメニュー言語切り換え [➡ 96～98ページ]
- ディスクに含まれているメニューが、多言語対応の場合、メニューに表示する言語が選択できます。

自動電源オフ機能 [➡ 105～106ページ]
- 「その他」の設定でオートパワーオフ機能を[オン]に設定した場合、静止、停止状態で30分間入力がないと、電源が自動的に切れます。

希望する言語で字幕を表示 [➡ 89、96～98ページ]
- 希望する言語が、ディスクに記録されている場合には、字幕の表示にその言語を選ぶことができます。

カメラアングルの選択 [➡ 90ページ]
- 異なるアングルからの映像が、ディスクに記録されている場合には、希望するカメラアングルを選ぶことができます。

音声言語とサウンドモードの選択 [➡ 88、96～98ページ]
- 複数の音声チャンネルの言語とサウンドモードが、ディスクに記録されている場合には、好きな言語、またはサウンドモードを選ぶことができます。

パレンタル設定 [➡ 103～104ページ]
- パレンタルレベルを設定して、子供の視聴が好ましくないディスクの再生を、制限することができます。

ディスクの自動判別
- DVD、音楽用CD、およびJPEGを自動的に判別して再生します。

バーチャルサラウンド [➡ 92ページ]
- バーチャル（疑似）サラウンドを楽しむことができます。

プログレッシブ [➡ 23ページ]
- 接続したテレビがプログレッシブ映像に対応しているとき、従来方式のインターレーススキャン方式より、ちらつきの少ない高密度の画像を楽しむことができます。

画面表示 [➡ 94ページ]
- 各時点で行なっている操作情報を、テレビ画面上に表示します。また、リモコンを利用してテレビ画面上で、(プログラム再生などの)その時点に有効になっている機能を確認することができます。

サーチ [➡ 74～79ページ]
- チャプターサーチ（DVD）：
  ユーザーが指定したチャプターをサーチすることができます。
- タイトルサーチ（DVD）：
  ユーザーが指定したタイトルをサーチすることができます。
- トラックサーチ（音楽用CD、JPEG）：
  ユーザーが指定したトラックをサーチすることができます。
- タイムサーチ：
  ユーザーが指定した時間をサーチすることができます。

リピート [➡ 70～71ページ]
- チャプター、タイトル、トラック：
  再生中のディスクのチャプター、タイトル、トラックを繰り返して再生することができます。
- オール（DVD-RW/-R（VRフォーマット）、音楽用CD）：
  再生中のディスク全体を繰り返して再生することができます。
- A-B（DVD、音楽用CD）：
  ユーザーが指定したAからBまでの部分を繰り返して再生することができます。

ズーム [➡ 91ページ]
- 2倍または4倍に拡大した画面を表示させることができます。

つづき再生（リジューム機能）[➡ 66ページ]
- 再生をストップした位置から再生することができます。

黒レベル [➡ 92ページ]
- 暗部の階調を補正し、暗いシーンでも見やすくできます。

ビットレート表示 [➡ 94ページ]
- ディスクの画像情報量を示します。

DRC [➡ 101～102ページ]
- 音量範囲をコントロールします。

マーカー [➡ 93ページ]
- ユーザーが指定した位置を呼び出すことができます。

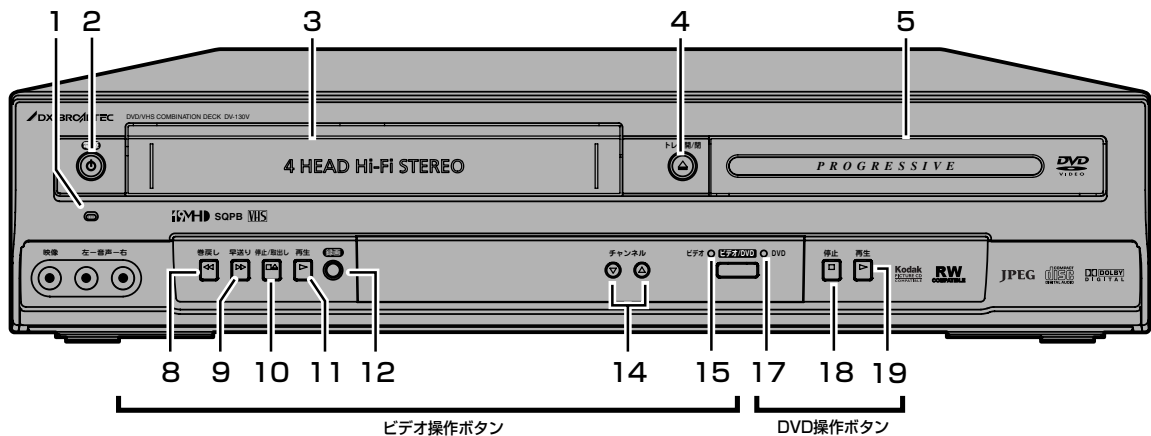
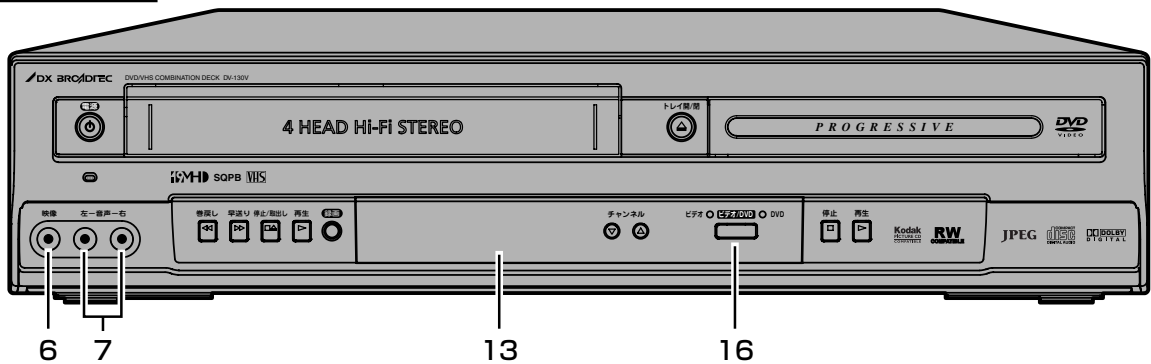
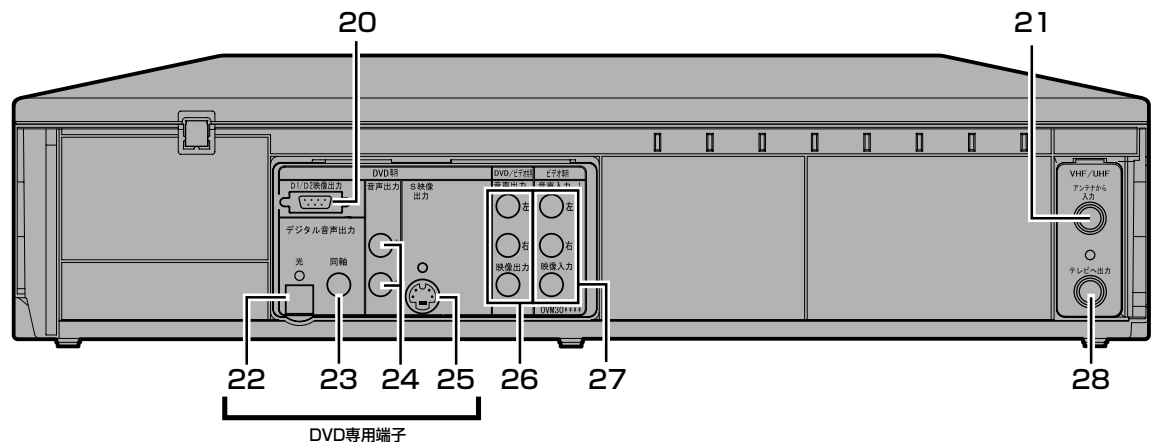
ダウンサンプリング [➡ 101～102ページ]
- 96kHzのPCMで録音された音声信号を48kHzに設定することができます。

スクリーンセーバー機能
- 約5分間の無操作で、スクリーンセーバーが起動します。

DVD-RW/-R(VRフォーマット)ディスク再生
- VRフォーマット(ビデオレコーディングフォーマット)で記録されたDVD-RW/-Rディスクを再生することができます。
- 一回だけ録画可能の放送番組を録画したCPRM対応のDVD-RW/-Rディスク(VRフォーマット)を再生することができます。

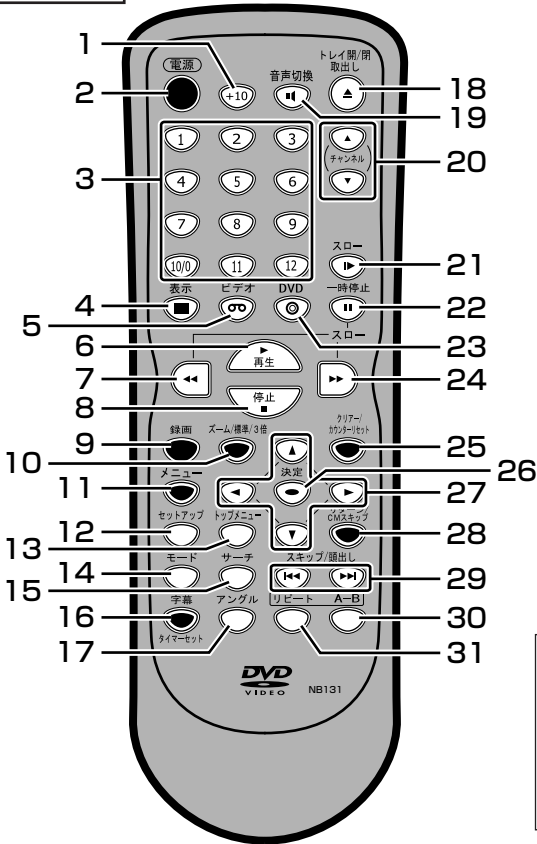
各部のなまえ

■ 各部のなまえ

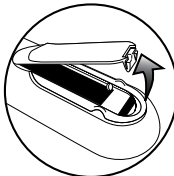
前　面１

前　面２

後　面

あどばいす

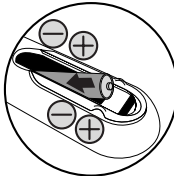
- テープ走行中(再生／録画中など)に電源プラグをコンセントから抜かないでください。テープのから回りなど、故障の原因となります。
- 電源プラグを抜くときは、ディスクやテープを取り出し、電源ボタンで電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。

1. 電源ランプ(赤)
電源が入っているときに点灯します。
2. 電源ボタン
電源の「入」「切」に使用します。
3. カセットドア【37ページ】
テープをセットします。
4. トレイ開/閉ボタン(DVD)【62ページ】
トレイを出し入れします。
5. トレイ【62ページ】
ディスクをセットします。
6. 映像入力端子(ビデオ)【60ページ】
他機器との接続に使用します。
7. 音声入力(左/右)端子(ビデオ)【60ページ】
他機器との接続に使用します。
8. 巻戻しボタン(ビデオ)【38ページ】
ビデオの巻戻しをします。
9. 早送りボタン(ビデオ)【38ページ】
ビデオの早送りをします。
10. 停止/取出しボタン(ビデオ)【37ページ】
ビデオの再生/録画を止めます。テープの取り出しをします。予約スタンバイ中は、スタンバイを解除します。
11. 再生ボタン(ビデオ)【37ページ】
ビデオの再生を開始します。
12. 録画ボタン【42ページ】
録画を開始します。
13. 表示部【18ページ】
14. チャンネルボタン(ビデオ)
【38、42、61ページ】
ビデオランプ点灯時には、本機のチャンネルを変えます。再生中にマニュアルトラッキング調整するときにも使用します。
15. ビデオランプ(緑)【26ページ】
このランプ点灯時はビデオの操作ができます。
16. ビデオ/DVDボタン【26ページ】
ビデオ/DVDの映像、音声切換を行います。
17. DVDランプ(緑)【26ページ】
このランプ点灯時はDVDの操作ができます。
18. 停止ボタン(DVD)【62~63ページ】
ディスクの再生を止めます。
19. 再生ボタン(DVD)【62~63ページ】
 • ディスクの再生を開始します。
 • プログレッシブ/インターレースモードを切り換えます。
20. D1/D2映像出力端子(DVD)【22ページ】
別売のD端子ケーブルを接続します。
21. VHF/UHFアンテナ入力端子【19、20ページ】
アンテナ線を接続します。
22. 光デジタル音声出力端子(DVD)【24、25ページ】
市販の光デジタルケーブルを接続します。
23. 同軸デジタル音声出力端子(DVD)【24、25ページ】
市販の同軸デジタルケーブルを接続します。
24. DVD専用音声出力(左/右)端子
【22、23ページ】
付属または市販の音声コードを接続します。
25. S映像出力端子(DVD)【22ページ】
市販のS映像コードを接続します。
26. DVD/ビデオ共用出力端子【21ページ】
付属の映像・音声コードを接続します。
27. ビデオ専用入力端子【60ページ】
他機器との接続に使用します。
28. VHF/UHFアンテナ出力端子【19、20ページ】
付属の同軸ケーブルを接続します。

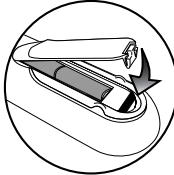
各部のなまえ

リモコン

電池の入れかた

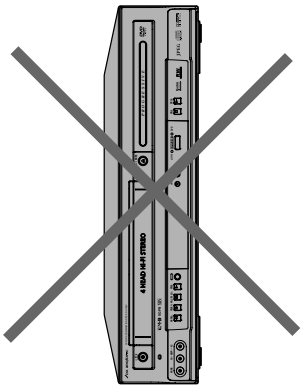
1

リモコン裏側のフタをはずす

2

乾電池を入れる

- (+)(−)を確かめる
- (−)側を先に入れる

3

フタをつける

「アルカリ乾電池ご使用の注意」
アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と被覆（外枠の被覆がはがれている場合）に同時に接触した場合、乾電池そのものがショート（短絡）状態になり、ショートした部分が発熱しやけどする危険があります。アルカリ乾電池をご使用になる場合は、被覆がやぶれたり、はがれていないものをご使用ください。

タテ置きではご使用にならないでください

リモコンの操作方法について

ビデオ（またはテレビデオ）を複数設置される場合、本機のリモコンを操作した際に同時に動作することがあります。リモコンから発する赤外線の波長が、共通の波長を使用しているために起こる現象です。

同時動作を防ぐには、テレビデオまたは、本機のリモコン受光部（センサー）を、赤外線を透さないもの（雑誌など）で遮るようにしてください。

30°　30°

センサーにむけて操作してください。

受信許容範囲
距離−センサー正面より**7メートル**以内
角度−センサーより左右**30度**以内**5m**以内
上**15度**以内**5m**以内、
下**30度**以内**3m**以内

あどばいす

- リモコン操作ができる距離が短くなってきたら、乾電池が消耗しています。新しい乾電池に交換してください。（※付属の乾電池は動作確認用です。）
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池を一緒に入れないでください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を一緒に入れないでください。
- 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
- 本機のリモコン受光部（センサー）に直射日光や強い光をあてないようにしてください。誤動作の原因となります。

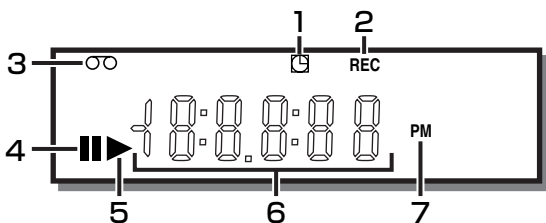
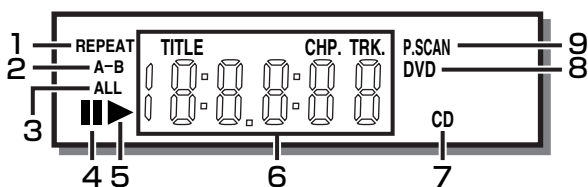
【ビデオ】【DVD】の表示はリモコン操作時の切り換えモードを表しています。

1. **+10ボタン【DVD/79ページ】**
   2桁以上のタイトル、チャプター、トラック番号の入力に使用します。
2. **電源ボタン**
   電源の「入」「切」に使用します。
3. **数字ボタン**
   【DVD/77～79ページ】
   チャンネルの選択に使用します。(ビデオ)
   タイトル、チャプター、トラック番号やタイムサーチ時間の入力に使用します。(DVD)
4. **表示ボタン【ビデオ/59ページ、DVD/94ページ】**
   ビデオの状態/テープポジション/カウンター/時刻/チャンネル音声モードを表示します。(ビデオ)
   ディスクの情報を画面に表示します。(DVD)
5. **ビデオボタン【26ページ】**
   リモコンでビデオ操作をするときに使用します。映像/音声出力をビデオに切り換えます。
6. **再生ボタン**
   【ビデオ/37ページ、DVD/62～63ページ】
   ビデオの再生を開始します。(ビデオ)
   ディスクの再生を開始します。(DVD)
7. **巻戻しボタン**
   【ビデオ/38ページ、DVD/65、69ページ】
   ビデオの巻戻しをします。(ビデオ)
   お好みの位置まで戻します。また、逆スロー再生するときにも使用します。(DVD)
8. **停止ボタン**
   【ビデオ/37ページ、DVD/62～63ページ】
   ビデオの再生を止めます。(ビデオ)
   ディスクの再生を止めます。(DVD)
9. **録画ボタン【ビデオ/42ページ】**
   録画を開始します。
10. **ズーム/標準/3倍ボタン**
    【ビデオ/42ページ、DVD/91ページ】
    テープの録画モードを変えます。(ビデオ)
    再生中のDVD画像を大きく表示します。(DVD)
11. **メニューボタン**
    【ビデオ/29ページ、DVD/74、80ページ】
    ビデオメニューを表示します。(ビデオ)
    DVDメニュー、JPEGファイルリストを表示します。(DVD)
12. **セットアップボタン【DVD/96ページ】**
    設定を変更するときに使用します。
13. **トップメニューボタン【DVD/75ページ】**
    最上層のDVDディスクメニュー画面を表示します。
14. **モードボタン【DVD/68、72、73、84、86、87ページ】**
    DVDの早見早聞／遅見遅聞再生・黒レベル・バーチャルサラウンドの設定をします。
    音楽用CDのプログラム再生・ランダム再生・バーチャルサラウンドの設定をします。
    JPEGのプログラム再生・スライドショーモード・縮小ズームの設定をします。
15. **サーチボタン【DVD/77～79ページ】**
    お好みの位置を検索します。
16. **字幕/タイマーセットボタン**
    【ビデオ/47ページ、DVD/89ページ】
    録画予約時にスタンバイ状態にします。(ビデオ)
    字幕の言語を選択します。(DVD)
17. **アングルボタン【DVD/90ページ】**
    お好みや目的に合わせて再生画の角度を変更します。
18. **トレイ開/閉　取出しボタン**
    【ビデオ/37ページ、DVD/62ページ】
    テープの取り出しをします。(ビデオ)
    トレイを出し入れします。(DVD)
19. **音声切換ボタン**
    【ビデオ/55ページ、DVD/88ページ】
    ステレオ/モノラル/左音声/右音声または、主音声/副音声の切り換えをします。(ビデオ)
    希望する音声(言語)およびサウンドモードを選択します。(DVD)
20. **チャンネル(▲/▼)ボタン【ビデオ/38、42ページ】**
    本機でテレビチャンネルを選択時に使用します。再生中にマニュアルトラッキング調整するときにも使用します。
21. **スローボタン【ビデオ/38ページ】**
    スロー再生時に使用します。
22. **一時停止ボタン**
    【ビデオ/41、43ページ、DVD/67～69ページ】
    ビデオの再生/録画を一時止めます。(ビデオ)
    ディスクの再生を一時止めます。(DVD)
23. **DVDボタン【26ページ】**
    リモコンでDVD操作をするときに使用します。
    映像/音声出力をDVDに切り換えます。
24. **早送りボタン**
    【ビデオ/38ページ、DVD/65、69ページ】
    ビデオの早送りをします。(ビデオ)
    お好みの位置まで送ります。また、スロー再生するときにも使用します。(DVD)
25. **クリアー/カウンターリセットボタン**
    【DVD/72、78ページ】
    テープのカウント表示をリセットします。(ビデオ)
    間違った設定を消します。(DVD)
26. **決定ボタン【DVD/72ページ】**
    設定を決定したりメニュー画面で項目を選択します。
27. **カーソルボタン**
    【ビデオ/29ページ、DVD/72ページ】
    DVDのズームの位置を移動させたり各種"画面での設定"などに使用します。
28. **リターン/CMスキップボタン**
    【ビデオ/58ページ、DVD/93ページ】
    再生中にCMスキップを行います。(ビデオ)
    DVDセットアップ画面で前の画面に戻ります。また、テレビ画面からセットアップメニューを消します。(DVD)
29. **スキップ/頭出しボタン**
    【ビデオ/56ページ、DVD/67ページ】
    録画テープの頭出しをします。(ビデオ)
    チャプターやトラックをスキップします。(DVD)
30. **A-Bボタン【DVD/71ページ】**
    お好みの部分だけを繰り返し再生します。
31. **リピートボタン【DVD/70ページ】**
    再生中のディスク・タイトル/チャプター、トラック、グループを繰り返し再生します。

各部のなまえ

■ 表示部について

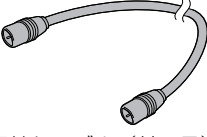
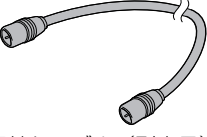
ビデオモードのときはビデオの表示、DVDモードのときはDVDの表示をします。

[ビデオ]

1. **タイマーセット表示**
   ビデオが予約スタンバイ中、または予約録画中に点灯します。
2. **録画表示**
   録画中に点灯します。また、録画中に一時停止すると点滅します。
3. **ビデオテープ表示**
   ビデオテープが本体に入っているときに点灯します。
4. **一時停止表示**
   入っているビデオテープが一時停止状態になると点灯します。
5. **再生表示**
   入っているビデオテープが再生されているときに点灯します。
6. **再生時間表示**
   現在の時刻やビデオテープのカウンターを表示します。（再生、録画時間の表示）
7. **午後表示**
   午後になると表示します。（午前は表示されません）

[DVD]

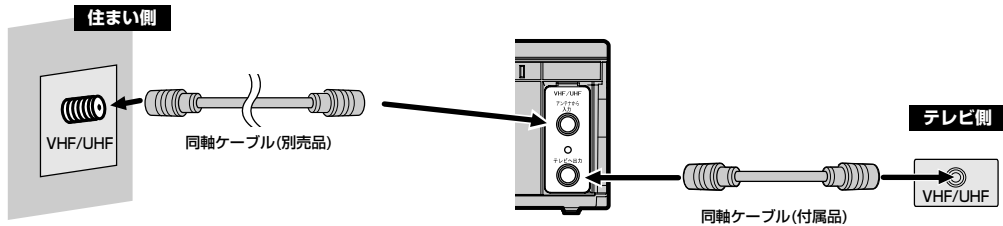
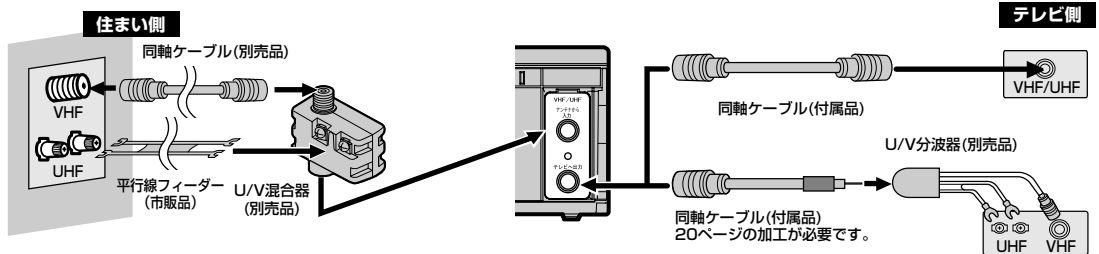
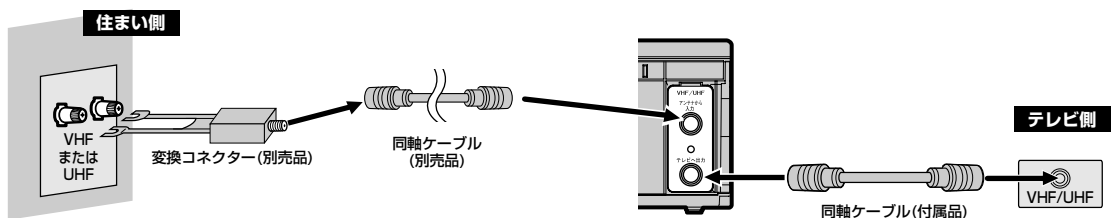
1. **リピート表示**
   リピート機能が選択されているときに点灯します。
2. **A-Bリピート表示**
   A-Bリピート機能が選択されているときに点灯します。
3. **オールリピート表示**
   オールリピート機能が選択されているときに点灯します。
4. **一時停止表示**
   入っているディスクが一時停止状態のときと、スロー再生中に点灯します。
5. **再生表示**
   入っているディスクが再生されているときと、スロー再生中に点灯します。
6. **タイトル/チャプター/トラック/再生時間表示**
   現在再生されているディスクの経過時間を表示します。チャプターかトラックを切り換えると、新しいタイトル、チャプターまたはトラック番号が表示されます。また、リピートモードに応じてタイトル、チャプターまたはトラック番号が表示されます。
7. **CD表示**
   音楽用CDまたはJPEG形式のディスクがトレイに入っているときに点灯します。
8. **DVD表示**
   DVDディスクがトレイに入っているときに点灯します。
9. **プログレッシブスキャン表示**
   プログレッシブスキャンが“オン”のときに点灯します。

表示管の表示例

表示	説明
- - - - -	ディスクが入っていない、または再生できないディスクが入っているとき
OPEN	トレイを開けたとき
CLOSE	トレイを閉めたとき
LoAd	ディスク読み込み中
▶ 18:8.8:88	ディスク、ビデオテープの再生が始まるとき

■ アンテナ線のつなぎかた

アンテナ線の接続をしないと、テレビ放送の録画はできません。
同軸ケーブルをアンテナプラグまたは、U/V分波器(別売品)に取り付けるには加工が必要です。
詳しくは、20ページをご覧ください。
壁にアンテナ端子がある場合は、同軸ケーブル（別売品）を使用しアンテナ端子と本機を接続します。また同軸ケーブル（付属品）を使用し本機とテレビを接続してください。

接続に使う部品（必要に応じて別売品または付属品をお使いください）			
同軸ケーブル（付属品）	同軸ケーブル（別売品）	アンテナプラグ（別売品）	U/V混合器（別売品）

住まい側にVHF/UHF混合アンテナ端子がついている場合

住まい側にVHFとUHFアンテナ端子の両方がついている場合

住まい側にVHFまたはUHFアンテナ端子がついている場合

あどばいす

アンテナ接続について…

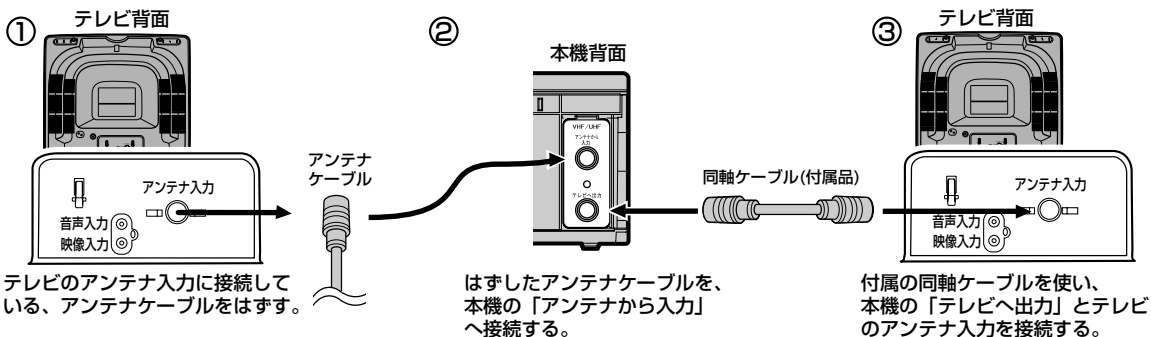
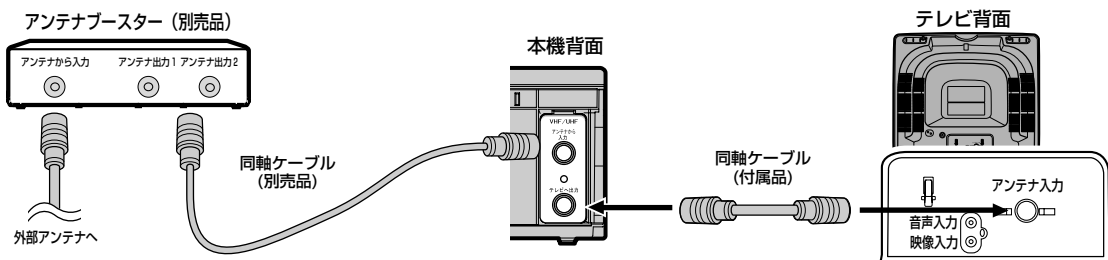
- お手持ちのテレビやお住まいの地域によってアンテナ線の種類やテレビとの接続方法は違います。
- アンテナ線の種類により、アンテナプラグ(別売品)やU/V混合器(別売品)が必要です。
- 電波が弱い地域の場合、「アンテナブースター（別売品）」をご使用いただくことにより、電波の強さを全体に増幅させることはできますが、ノイズも同じく増幅されるために、テレビ画像にノイズが残る場合があります。
詳しくは販売店にご相談ください。

接続・設定について

現在お使いのテレビに本機を接続する場合

テレビのアンテナ入力に接続している、アンテナケーブルをはずす。

はずしたアンテナケーブルを、本機の「アンテナから入力」へ接続する。

付属の同軸ケーブルを使い、本機の「テレビへ出力」とテレビのアンテナ入力を接続する。

現在お使いのテレビに本機を接続する場合（電波が弱い場合の接続方法）

■ 同軸ケーブルの加工のしかた

1 黒いビニールだけを切り取る
- 金属の編組に傷をつけないように注意してください。

2 金属の編組を折り返す

3 白いビニールだけを切り取る
- 心線に傷をつけないように注意してください。

4 心線を出す
- 上図の寸法は加工の目安です。

■ 同軸ケーブルとアンテナプラグ（別売品）のつなぎかた

1 指でツメをひらきながらはずす

2 同軸ケーブルを取り付ける
- 心線を挟み、ほかに接触しないように巻きつける。
- ペンチで金具をしめてケーブルを固定する。

挟む
心線
挟む
挟む
ケーブル

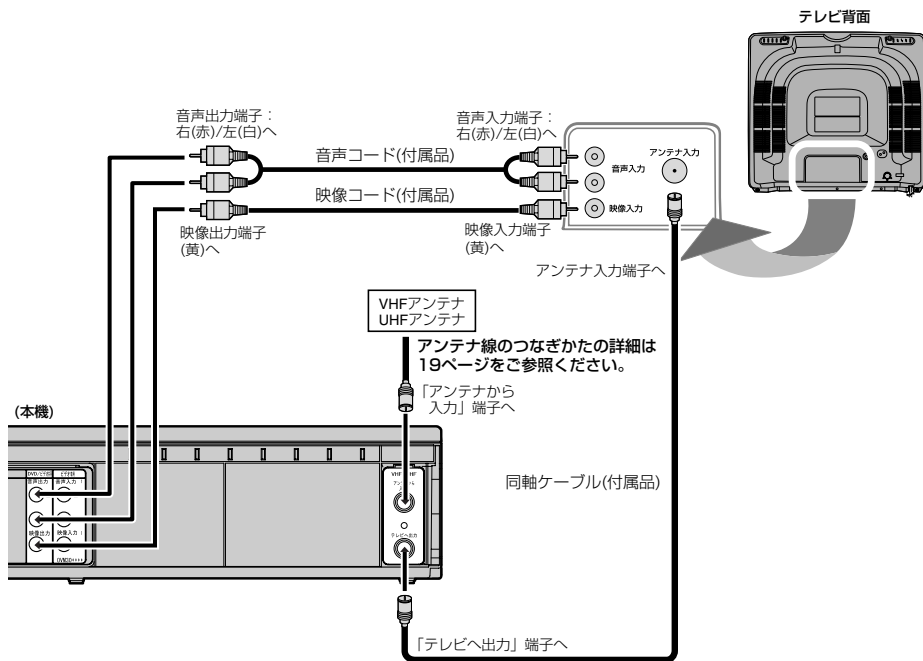
3 カバーを取り付ける

■ 本機とテレビのつなぎかた

● 接続を始める前に…

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行なってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- テレビとの接続のしかたについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビ側に外部入力（映像／音声）端子がない場合は本機と接続できません。

[基本接続]

この接続はビデオとDVDを切り換えてお楽しみいただくための基本的接続です。
DVDをより鮮明な画像でお楽しみいただくには、DVD専用端子への接続をおすすめします。
（接続端子に対応するテレビが必要です。）

本機の映像を見るときは、テレビの入力切換を「ビデオ」（外部/AUXなど）にしてください。

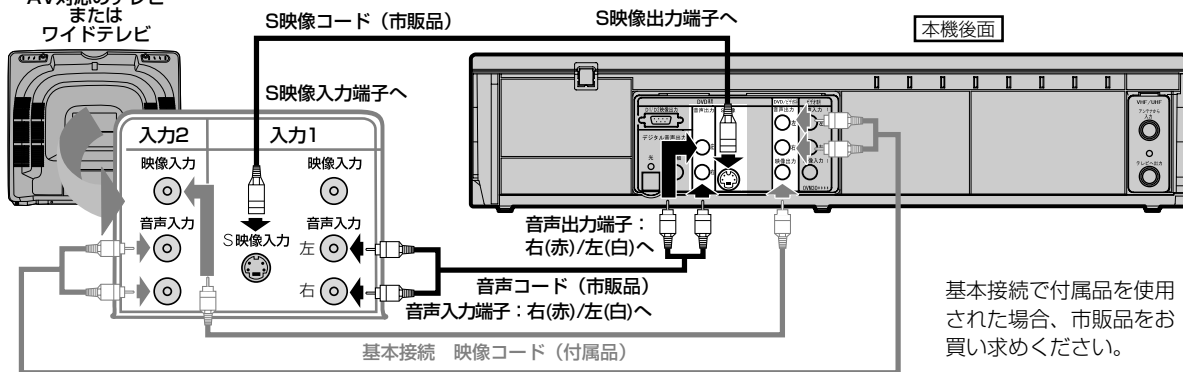
あどばいす

- 電波が弱い地域では、ビデオを接続すると映りが悪くなることがあります。このようなときは販売店にご相談ください。

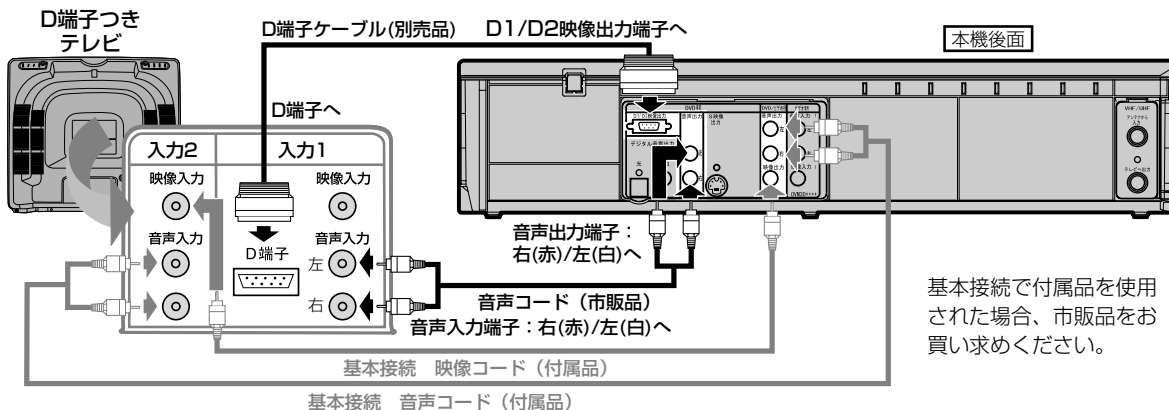
接続・設定について

入力が2系統あるテレビをお持ちの場合、S映像接続またはD端子接続で、より鮮明な映像をお楽しみいただけます。

S映像入力端子つきテレビでDVDをお楽しみいただく場合…

この接続はDVDをより鮮明な映像でお楽しみいただくためのものです。
黄色の映像コードで接続する代わりに市販のS映像コードを使用して接続します。
さらに鮮明な映像を楽しむことができます。

基本接続で付属品を使用された場合、市販品をお買い求めください。

D端子つきテレビをお使いの場合…

この接続はDVDをより鮮明な映像でお楽しみいただくためのものです。
黄色の映像コードで接続する代わりに別売のD端子ケーブルを使用して接続します。
高品質な映像を楽しむことができます。

基本接続で付属品を使用された場合、市販品をお買い求めください。

あどばいす

• テレビのコンポーネント（色差）入力端子がY,C_B/P_B,C_R/P_Rのピンジャックタイプのときは、別売品のD／コンポーネント端子ケーブル（D端子→D-ピンプラグ×3）をご使用ください。

コンポーネント映像入力端子(D端子)とは？

本機とコンポーネント映像入力端子(D端子)を備えたAV機器とを接続することで、より高画質な映像をお楽しみいただけます。
別売のD端子ケーブルを使い、本機のD1/D2映像出力端子と接続するAV機器のD端子をつなぎます。
コンポーネント映像入力端子の名称はテレビメーカーごとに異なります。
詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

プログレッシブスキャンの設定（工場出荷時は“オフ”）

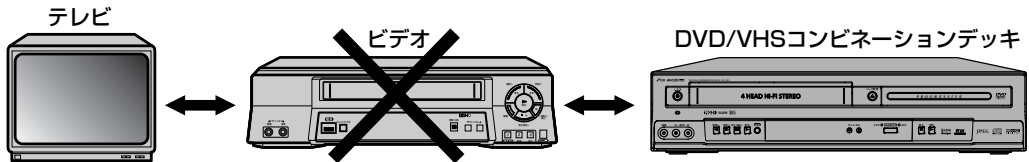
プログレッシブスキャン方式（525p / 480p）対応テレビを本機のD1/D2映像出力端子を使って接続し、「映像設定」で[プログレッシブ]を[オン]にしてください。[➡ 99～100ページ]
また、このときはテレビをプログレッシブモードに設定してください。
通常のテレビ（プログレッシブスキャン方式対応でないテレビ）をお使いの場合や、プログレッシブスキャン方式対応のテレビを本機のD1/D2映像出力端子を使わずに接続している場合は、本体DVD側の再生ボタンを5秒以上押し、プログレッシブスキャンモードを解除してください。

・テレビモニターの映像入力端子がBNCタイプの場合は、市販のアダプターを使用してください。
・プログレッシブスキャンはDVDのみ有効です。

プログレッシブスキャン方式とは？

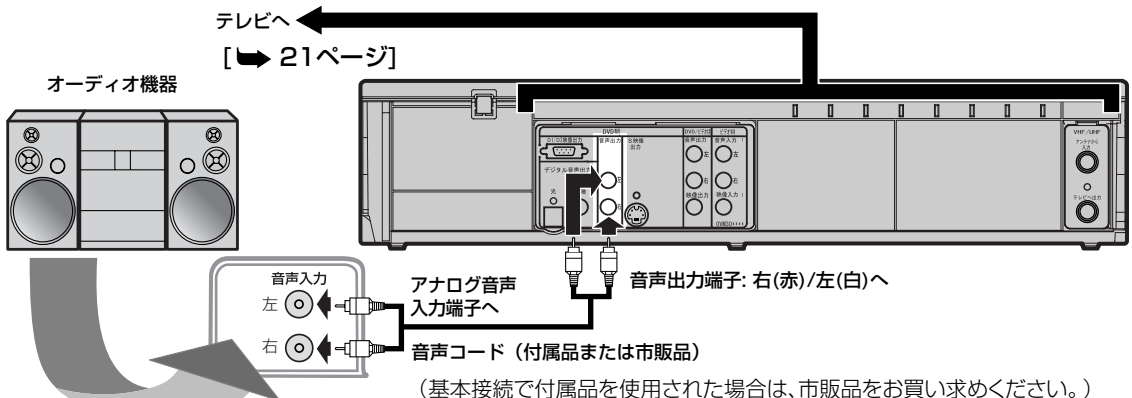
プログレッシブスキャン方式では従来方式のインターレーススキャン方式に対して、よりちらつきの少ない高密度な映像をお楽しみいただけます。

あどばいす

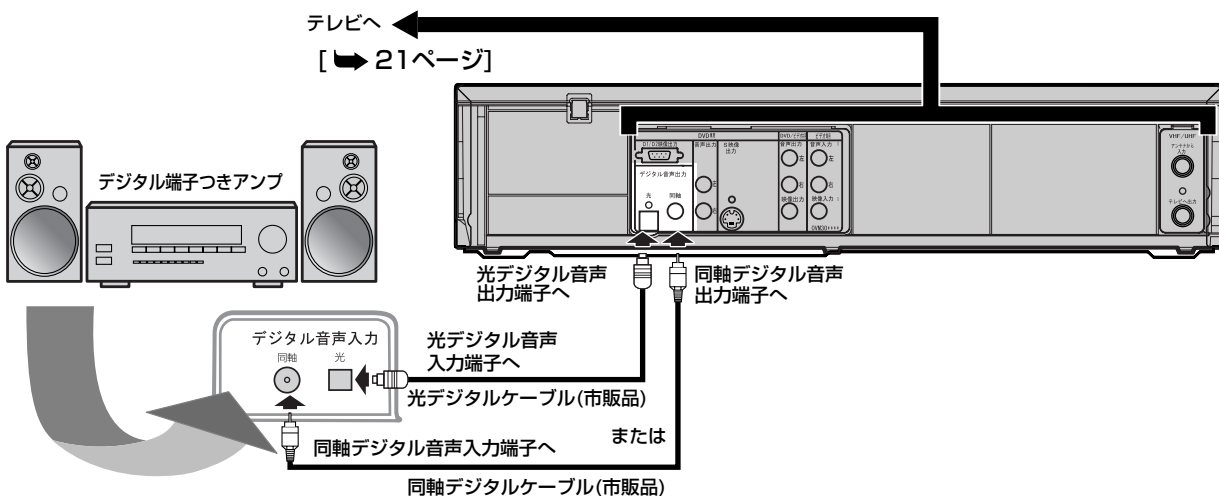
- ワイドテレビ(16:9)に接続した場合は、本機の設定を変更する必要があります。[➡ 99 ～ 100ページ]
- 本機はテレビに直接接続してください。ビデオやビデオ内蔵テレビを間に挟んでテレビに接続したり、録画してテープを再生するとコピープロテクションシステムにより、正常な再生画像にならない場合があります。

- 本機はハイビジョン対応のコンポーネント(Y, PB, PR)映像入力端子には対応しておりませんので、接続しないでください。(映像は映りません。)

■ アナログオーディオ機器との接続

● 接続を始める前に…

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行なってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

■ デジタル入力端子つきアンプとの接続

● 接続を始める前に…

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行なってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

デジタル入力端子つきアンプとの接続には、同軸デジタルケーブル(市販品)または光デジタルケーブル(市販品)をご利用ください。

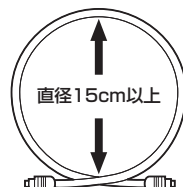
あどばいす

- 正しくない設定でDVDディスクを再生すると、音がひずみスピーカーが壊れることがあります。[➡ 101 ～ 102ページ]
- ドルビーデジタル方式で記録されたディスクの音声を、そのままMDデッキやDATデッキでデジタル録音することはできません。
- 本機はDTS音声出力をサポートしていません。

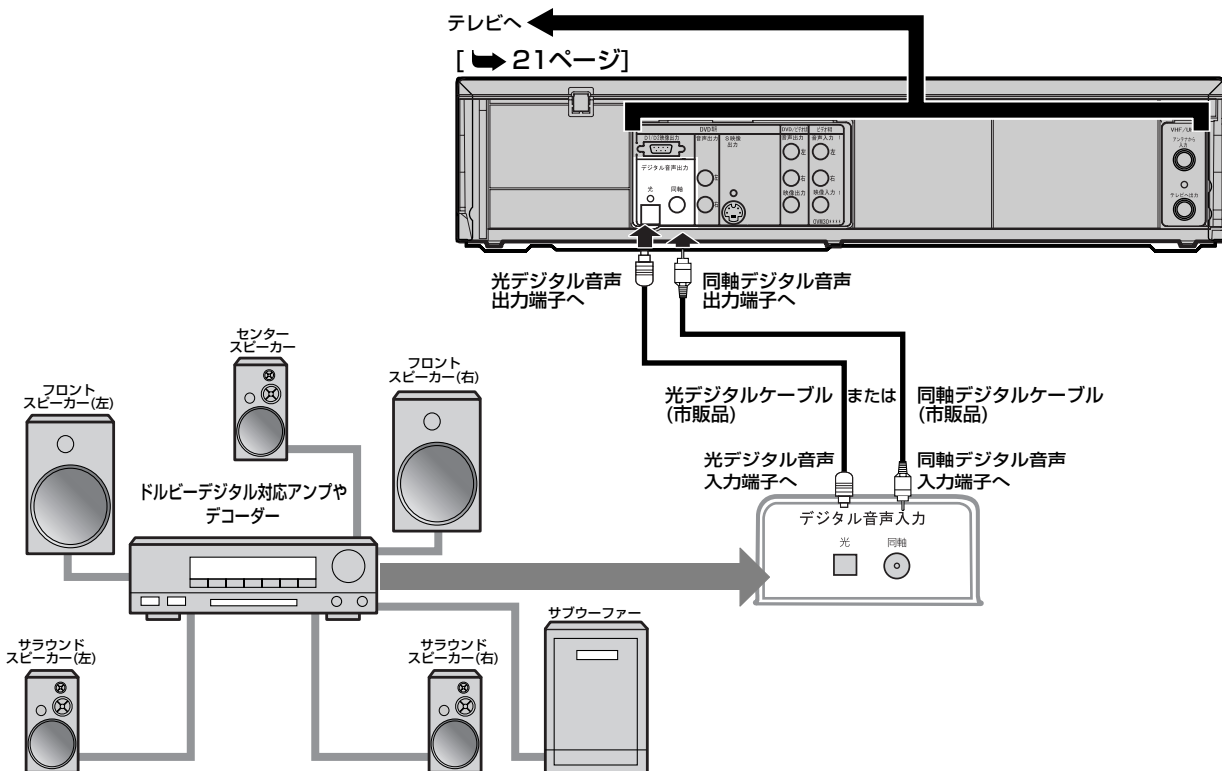
光デジタル音声出力端子について

光デジタル音声出力端子は、電気信号を光信号に変換してアンプへと送ります。このような光信号による通信は、外界の電気的影響を受けにくく、またほかの外部装置に悪影響を及ぼす恐れも少なくなります。

光デジタルケーブルについて

光デジタルケーブルは、折り曲げると損傷することがあります。保管する際には、直径が15cm以上になるように巻いてください。
ケーブルを接続するときには、しっかり奥まで差し込んでください。
長さは3m以下のものを使用してください。
プラグにほこりがある場合には、柔らかい布でふいてから接続してください。

■ ドルビーデジタル対応アンプやデコーダーとの接続

● 接続を始める前に…

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行なってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

マルチチャンネルドルビーデジタルサラウンドのDVDディスクを再生するときには、ドルビーデジタル対応アンプやデコーダーに本機を接続することにより、大迫力の臨場感あふれるサラウンドサウンドをお楽しみいただけます。このオーディオ接続には、同軸デジタルケーブル（市販品）、または光デジタルケーブル（市販品）をご利用ください。

あどばいす

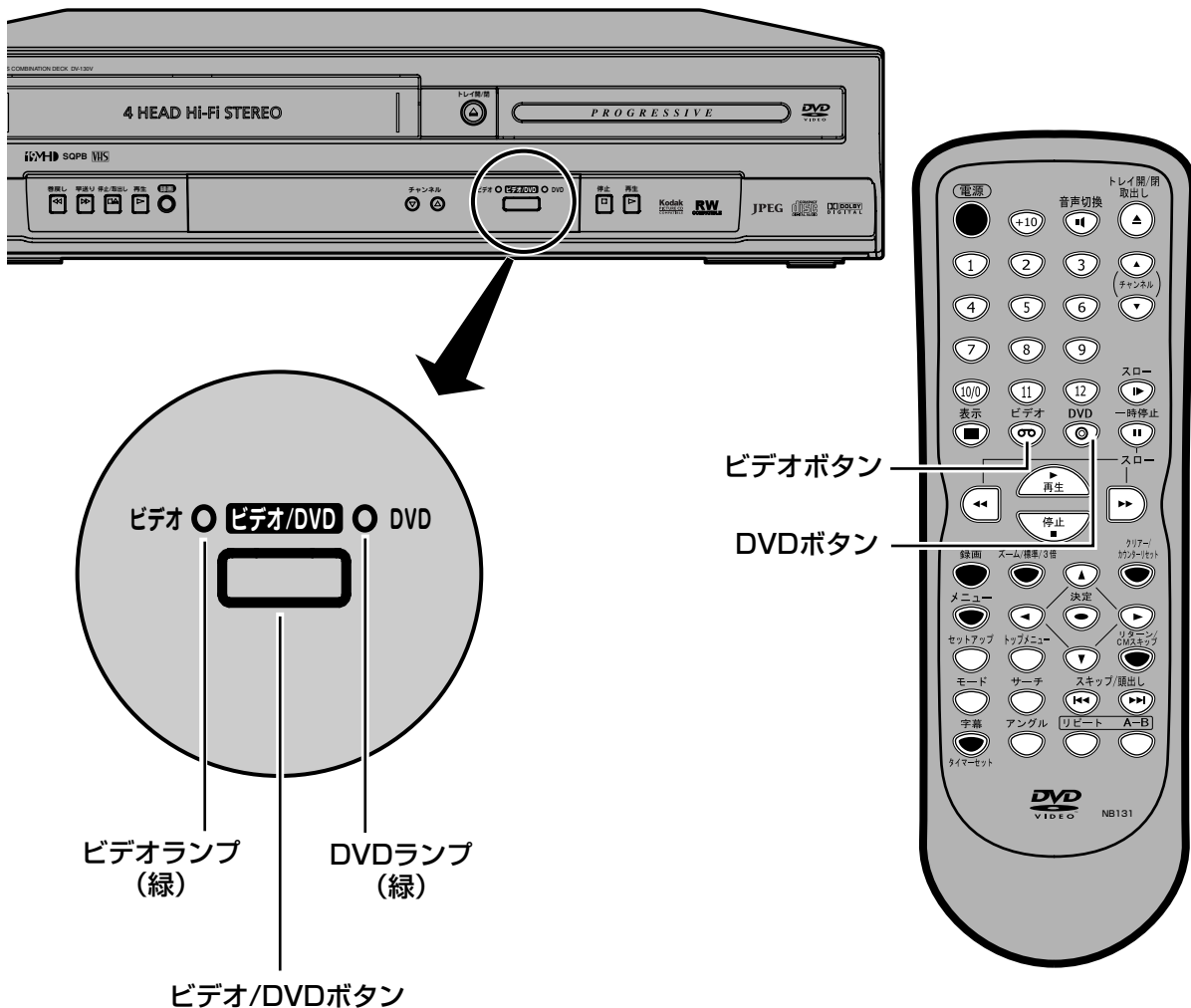
- ドルビーデジタル対応アンプやデコーダーに接続する場合には、「音声設定」の[ドルビーデジタル]を[ビットストリーム]にしてください。[101 ～ 102ページ]
- ドルビーデジタル対応アンプやデコーダーに接続しない場合には、「音声設定」の[ドルビーデジタル]を[PCM]にしてください。(工場出荷時は[ドルビーデジタル]は[ビットストリーム]) 正しくない設定でDVDディスクを再生すると音がひずみスピーカーが壊れることがあります。[101 ～ 102ページ]
- 本機はDTS音声出力をサポートしていません。

接続・設定について

■ ビデオ/DVDの切り換え操作について

本製品はビデオデッキとDVDプレーヤーが一体型になっており、操作時はビデオとDVDを切り換える必要があります。

電源を入れ、以下の操作を行なってから、各操作を行なってください。

※ 以下(29ページ以降)の説明においては、リモコンを主体とした説明になりますが、ご了承ください。

DVD操作時

■リモコンのDVDボタンを押します。
（本体のDVDランプが点灯します。）

＊本体のビデオ/DVDボタンは映像、音声切り換えのみを行います。続いてリモコンでDVD操作を行うときは、リモコンのDVDボタンを押してから各操作ボタンを押してください。

ビデオ操作時

■リモコンのビデオボタンを押します。
（本体のビデオランプが点灯します。）

＊本体のビデオ/DVDボタンは映像、音声切り換えのみを行います。続いてリモコンでビデオ操作を行うときは、リモコンのビデオボタンを押してから各操作ボタンを押してください。

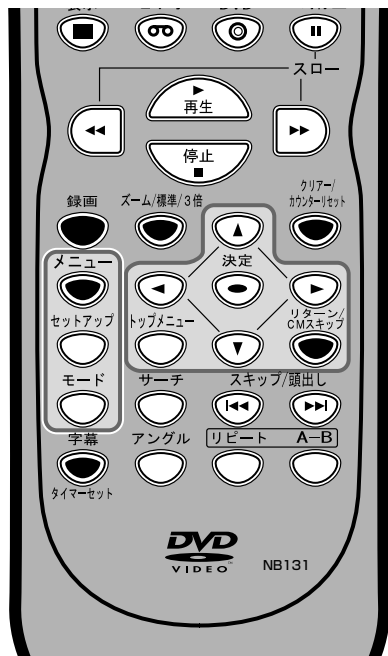
■ 本製品の機能操作について

本機は設定画面(図1)にしたがい、各種機能を設定する操作になっています。
また、この操作はリモコンのボタン(図2)を使用し設定します。
※以下(62ページ以降)の説明においては、リモコンを主体とした説明となります。

図1 設定画面（テレビ画面）

図2 リモコン 操作ボタン

各ボタンの名称と使用用途

使用用途	ボタン名称	リモコン
・メニュー画面を呼び出す	メニュー	メニュー
・タイトルメニューを呼び出す	トップメニュー	トップメニュー
・初期設定(セットアップ)画面を呼び出す	セットアップ	セットアップ
・選択項目の移動	カーソル	◄ ► ▲ ▼
・選択項目の確定	決定	決定
・1つ前の項目へ戻る	リターン	リターン/CMスキップ
・プログラム画面切り換え	モード	モード

■ 本製品の機能操作について

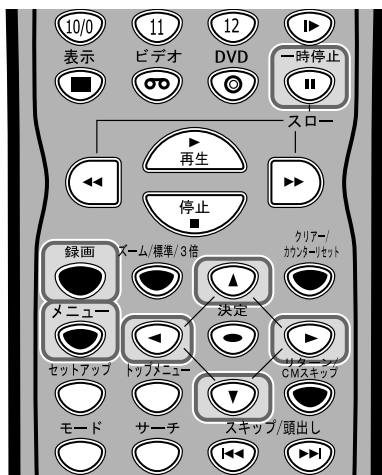
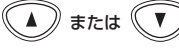
ビデオ

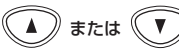
本機はメニュー画面(図1)にしたがい、各種機能を設定する操作になっています。
また、この操作はリモコンのボタン(図2)を使用し設定します。
※以下(29ページ以降)の説明においては、リモコンを主体とした説明となります。

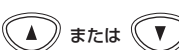
図1 メニュー画面（テレビ画面）

各ボタンの名称と使用用途

使用用途	ボタン名称	リモコン
・メニュー画面を呼び出す	メニュー	メニュー
・メニュー項目の選択 ・録画予約時の数値選択	カーソル	▲ ▼
・選択項目の確定/移動	カーソル	▶
・1つ前の項目へ戻る ・予約の取り消し	カーソル	◀
・録画予約の延長	録画	録画
・録画予約の 延長取り消し	一時停止/静止	一時停止

図2 リモコン 操作ボタン

▲ ボタンを押すと、上へ移動または大きい数字になり、
▼ ボタンを押すと、下へ移動または小さい数字になります。

■ 日付と時刻の合わせかた

本体表示部の時計表示が「ーー：ーー」になっているときは、時計を合わせてください。
（時計合わせをしないと、録画予約はできません。）
電源が「入」になっていることを確認してください。操作は、テレビにメニュー画面を表示して行います。

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1

メニュー を押してメニュー画面を表示し、

▲ または ▼ を押して

時刻設定を選び、

► を押して次の画面へ移る

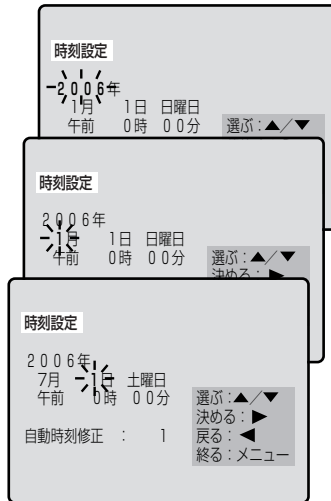
2

▲ または ▼ を押して

年を合わせ、

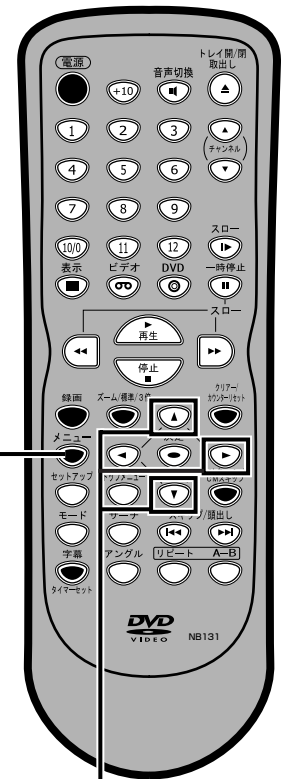
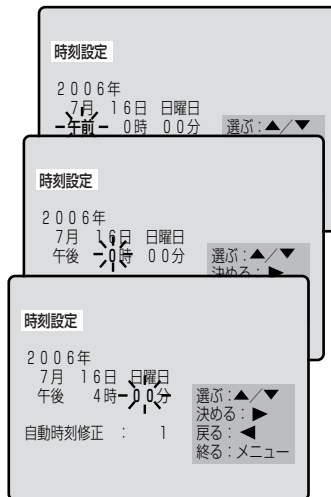
► を押して次の項目へ移る

• **月／日についても同様の操作で合わせます。**

3

▲ または ▼ を押して

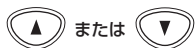
午前または**午後**を選び、

► を押して次の項目へ移る

• **時／分についても同様の操作で合わせます。**

あどばいす

手順2、3は、入力後8秒経過すると自動的に次の項目へ移動します。

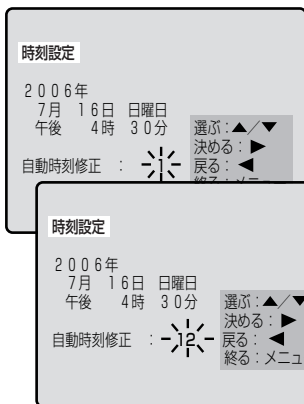
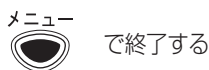
→次ページへつづく

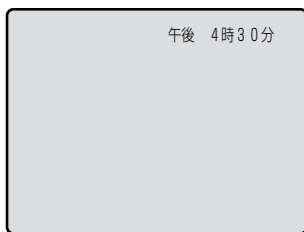
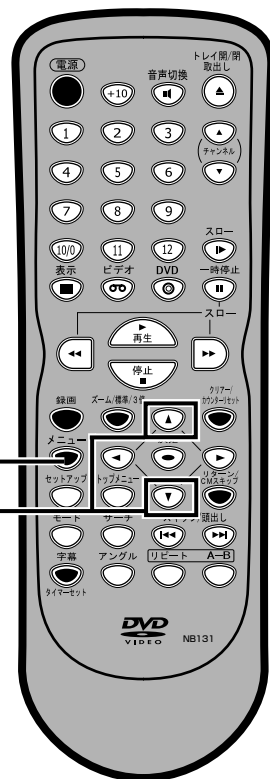
4

で**自動時刻修正チャンネル**を合わせる

- 自動時刻修正チャンネルは各地域のNHK教育テレビのチャンネルに合わせてください。

＊ カーソル（◀）ボタンを押すことにより1つ前の操作に戻ることができます。

5

で終了する

- 設定した時刻が右上に表示され、５秒後に消えます。
- 電話１１７番などの時報と同時にメニューボタンを押すと、同時に時計カウントがスタートし、正確に時刻を合わせることができます。

午後　４時３０分

あどばいす

- 時計合わせが行われていないときに録画予約を選ぶと、時刻設定の画面になります。
- 年→月→日→午前/午後→時→分→自動時刻修正の設定は、入力後8秒経過すると自動的に次の項目へ移動します。設定が合っているときは、カーソル（▶）ボタンを押すことにより、設定したい項目に進むことができます。
- 電源プラグを抜いても約30秒間は現在時刻を記憶しています。ほかの設定は消えてしまうので再度設定を行なってください。
- 30秒以上の停電があった場合や、または30秒以上電源プラグをコンセントから抜いていた場合は、本機のバックアップ機能が働きませんので時刻設定を再度設定してください。（そのときの表示は－－：－－）
- 数字を選ぶときにカーソル（▲/▼）ボタンを押し続けると、表示される数字が早く変わります。
- 本機には2006年～2055年まで設定可能な50年カレンダーが内蔵されています。
（カレンダーは2006年1月1日から表示されます。）

自動時刻修正について…

- 時刻のずれが5分以内の場合は自動的に現在時刻に修正されます。5分以上時刻がずれてる場合は、時刻を合わせてください。
- 自動チャンネル設定およびチャンネル設定変更でチャンネルを設定し直した場合は、自動時刻修正チャンネルを再度設定してください。
- 自動時刻修正は、NHKの時報に合わせて毎日(午後0時、7時)自動的に時計を修正する機能です。ただし本機を使用中（電源が入っているとき）は、動作しません。
- 自動時刻修正が動作するときに電源ランプが午後0時／午後7時の各々の時刻から前後5分間点灯します。
- 午後0時と7時に録画予約、サテライト予約が設定されている場合は自動時刻修正されません。
- 時報が放送される時刻に、時報のバックに音楽が流れているとき、「ポッポッポッポーン」の「ポーン」のみの時報のとき、時報以外が放送される（特別番組など）ときは、自動時刻修正されません。

■ 自動チャンネルの設定

お買い上げ時や、お引越しなどでお住まいの地域が変更になった場合は、自動チャンネル設定を行なってください。
お住まいの地域で受信可能なチャンネルを本機が設定します。

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1

メニュー でメニュー画面を表示し、

▲ または ▼ で**自動チャンネル設定**を選び、

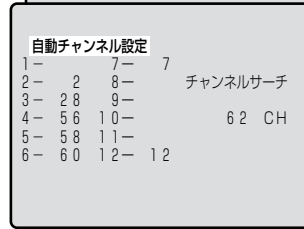
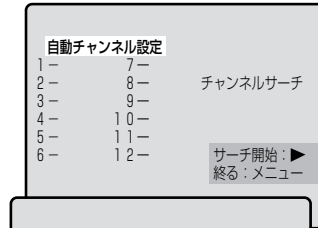
► で自動チャンネル設定画面に移る

録画予約
録画延長
留守録リターン
ピクチャーセレクト
サテライト予約
時刻設定
自動チャンネル設定
チャンネル設定変更

選ぶ：▲／▼
決める：▶
終る：メニュー

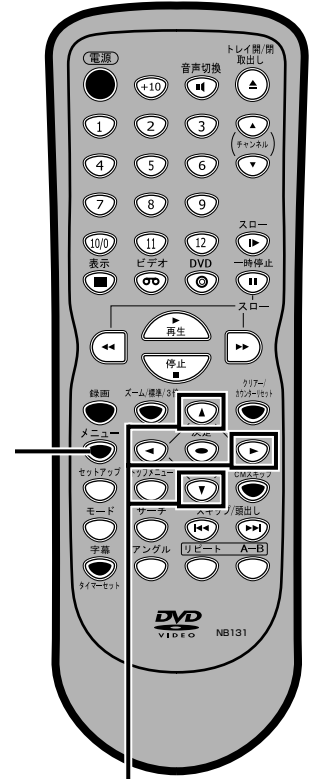
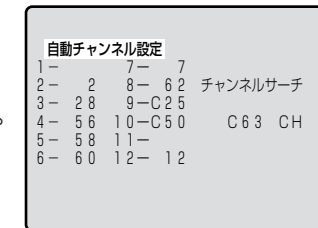
2

► でサーチを開始する

- **1チャンネルから順次、受信可能なチャンネルを探していきます。**

3

チャンネルサーチ中

- **最終チャンネルのC63CHが表示されるまで、しばらくお待ちください。チャンネルサーチ中にほかの操作をすると、正常なチャンネルが設定されませんのでご注意ください。**

→次ページへつづく

4

- チャンネルサーチ終了後、記憶された最小チャンネルが画面に表示されます。
- 5秒後、通常画面に戻ります。

自動チャンネル設定(受信ステップ)について

(1)【VHF】 1ch～12ch
↓
(2)【UHF】 13ch～62ch
↓
(3)【CATV】C13ch～C63ch

- 上記の順に自動チャンネル受信設定をしていきます。
- 設定には多少時間がかかります。

※CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、ホームターミナル(アダプター)が必要になります。CATVの受信は、サービスの行われている地域のみです。詳しくは、CATV会社にご相談ください。

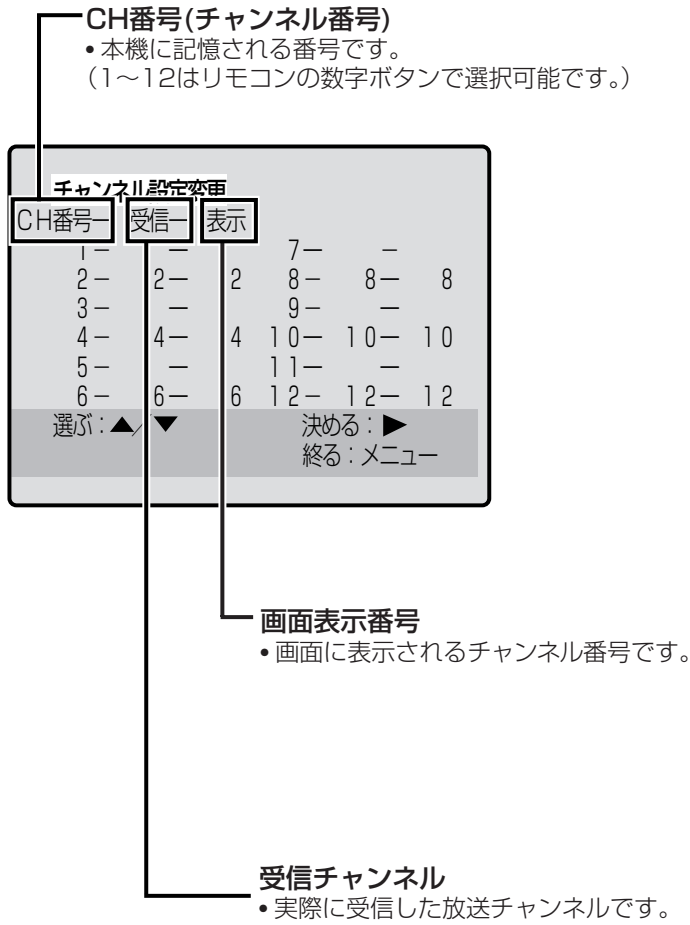
あどばいす

- チャンネル設定を一度行えば本体に記憶されるため、停電などの場合でも設定をやり直す必要はありません。
- 引越などでお住まいの地域が変更になった場合は、再度自動チャンネルの設定を行なってください。
- 自動チャンネル設定およびチャンネル設定変更でチャンネルを設定し直した場合は、自動時刻修正チャンネルを再度設定してください。
- 本機は、36チャンネル分を記憶することができます。
  チャンネルサーチ動作途中で、36チャンネル分がすべて記憶された場合、その時点でチャンネルサーチは終了します。
  自動チャンネル設定された以外のチャンネルを記憶させるには、不要なチャンネルを削除し、新たに記憶させたいチャンネルを手動で設定する必要があります。この操作をするには、34ページの「不要なチャンネルの削除(スキップ)とチャンネル復帰」をご覧ください。

■ チャンネル設定変更画面について

• 本機に記憶される番号です。
（1～12はリモコンの数字ボタンで選択可能です。）

画面表示番号
• 画面に表示されるチャンネル番号です。

受信チャンネル
• 実際に受信した放送チャンネルです。

あどばいす

• 画面表示番号はCH番号（チャンネル番号）か、受信チャンネル番号のどちらかのみになります。任意に数字を設定することはできません。
• CH番号（チャンネル番号）と受信チャンネル番号が同じときは、画面表示番号の変更はできません。すべて同じ番号となります。
• チャンネル設定の変更中に表示ボタンを押すと、テレビをご覧になれます。

■ 不要なチャンネルの削除(スキップ)とチャンネル復帰

自動チャンネル設定が終わったあと、受信チャンネルの確認を行なってください。空チャンネルや電波が弱くてはっきりと映らないチャンネルなどを飛び越すように設定できます。

● CH番号「3」に19チャンネルが記憶されている場合、19チャンネルを削除(スキップ)するには…

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1

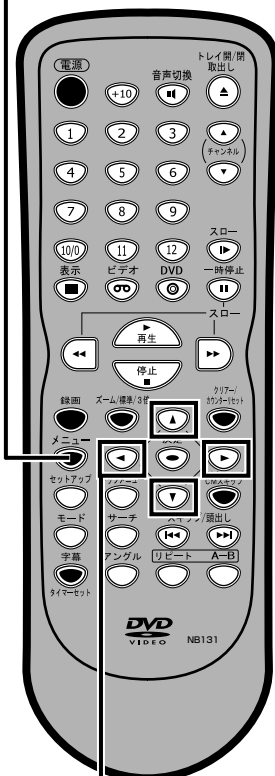
メニュー でメニュー画面を表示し、

▲ または ▼ で

チャンネル設定変更を選び、

► でチャンネル設定変更画面に移る

録画予約
録画延長
留守録リターン
ピクチャーセレクト
サテライト予約
時刻設定
自動チャンネル設定
チャンネル設定変更

選ぶ：▲/▼
決める：►
終る：メニュー

2

▲ または ▼ で

削除(スキップ)したい**CH番号**を選び、

チャンネル設定変更
CH番号ー 受信ー 表示
1ー ー 7ー ー
2ー 2 2 8ー 8ー 8
3ー 19ー 19 9ー ー
4ー 4ー 4 10ー 10ー 10
5ー ー 11ー ー
6ー 6ー 6 12ー 12ー 12
選ぶ：▲/▼ 決める：►
終る：メニュー

► を押して**受信**の項目へ移り、

チャンネル設定変更
CH番号ー 受信ー 表示
1ー ー 7ー ー
2ー 2 2 8ー 8ー 8
3ー 19 19 9ー ー
4ー 4ー 4 10ー 10ー 10
5ー ー 11ー ー
6ー 6ー 6 12ー 12ー 12
受信変更：▲/▼ 決める：►
スキップ：◄ 終る：メニュー

◄ で削除(スキップ)する

- **自動チャンネル設定をしていない場合、「受信ー表示」欄の番号は表示されません。**
- **ほかの不要なチャンネルを削除(スキップ)したい場合は、► ボタンでカーソルをCH番号に戻し、上記の操作を繰り返してください。**

3

で終了し、通常画面に戻る

1、3
1～2

● 1度削除(スキップ)したチャンネルを復帰するには…

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
　　　リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1

メニュー でメニュー画面を表示し、

または で

チャンネル設定変更を選び、

▶ で

チャンネル設定変更画面に移る

録画予約
録画延長
留守録リターン
ピクチャーセレクト
サテライト予約
時刻設定
自動チャンネル設定
チャンネル設定変更

選ぶ：▲／▼
決める：▶
終る：メニュー

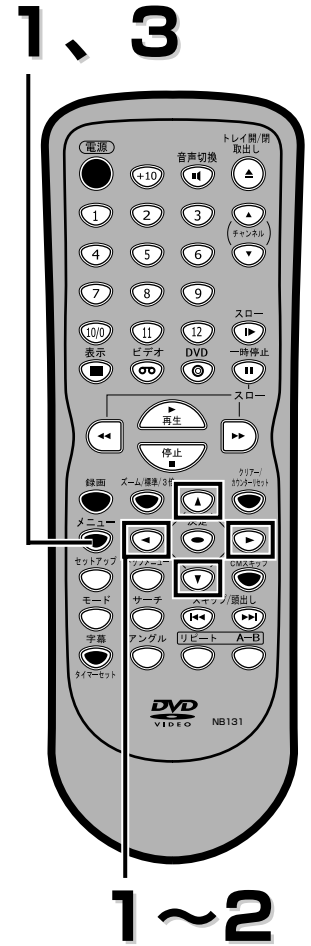
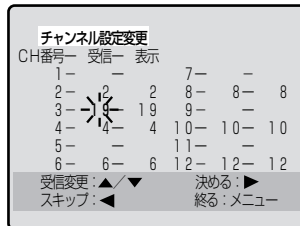
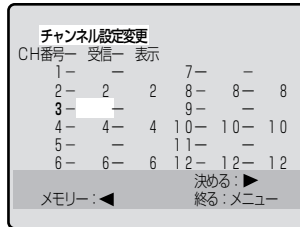
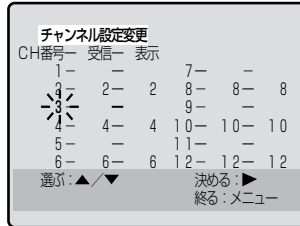
2

または で復帰したい

CH番号を選び、

チャンネル設定変更
CH番号ー　受信ー　表示
1ー　ー　　7ー　ー
2ー　2ー　2　8ー　8ー　8
3ー　ー　　9ー　ー
4ー　4ー　4　10ー　10ー　10
5ー　ー　　11ー　ー
6ー　6ー　6　12ー　12ー　12
選ぶ：▲／▼　決める：▶
終る：メニュー

▶ を押して**受信**の項目へ移り、

チャンネル設定変更
CH番号ー　受信ー　表示
1ー　ー　　7ー　ー
2ー　2　2　8ー　8ー　8
3ー　　9ー　ー
4ー　4ー　4　10ー　10ー　10
5ー　ー　　11ー　ー
6ー　6ー　6　12ー　12ー　12
決める：▶
メモリー：◀　終る：メニュー

◀ で復帰させる

• **ほかのチャンネルを復帰したい場合は、 ▶ ボタンで**
　カーソルをCH番号に戻し、上記の操作を繰り返してください。

3

メニュー で終了し、通常画面に戻る

■ チャンネル設定変更

受信チャンネルおよび画面に表示されるチャンネル番号を設定・変更することができます。

● CH番号「3」に19チャンネルを受信させ、画面表示を「3」にするには…

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1

メニュー でメニュー画面を表示し、

▲ または ▼ で

チャンネル設定変更を選び、

► でチャンネル設定変更画面に移る

2

▲ または ▼ で

変更したい**CH番号**を選び、

► を押す

3

▲ または ▼ で

受信内容を変更し、

► で**表示**の項目へ移る

4

▲ または ▼ で

表示内容を変更する

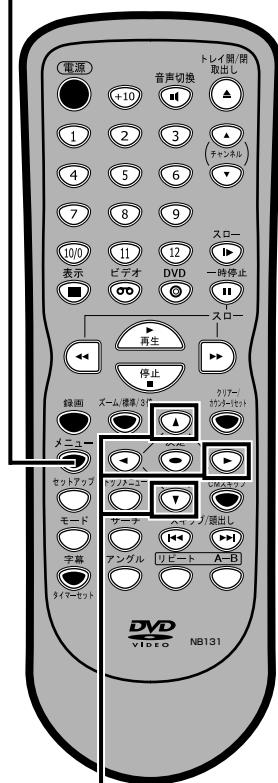
※CH番号か受信番号の表示になります。

• ほかのチャンネル表示も変更したい場合は、► ボタンでカーソルをCH番号に戻し、**2**～**4**の操作を繰り返してください。

5

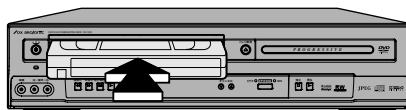
メニュー で終了し、通常画面に戻る

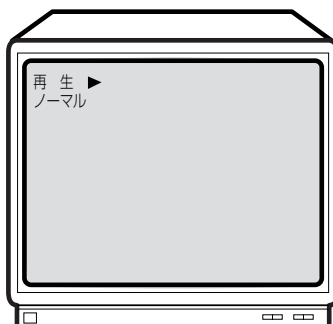
1、5

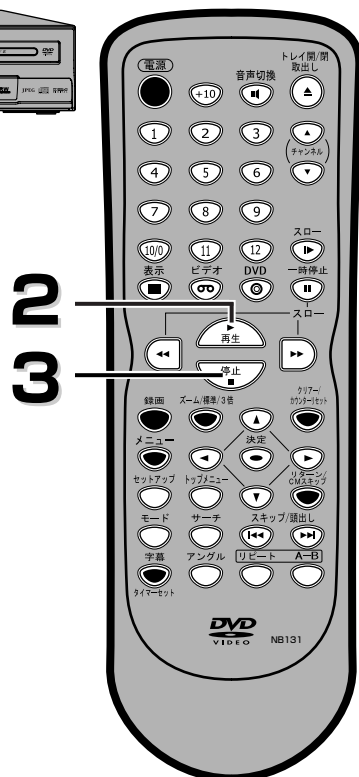
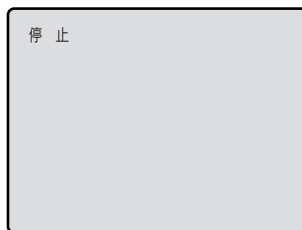
1～4

■ 再生のしかた

● ビデオカセットテープの再生をするには…

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
　　　リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1 ビデオカセットテープを挿入する
- 自動的に電源が入ります。
  (ツメが折れているテープの場合は、自動的に再生が始まります。)

2 を押す

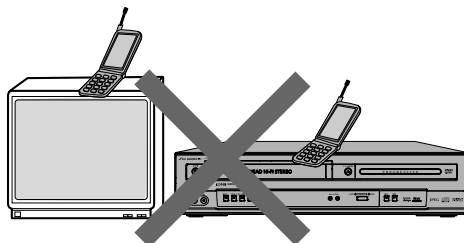
- 再生が始まります。
- 画面上の“ノーマル”表示は、ピクチャーセレクトの設定項目を表しています。

3 を押す

- 再生が止まります。
- ビデオカセットテープを取り出すときは、ビデオ停止中に本体の を押します。

あどばいす

ビデオの再生について
- ビデオカセットテープ挿入直後や、再生停止のあと再び再生ボタンを押すと約1.5秒で画面に映像がでます。（クイックプレイ機能）ただし停止後5分以上放置すると、テープ保護のためクイックプレイ機能は働きません。
- デジタルトラッキング調整中は、画面にノイズがでることがありますが故障ではありません。
- ほかのビデオカセットテープレコーダーで録画したテープを再生／静止画にしたとき、トラッキング調整してもノイズが消えないことがあります。
- テープの録画状態により、デジタルトラッキング調整では最良点に合わないことがあります。ノイズが少なくならないときは、マニュアルトラッキング調整をしてください。
- トラッキング調整の詳しいことは、10ページをご覧ください。

画面表示について
- テープカウンターや時計、チャンネルを画面上に表示させるときは表示ボタンを押してください。[➥ 59ページ]

S-VHS簡易再生機能(SQPB)について
S-VHS方式で録画されたビデオカセットテープを簡易的に見ることができます。
再生のしかたはノーマルVHSテープと同じです。
- S-VHSかノーマルVHSかを自動的に判別し再生します。
- S-VHS本来の高解像度は得られません。また画面にノイズがでる場合があります。
- 本機ではS-VHS録画はできません。
- SQPBとはS-VHS Quasi Playbackの略です。
- ビデオサーチ／静止のときは、映像が乱れたり色が抜けたりしますが、故障ではありません。

携帯電話をご使用になるときはテレビやビデオに近づけないでください。
- 音声に異音が入ったり、テレビにノイズがでたりする場合があります。
  異音がでたり、テレビにノイズがでたりした場合には、携帯電話を離してご使用ください。

ビデオを再生する

■ 早送り・巻戻しのしかた

● 早送り・巻戻しをするには…

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
　　　リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1 再生中の場合は、

［停止■］を押して再生を止める

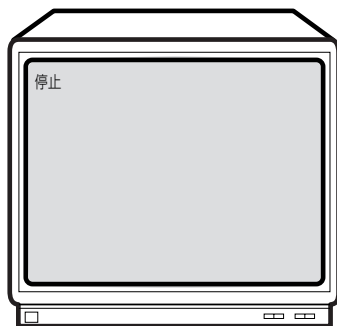
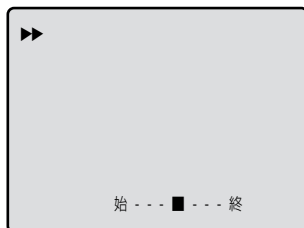
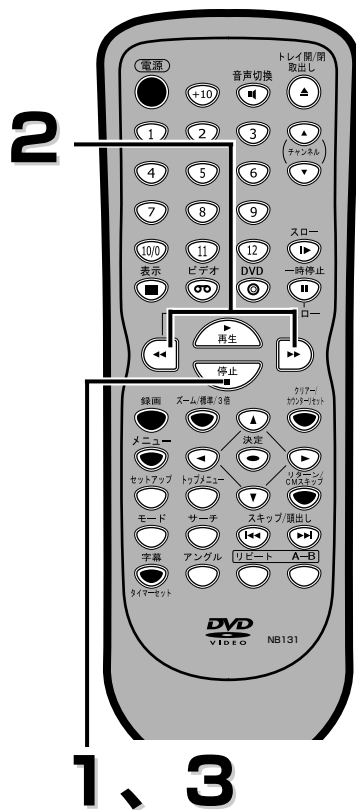
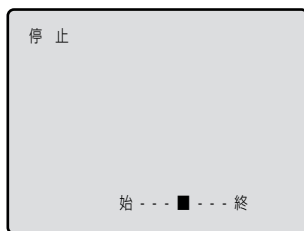
停止

2 ［◀◀］または［▶▶］を押す

3 ［停止■］を押す

• 早送り・巻戻しが止まります。

停　止

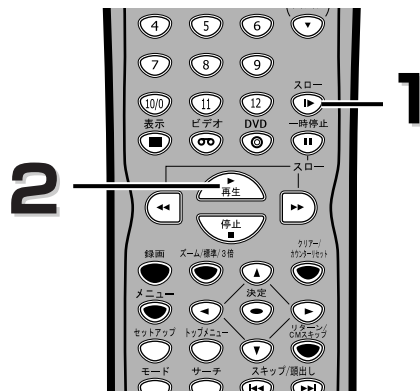
始 - - - ■ - - - 終

■ スロー再生（音声はでません。）

1/5～1/30倍速にスピードを変えて、スロー再生ができます（初期値は1/12倍速)。

準備：リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1 ［スロー I▶］を**再生中**に押す

• スロースピードを変えるときは…
　早送りボタンを押す…速くなります。
　巻戻しボタンを押す…遅くなります。
• スロー再生が5分以上続くと、テープ保護のため
　自動的に停止します。

2 通常の再生に戻るには［▶再生］を押す

あどばいす

• スロー再生は再生時以外は操作できません。
• 逆スロー再生はできません。

スロー画面でノイズがでるときは…
• チャンネル(▲▼)ボタンでノイズがでないようにトラッキング調整してください。

■ ビデオサーチ

画面を見ながら、早送り再生／巻戻し再生ができます。（音声はでません。）

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

● ビデオサーチ

1 再生中に

を押す

• 5倍速で再生します。

• ▶再生 を押すと通常の再生に戻ります。

● 2段階ビデオサーチ

2 [録画モード3倍で録画したテープの場合のみ]

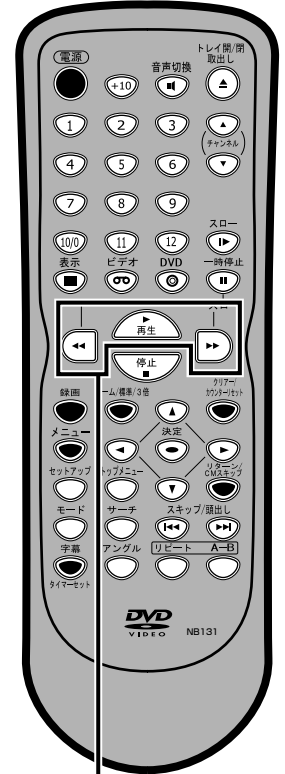
再生中に

を押す

• 5倍速と15倍速の2段階でビデオサーチできます。

1度押す…5倍速で再生します。
2度押す…15倍速で再生します。

• ▶再生 を押すと通常の再生に戻ります。

録画モード／操作方法	「標準」	「3倍」
再生中に1度押す	5倍速で再生	5倍速で再生
再生中に2度押す		15倍速で再生

1～2

あどばいす

- ビデオサーチは再生時以外は操作できません。
- ビデオサーチ中は画面にノイズがでますが故障ではありません。
- ビデオサーチを始めるときや、通常の再生に戻すとき、一瞬画面が乱れることがありますが故障ではありません。

ビデオを再生する

■ ピクチャーセレクト

ビデオを再生するさいに映像を選択(ノーマル・ソフト・クッキリ)できます。

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1

でメニュー画面を表示し、

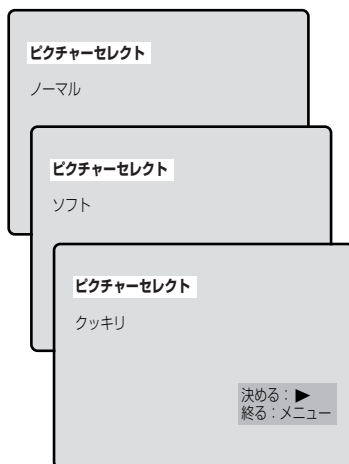
で

ピクチャーセレクトを選び、

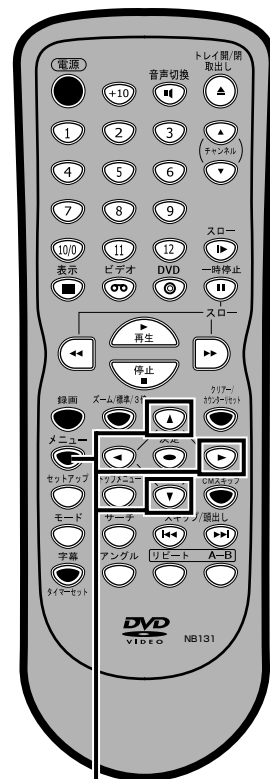
でピクチャーセレクト画面に移る

2

▶ で

ノーマル／ソフト／クッキリから選ぶ

※この画面の状態のまま**5秒経過**すると設定モードが自動的に終了します。

で終了し、通常画面に戻る

• **この設定はテープを取り出しても変わりません。**

ビデオ編　ピクチャーセレクト

■ 静止画再生（音声はでません。）

一瞬の場面などを、止めて見ることができます。

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1

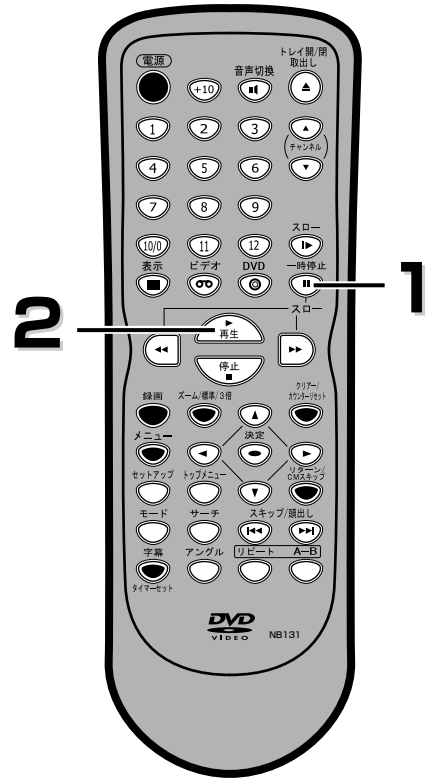
一時停止

を再生中に押す

- 静止画再生が5分以上続くと、テープ保護のため自動的に停止します。

2

▶ 再生 を押す

- 通常の再生に戻ります。

あどばいす

- 静止画再生中に一時停止ボタンを押すと、1コマ送ることができます。
- 静止画再生は再生時以外は操作できません。

静止画面でノイズがでるときは…

- 一旦、スロー再生にしてチャンネル(▲▼)ボタンでノイズをなくしたあと、もう一度静止画面に戻してください。
- 画像がブレる場合は、チャンネル(▲▼)ボタンで画像のブレがなくなるように調整してください。
(場合によっては調整で改善できないことがあります。)
- ほかのビデオカセットテープレコーダーで録画したテープを静止画再生にしたとき、トラッキング調整してもノイズが消えないことがあります。

ビデオに録画する

本機のDVDからは録画できません。

■ テレビ番組の録画

● 番組を見ながら録画するには…

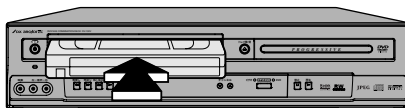
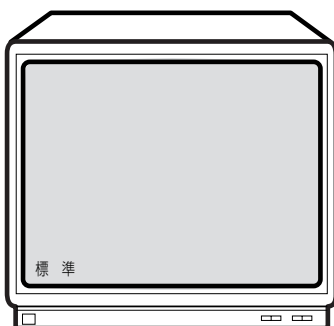
準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
　　　リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1 ツメの折れていないテープを入れる
（ツメが折れている場合は録画できません。）

2

を押して**録画モード**を選ぶ

- **標準モード**
  画質を優先したいとき
- **3倍モード**
  録画時間を長くしたいとき

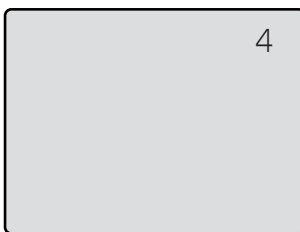
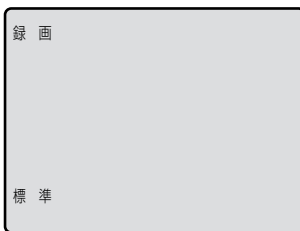
3

を押してお好みのチャンネルを選ぶ

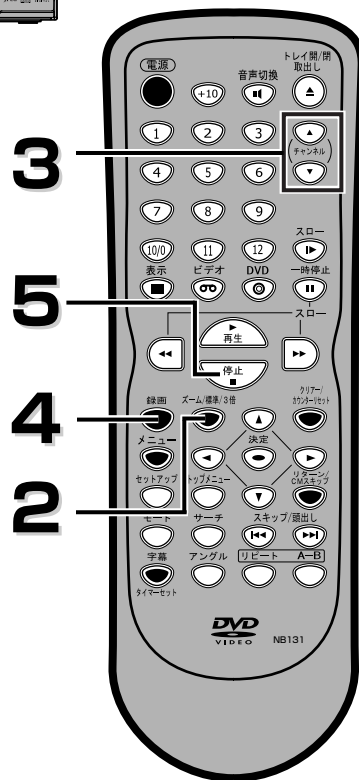
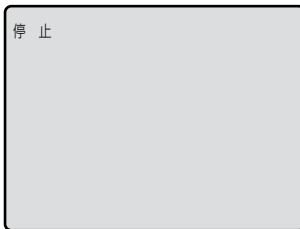
- **1～12はリモコンの数字ボタンで選択できます。**

4

を押す

- **録画が始まります。**

5

を押す

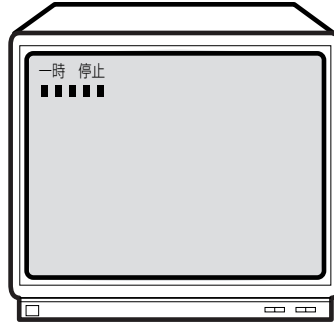
- **録画を停止します。**

● 録画中にコマーシャルなどをカットするには…

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させせます。

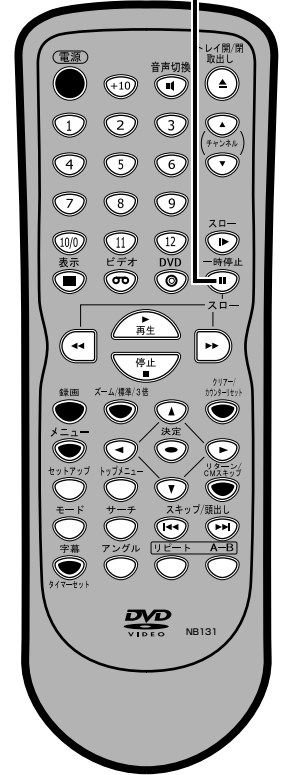
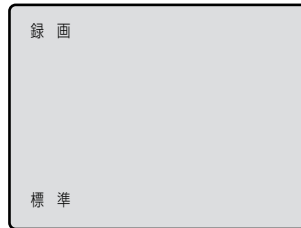
1～2

1

一時停止
 を押す

- テープの走行は一時停止します。
- 本体表示部の録画表示が点滅します。
- ▮マークは1分で1個ずつ左から消えていきます。最後の▮マークが点滅し合計5分経過するとテープ保護のため、自動的に録画が停止します。

2

一時停止
 をもう一度押す

- 録画を再開します。
- 録画ボタンを押しても録画は再開できます。
- 一時停止が5分以上続くと、テープ保護のため録画は停止されます。

あどばいす

録画モードについて
- 本体およびリモコンのズーム／標準／3倍ボタンで録画モードを選びます。
- 画質、音声を優先するときは標準、録画可能時間を優先するときは3倍で録画してください。ただし3倍で録画すると画質／音質は、標準より劣ります。

録画中に録画チャンネルを変えるには…
- 一時停止ボタンを押してからチャンネル(▲▼)ボタンで変えます。

録画中にテープが終わると…
- 自動的にテープを巻戻し、排出します。

録画中にテレビ/DVDを見るには…
- テレビを見るときは、テレビ側のチャンネルでお好きな番組を選択してください。
- DVDを見るときは、DVDボタンを押してください。

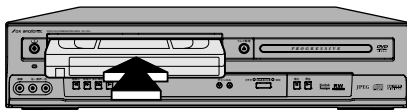
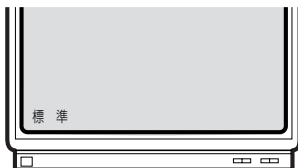
ビデオに録画する

■ ワンタッチタイマー録画

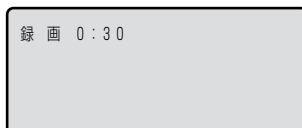
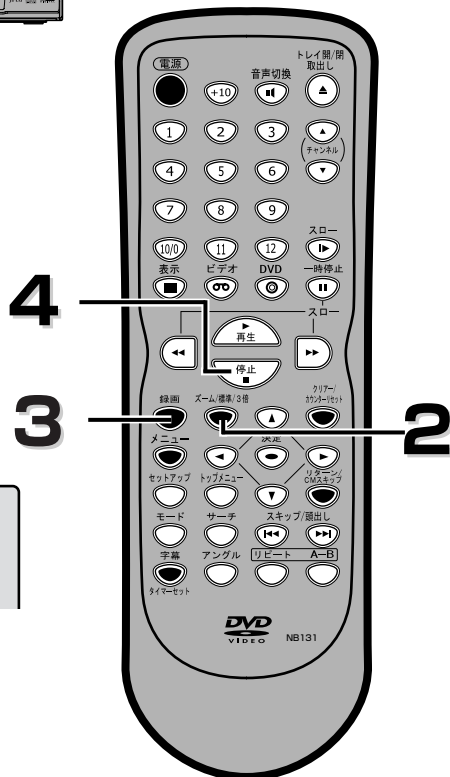
簡単・手軽に録画を始めることができ、録画時間を30分単位で最大8時間まで設定できます。
テレビを見ている途中で「電話がかかってきた」「急にお客様が来られた」「録画中に外出する用事ができた」といったときに便利です。

● ワンタッチタイマー録画をするには…

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1 ツメの折れていないテープを入れる
（ツメが折れている場合は録画できません。）

2 ズーム/標準/3倍 を押して録画モードを合わせせる

- **標準モード**
  画質を優先したいとき
- **3倍モード**
  録画時間を長くしたいとき

3 録画 を1回押す

- 通常の録画になります。
- 録画 を押すごとに30分単位で録画時間が加算されます。
- ツメの折れたテープが入っている場合、テープはでてきます。
- 録画時間が終了すると自動的に電源が切れます。このとき、DVD使用時を除き電源はオフとなっておりますので、再びビデオをご使用になるには再度リモコンのタイマーセットボタンまたは本体の停止/取出しボタンを押し、タイマーセット表示の点滅が解除されたことを確認してください。また、DVD使用時は本体のビデオ/DVDボタンまたはリモコンのビデオボタンを押してください。
- ワンタッチタイマー録画中は本体表示部のタイマーセット表示と録画表示が点灯します。

録画時間セットについて

- 本体の録画ボタンを押すごとに、30分単位最大8時間まで、録画時間をセットできます。
- 画面表示は次のように変わります。

(1回押すと) 録画（通常の録画） → (2回押すと) 録画 0：30（ワンタッチタイマー録画になります。） → (3回押すと) 録画 1：00 ……→ (17回押すと) 録画 8：00

4 を押す

- ワンタッチタイマー録画は止まります。

あどばいす

- ワンタッチタイマー録画中は、ワンタッチタイマー機能とストップ機能以外は働きません。一時停止などもできません。
- ワンタッチタイマー録画中にテープが最終端になると、自動的に録画を停止し、テープを排出して電源が切れます。
- ワンタッチタイマー録画中に停電があると、録画が停止して電源が切れます。通電後も録画は再開しません。

録画時間表示について

- ワンタッチタイマー録画が始まると、録画時間表示は1分単位でカウントダウンしていき、残りの録画時間表示となります。(残りの録画時間を確認するには表示ボタンを押してください。) [➡ 59ページ]

■ 録画予約

あらかじめ予約した開始時刻になると、自動的に録画が始まり、終了時刻になると電源が切れます。
1年以内の8つの番組の録画、または毎日録画、毎週録画を予約できます。

● **予約番号「1」に、2006年7月16日(日曜日)、午前11時30分〜午後2時50分に放映される「7」チャンネルの番組を、録画モード3倍で録画するには…（時計合わせをしないと録画予約できません。）**

**準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。
ツメの折れていないテープを入れます。**

1

でメニュー画面を表示し、

（►）で次の画面へ移る

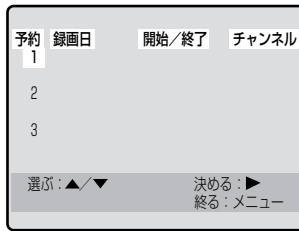
2

（例）**予約番号**を1にする

（▲）または（▼）で**予約番号**を選ぶ

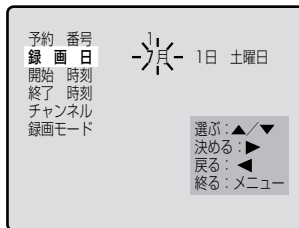
（►）で次の項目へ移る

予約	録画日	開始／終了	チャンネル
1			
2			
3			

選ぶ：▲／▼　決める：▶　終る：メニュー

＊予約番号1が選択されているときにカーソル（▲）ボタンを押すと予約番号8を選択できます。

3

（例）**録画日**を**7月16日(日曜日)**にする

（▲）または（▼）で**月**を選ぶ

（▲）または（▼）**で毎週・毎日録画が選べます。**

→7月…12月…6月↔毎週 日曜日…毎週 土曜日↔毎日 月曜日－金曜日←

※毎日録画は月曜日から金曜日までの毎日となります。

で次の項目へ移る

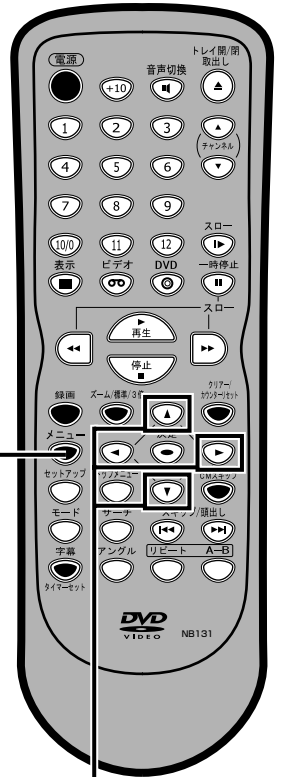
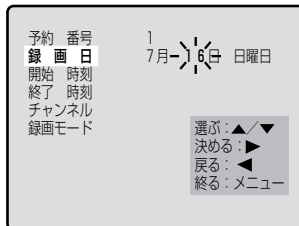
- **日についても同様の操作で設定します。(曜日は自動的に変わります。)**

あどばいす

手順3〜6は、入力後8秒経過すると自動的に次の項目へ移動します。

→次ページへつづく

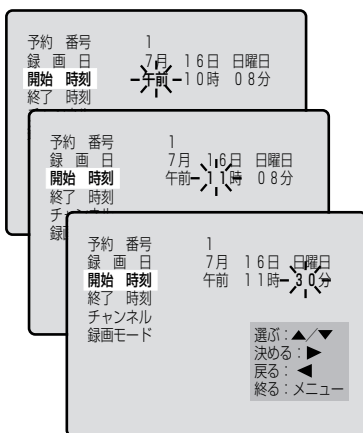
ビデオに録画する

ビデオ編　録画予約

4

（例）開始時刻を午前11時30分にする

▲ または ▼ で開始時刻の午前を選び、

▶ で次の項目へ移る

• 時／分についても同様の操作で設定します。

5

（例）終了時刻を午後2時50分にする

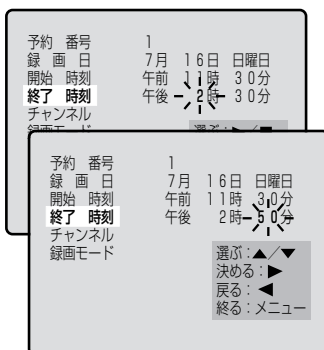
▲ または ▼ で終了時刻の時を選び、

▶ で次の項目へ移る

予約　番号　1
録　画　日　7月　16日　日曜日
開始　時刻　午前　11時　30分
終了　時刻　午後　2時　30分

予約　番号　1
録　画　日　7月　16日　日曜日
開始　時刻　午前　11時　30分
終了　時刻　午後　2時　50分
チャンネル
録画モード
選ぶ：▲／▼
決める：▶
戻る：◀
終る：メニュー

• 分についても同様の操作で設定します。

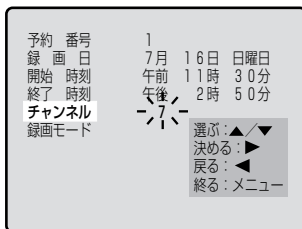
• 終了時刻は開始時刻から12時間以内となりますので、午前/午後は自動的に設定されます。

6

（例）チャンネルを7にする

▲ または ▼ で

チャンネルを選び、

▶ で次の項目へ移る

予約　番号　1
録　画　日　7月　16日　日曜日
開始　時刻　午前　11時　30分
終了　時刻　午後　2時　50分
チャンネル　7
録画モード
選ぶ：▲／▼
決める：▶
戻る：◀
終る：メニュー

7

（例）録画モードを3倍にする

▲ または ▼ で録画モードを選ぶ

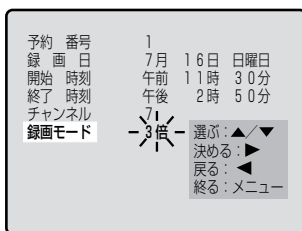
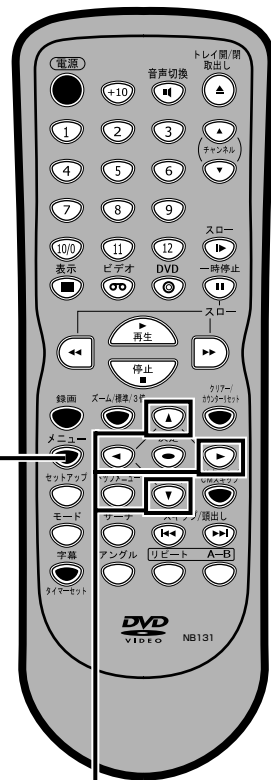
• 標準モード
画質を優先したいとき
• 3倍モード
録画時間を長くしたいとき

メニュー で終了し、通常画面に戻る

7

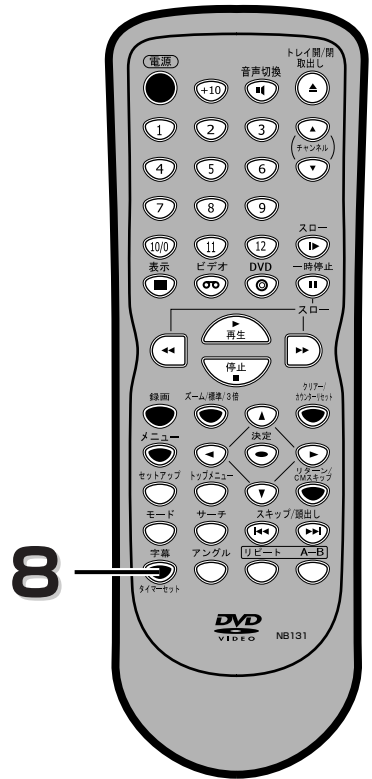
4〜7

8

を押す

- 予約スタンバイ（タイマー待機中）状態になります。

- 録画予約動作中および予約スタンバイ中の電源ボタンは、DVDの電源のオン/オフを行います。また、録画予約動作中にDVDを使用する場合は、リモコンのDVDボタンを押してから操作してください。（DVDランプ点灯）
- 録画予約動作中に録画を止めるには、本体の停止/取出しボタンを押します。
- 録画予約設定後に予約内容の修正/取り消しをするには、52〜53ページをご覧ください。

録画予約完了後の本機のご使用について

録画予約の録画終了後に本体表示部のタイマーセット表示が点滅することがあります。これはすべての録画予約が完了し、次の予約が入っていないことを示しています。このとき、DVD使用時を除き電源はオフとなっておりますので、再びビデオをご使用になるには再度リモコンのタイマーセットボタンまたは本体の停止/取出しボタンを押し、タイマーセット表示の点滅が解除されたことを確認してください。また、DVD使用時は本体のビデオ/DVDボタンまたはリモコンのビデオボタンを押してください。

あどばいす

- 時計が合っていることを確認してください。（録画予約は、時計を合わせていないと設定できません。）
  時計合わせが行われていないときに録画予約を選ぶと、時刻設定の画面になります。
- ツメの折れていないビデオカセットテープを入れてください。
- ツメ折れテープを入れ予約設定を行なった場合、予約スタンバイ状態になるとテープが排出されます。ツメの折れていないビデオカセットテープを入れ直してください。
- 手順3〜6の設定では、操作してから8秒後に次の設定へ自動的に移ります。
- 初めから設定が合っているときは、カーソル（▶）ボタンを押すと次の操作に進むことができます。
- カーソル（◀）ボタンを押すことにより1つ前の操作に戻ることができます。

録画予約セット後は…
- 録画開始時刻までは電源が切れています。録画開始時刻までに本機を使用するときは、リモコンのタイマーセットボタン、または本体の停止/取出しボタンを押し、予約スタンバイを解除してください。本機を使用されたあとは、必ずリモコンのタイマーセットボタンを押して予約スタンバイにしてください。（DVDを使用する場合は、予約スタンバイを解除しなくても操作できます。）
- 本機を使用するときは、リモコンのDVDボタンまたはビデオボタンを押して使用したい側のモードに切り換えてください。予約スタンバイ状態に移行した場合や、予約スタンバイを解除した場合に本体とリモコンのモードが異なることがあります。
- リモコンのタイマーセットボタンで予約スタンバイ状態にしたあとDVDを使用しない場合は、電源ボタンでDVDの電源を切ってください。
- 録画予約動作中にテープが最終端になると、自動的に録画を停止し、テープを排出して電源が切れます。（テープは巻戻しされません。）新しいテープを挿入すると、録画を再開します。
- 録画予約動作中は、本体の停止/取出しボタンを押すと録画が止まります。

予約した時間が重なると…
- 同じ時間に予約が重なっている場合は、録画時刻の早いほうを優先します。
  たとえば下図のような予約の場合、予約番号1の番組が7時から10時まで録画されたあと、予約番号2の番組が10時から11時まで録画されます。

- スポーツ中継などで番組がずれると予想される場合は、予約終了時間を長めにセットしておくことをおすすめします。
- 午後11時から午前1時までなど、日にちをまたぐ予約設定をするには、録画開始日を入力し、録画開始時刻を午後11時、終了時刻を午前1時に設定してください。

■ 予約内容の確認

録画予約設定後に予約内容を確認できます。

● 一覧表で確認するには…

準備：テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
本機の電源を入れます。（予約スタンバイ状態の場合は、リモコンのタイマーセットボタンを押してください。）
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

あどばいす

• 予約内容の確認後は、必ずリモコンのタイマーセットボタンを押して、予約スタンバイの状態にしてください。

■ 留守録リターン

すべての録画予約終了後、自動的に最初の録画開始位置までテープを巻戻し電源が切れます。

準備：テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
本機の電源を入れます。（予約スタンバイ状態の場合は、リモコンのタイマーセットボタンを押してください。）
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1 メニュー でメニュー画面を表示し、

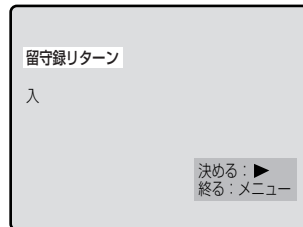
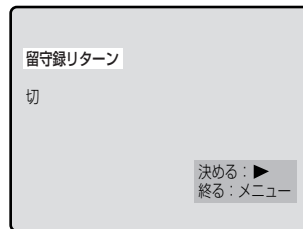
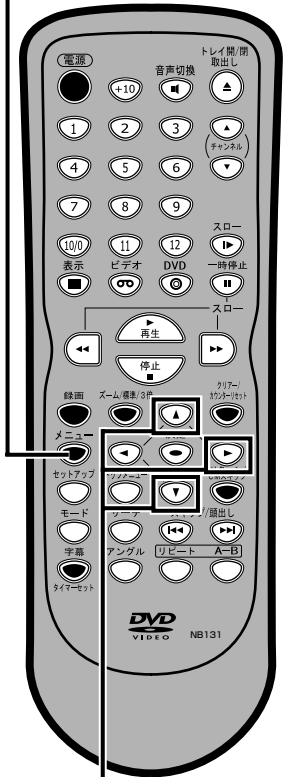
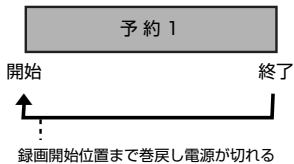
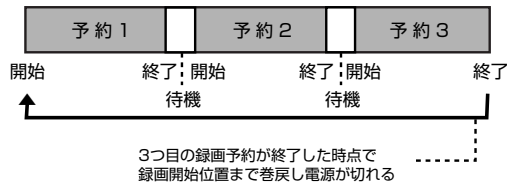
録画予約
録画延長
留守録リターン
ピクチャーセレクト
サテライト予約
時刻設定
自動チャンネル設定
チャンネル設定変更
選ぶ：▲／▼
決める：▶
終る：メニュー

▲ または ▼ で

留守録リターンを選び、

▶ で次の画面へ移る

2 ▶ で**入**／**切**を選ぶ

3 メニュー

で終了し、通常画面に戻る

あどばいす

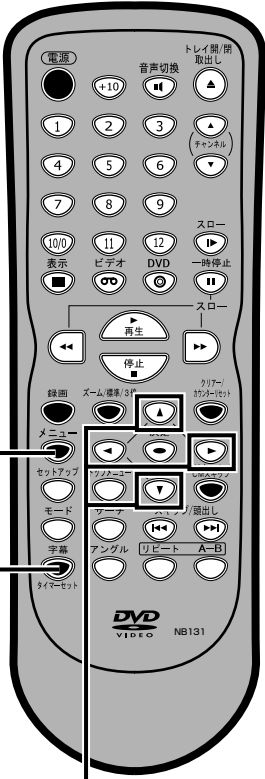
- 毎日／毎週録画、サテライト予約、ワンタッチタイマー録画では留守録リターン機能は働きません。

ビデオに録画する

■ 予約延長設定

スポーツ中継などの番組延長で、あとの番組の放送時間がずれた場合に、簡単に予約時間を変更することができる機能です。

● 録画予約が開始されていない場合…

準備：テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
本機の電源を入れます。（予約スタンバイ状態の場合は、リモコンのタイマーセットボタンを押してください。）
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

字幕
を押す
タイマーセット

• 予約スタンバイ状態になります。

あどばいす

• 毎日／毎週録画で設定された予約の場合は、予約延長設定はできません。
• 予約時間の延長中に開始時刻が次の日になった場合は、自動的に録画日／曜日が次の日に替わります。

● 録画予約が開始されている場合…

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
　　　リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1

でメニュー画面を表示し、

で

録画延長を選び、

で次の画面へ移る

録画予約
録画延長
留守録リターン
ピクチャーセレクト
サテライト予約
時刻設定
自動チャンネル設定
チャンネル設定変更
選ぶ：▲／▼
決める：▶
終る：メニュー

2

で**時間延長**をしたい予約番号を選び、

で次の画面へ移る

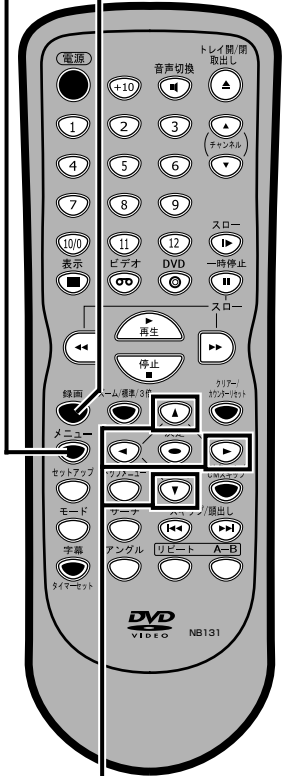
3

を押す

- **を押すごとに終了時刻が10分間ずつ延長されます。**
- **リモコンの録画ボタンで時間延長したあとに、リモコンの一時停止ボタンを押すと、時間延長をする前の元の時間に戻すことができます。**

予約　番号　1
録　画　日　7月　16日　日曜日
開始　時刻　午前　11時　30分
終了　時刻　午後　3時　00分
チャンネル　7
録画モード　3倍
延長：録画
戻る：一時停止
終る：メニュー

4

で終了し、通常画面に戻る

1、4
3
1～2

ビデオ編
予約延長設定

あどばいす

- 録画中の予約時間を延長した場合は、自動的に録画モードが3倍に変更されます。また、リモコンの一時停止ボタンでもとの時間に戻された場合も3倍モードのままになります。

ビデオに録画する

■ 予約内容の修正・取り消し

録画予約セット後に予約内容を修正／取り消すことができます。

● 予約内容を修正するには…

準備：テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ」にします。
本機の電源を入れます。（予約スタンバイ状態の場合は、リモコンのタイマーセットボタンを押してください。）
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1

メニュー でメニュー画面を表示し、

▶ で次の画面へ移る

録画予約
録画延長
留守録リターン
ピクチャーセレクト
サテライト予約
時刻設定
自動チャンネル設定
チャンネル設定変更
選ぶ：▲／▼
決める：▶
終る：メニュー

2

▲ または ▼ で修正したい**予約番号**を選び、

▶ で次の画面へ移る

予約	録画日	開始／終了	チャンネル
1	7／16	午前11：30	7
		午後 2：50	標準
2			
3			

選ぶ：▲／▼　決める：▶
キャンセル：◀　終る：メニュー

3

▶ で修正したい項目まで送り、

▲ または ▼ で修正し、

▶ で決定する

予約 番号　1
録 画 日　7月 16日 日曜日
開始 時刻　午前 11時 30分
終了 時刻　午後 2時 50分
チャンネル　7
録画モード　標準

予約 番号　1
録 画 日　7月 16日 日曜日
開始 時刻　午前 11時 30分
終了 時刻　午後 2時 50分
チャンネル　7
録画モード　3倍
選ぶ：▲／▼
決める：▶
戻る：◀
終る：メニュー

1、4
4
1～3

4

で通常画面に戻り、

を押す

• 予約スタンバイ状態になります。

あどばいす

• 予約内容の修正／取り消し後は、必ずリモコンのタイマーセットボタンを押して、予約スタンバイ状態にしてください。

● 予約内容を取り消しするには…

準備：テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
本機の電源を入れます。（予約スタンバイ状態の場合は、リモコンのタイマーセットボタンを押してください。）
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1

でメニュー画面を表示し、

で次の画面へ移る

2

▲ または ▼ で取り消したい**予約番号**を選び、

で予約内容を取り消す

1～2

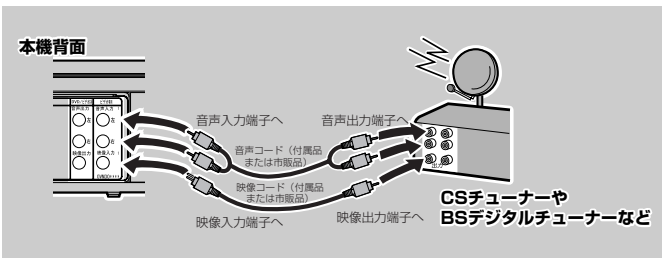
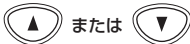
3

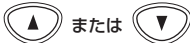
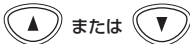
で終了し、通常画面に戻る

あどばいす

- 録画予約が開始されている途中で予約を取り消すには、本体の停止/取出しボタンを押し、そのあと、手順1から操作してください。

■ サテライト予約

24時間以内に始まるCSやBSデジタル放送などの外部入力に連動して録画するときに便利です。背面入力端子(ライン1)に接続してください。

● サテライト予約の設定をする前に本機とCSチューナーやBSデジタルチューナーなどを接続してください。

あどばいす

- サテライト予約は前面入力端子(ライン2)では動作しません。
- CSチューナーやBSデジタルチューナーの信号を感知してからビデオの動作に入るため、録画開始時間は数秒間の遅れが生じる場合があります。
- 本体の録画予約とCS番組のサテライト予約が同時刻または重なった場合、録画予約のほうが優先されます。
- 番組によってはコピーガード機能により正しく録画されない場合もあります。
- 録画モードはサテライト予約の設定に入る前に、ズーム／標準／3倍ボタンで切り換えてください。
- サテライト予約のスタンバイはリモコンのタイマーセットボタン、または本体の停止/取出しボタンを押し、本機の電源がオンになると解除されます。
- サテライト予約動作中に録画を止めるには、本体の停止/取出しボタンを押します。

→次ページへつづく

ビデオに録画する

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。
ツメの折れていないテープを入れます。

1

メニュー でメニュー画面を表示し、

▲ または ▼ で

サテライト予約を選び、

► で次の画面へ移る

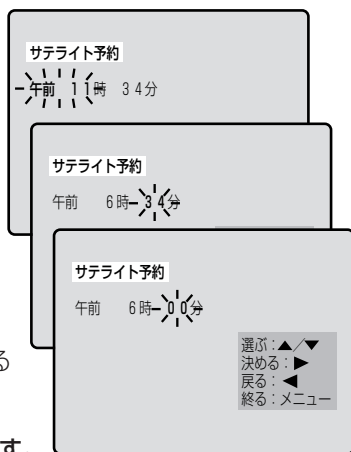
2

▲ または ▼ で

サテライト予約を設定する時間を合わせ、

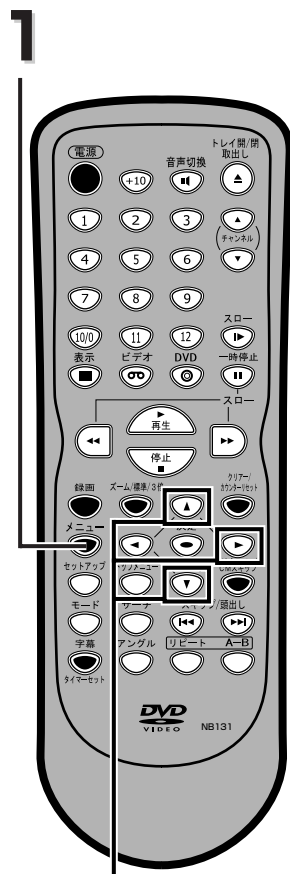
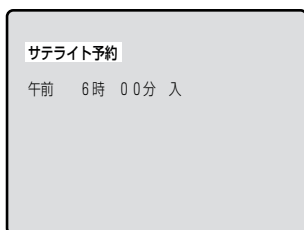
► で次の項目へ移り、

▲ または ▼ で**分**を合わせる

- **はじめは現在の時刻が表示されます。**

3

► を押す

- **“入”が表示されます。**

- **1秒後、自動的にサテライト予約スタンバイモードになります。**

あどばいす

- サテライト予約のスタンバイ中は設定された時間になると、CSチューナーの信号を感知させるために電源ランプが点灯します。
- サテライト予約録画終了後も電源ランプは点灯したままとなります。引き続きサテライト予約録画を行わない場合や、ビデオの操作をするときは、リモコンのタイマーセットボタンを押して予約スタンバイを解除し、リモコンのビデオボタンを押してください。
- 予約スタンバイを解除したときは、再度タイマーセットボタンを押してもサテライト予約はスタンバイモードにはなりませんので、手順1～3をやり直してください。

■ 音声多重放送について

本機をステレオテレビやお手持ちのステレオと接続すると、ステレオ放送や二重音声(2カ国語)放送を楽しめます。

● 送られてくる音声の画面表示について

・**表示ボタン**を押すとテレビ画面右上に音声モードが表示され確認できます。

● ステレオ放送を受信したときや、Hi-Fi録画されたテープを再生したときは…

・自動的に**ステレオモード**に切り換わります。
・**音声切り換ボタン**を押すことにより音声と音声表示が、**ステレオ→左音声→右音声→モノラル**に切り換わります。

音声モード	ステレオ放送受信時 Hi-Fiテープ再生時	画面表示
ステレオ	ステレオで聞こえる	ステレオ
左（主）	両方のスピーカーから 左の音声が聞こえる	左音声
右（副）	両方のスピーカーから 右の音声が聞こえる	右音声
ノーマル	モノラルで聞こえる	モノラル

● 二重音声放送(2カ国語放送)を受信したときは…

・音声は自動的に**二重音声モード**に切り換わります。
・**音声切換ボタン**を押すことにより音声と音声表示が、**主音声→副音声→主：副**に切り換わります。
このとき音声モードが記憶され、次に二重音声放送を受信すると前に記憶した音声モードに自動的に切り換わります。

音声モード	二重音声放送受信時	画面表示
ステレオ	左から主音声（日本語） 右から副音声（外国語）が聞こえる	主：副
左（主）	両方のスピーカーから 主音声（日本語）が聞こえる	主音声
右（副）	両方のスピーカーから 副音声（外国語）が聞こえる	副音声

（2カ国語放送が録画されたテープを再生するときも、同様です。）

● 本機は常に次の2つの方法で録音します。

Hi-Fi録音

・音声専用回転ヘッドによる**FM録音方式**を使い、すぐれたHi-Fi音声で録音や再生をします。
Hi-Fi録音では、ステレオ放送はステレオで二重音声(2カ国語)放送は**左に主音声、右に副音声**が記録されます。
モノラル放送は、**左右に同じ音声**が録音されます。

ノーマル録音

・従来のビデオと同じ録音方式で**モノラル**で録音します。
ノーマル録音では、ステレオ放送はモノラルで録音され、**二重音声(2カ国語)放送は主音声(日本語)**だけが録音されます。録音レベルは、自動的に適切なレベルに設定されます。

あどばいす

- Hi-Fi録音以外のテープを再生すると、自動的にノーマル音声になります。
- Hi-Fi録音されたテープを、Hi-Fi方式でないビデオデッキで再生した場合はノーマル音声になります。

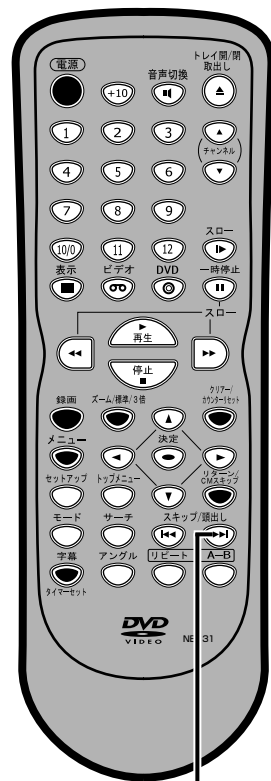
ビデオの便利な機能

■ テープの頭出し

インデックス記録された番組の頭出しをします。
インデックス信号は録画開始と同時に自動的にテープに記録されます。（録画中の一時停止から録画を再開した場合は記録されません。）

**準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。**

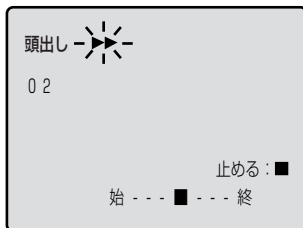
1

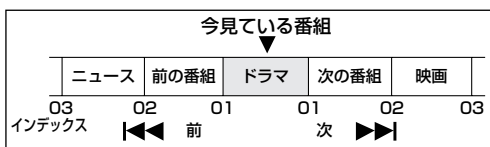
スキップ/頭出し を押す

- **頭出し検索が始まります。**

2

例）2つ先の番組を頭出しする場合

スキップ/頭出し（▶▶|）を**02**が表示されるまで繰り返し押す

- **スキップ/頭出し(▶▶|)ボタンを押しすぎて、02を越えてしまった場合は、スキップ/頭出し(|◀◀)ボタンで数字を減らすことができます。**
- **頭出し検索中にインデックス信号を検知すると、自動的に数字が減ります。**
- **頭出しは、最大20まで設定できます。**
- **設定した位置にくると、自動的に再生が始まります。**

あどばいす

頭出しについて

- インデックス信号は録画開始と同時に自動的にテープに記録されます。ただし、録画中の一時停止から録画を再開した場合は記録されません。
- テープの巻き始めに記録されているインデックスや、録画時間が1～2分の短い番組の場合は、検知されないことがあります。
- 手順1でスキップ/頭出し(|◀◀)ボタンを押すと、前の番組方向に頭出し検索をすることができます。スキップ/頭出し(|◀◀)ボタンまたはスキップ/頭出し(▶▶|)ボタンを押すごとにお好みのインデックス番号を選ぶことができます。
- 再生開始位置は若干前後する場合があります。

■ テープポジション

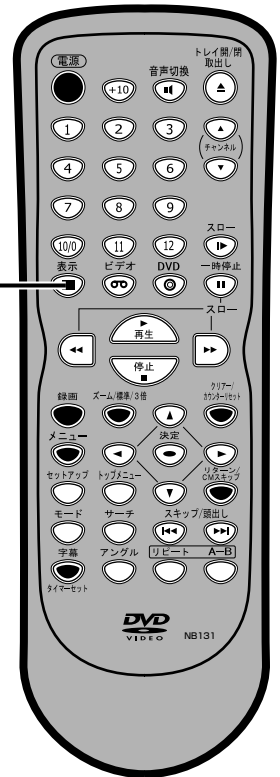
現在のテープ位置を画面に表示します。録画前にテープ残量を調べるのに便利です。

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1

表示

を押す

- 現在のテープの位置が“■”で表示されます。
- 早送り/巻戻しを行うと自動的にテープポジション表示になります。（ただし、カウンター/時計表示の場合は、テープポジション表示にはなりません。）
- テープポジション表示中に再生を行うと、テープポジション表示は消えます。

あどばいす

- 表示ボタンを繰り返し押すと、テレビ画面の表示がテープポジション/カウンター/時計表示の順に切り換わります。[➡ 59ページ]
- 録画や再生中にテープポジション表示に切り換えた際、テープ位置を示す“■”が表示されるまで2分ほどかかる場合があります。
- T-30/60/90/120/140/160/180/210以外のテープでは、テープ位置が正しく表示されない場合があります。

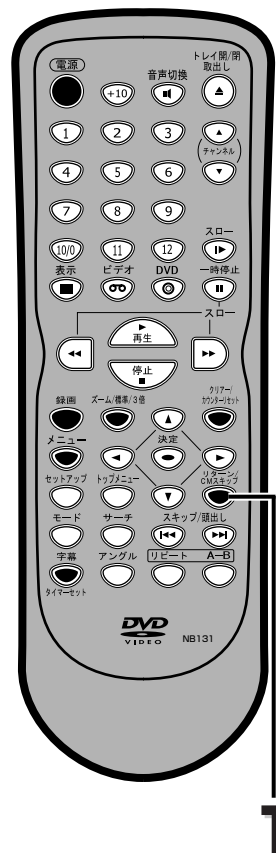
■ CMスキップ

コマーシャルを早送りさせたいときなどに、テープを30秒単位で早送り再生します。(音声はでません。)

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

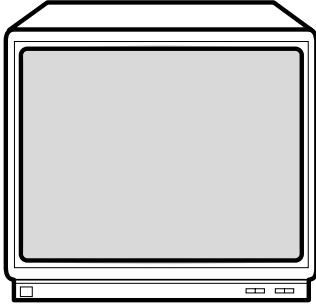
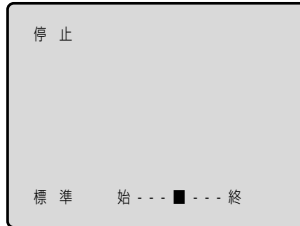
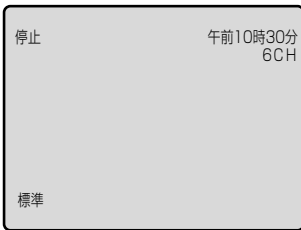
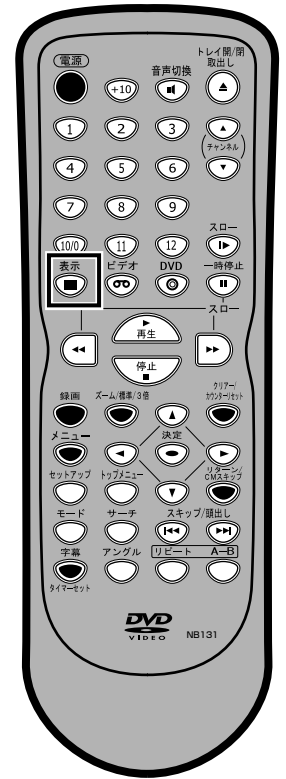
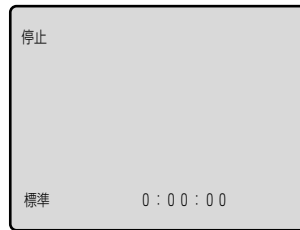
1

を**再生中**に押す

- 押す毎に約30秒ずつ加算されます。
  (最大180秒の早送り再生ができます。)
  1回押すと：約30秒早送り再生します。
  2回押すと：約60秒早送り再生します。
  3回押すと：約90秒早送り再生します。
- 指定した秒だけ早送り再生すると通常の再生に戻ります。

あどばいす

- CMスキップは再生時以外は操作できません。

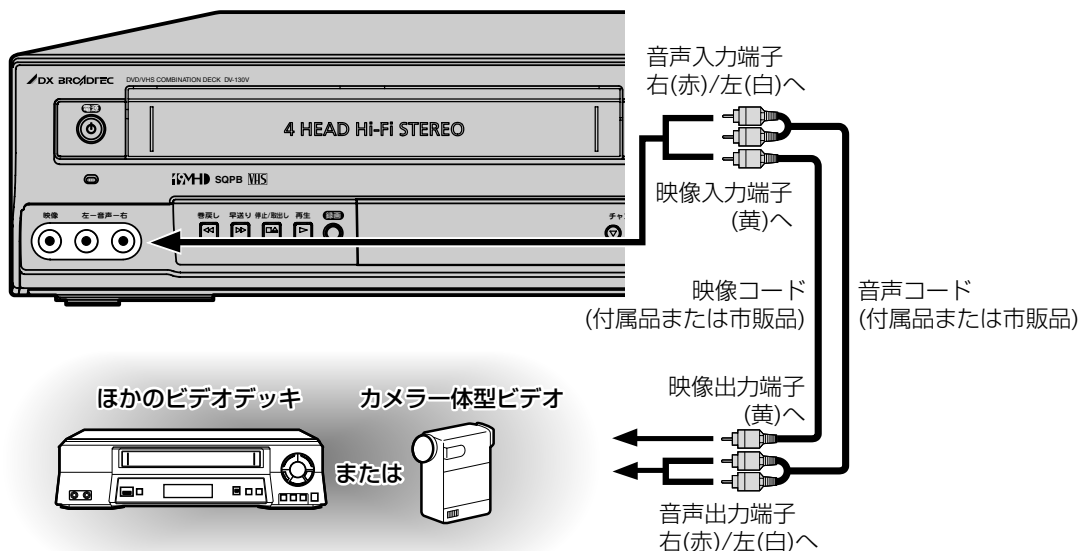
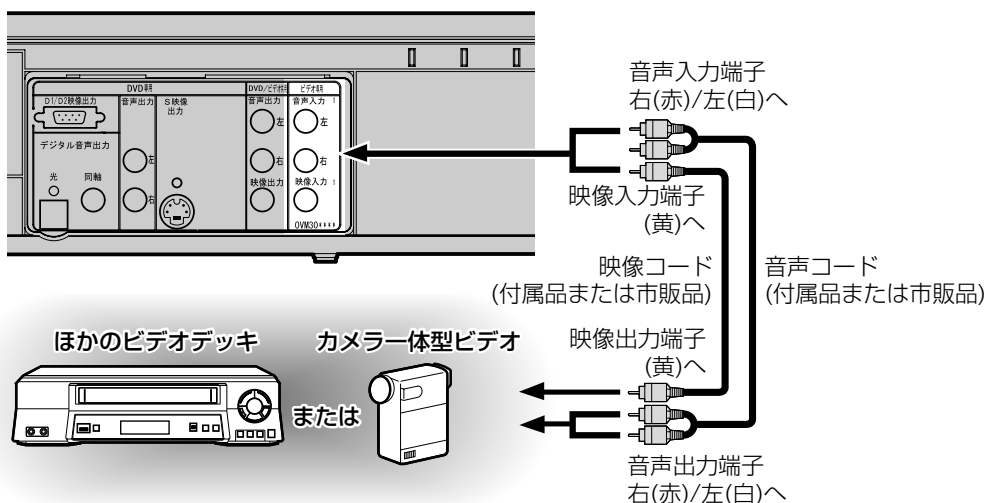
■ 表示ボタンの使いかた

表示ボタンを繰り返し押すと、下図のようにテレビ画面が変わります。

あどばいす

- テープポジションについては、57ページをご覧ください。
- ワンタッチタイマー録画中は、表示ボタンを押すと残り時間が表示されます。

■ テープのダビングについて

ほかのビデオデッキまたはカメラ一体型ビデオからダビングするには…
(本機を録画専用ビデオとした場合)

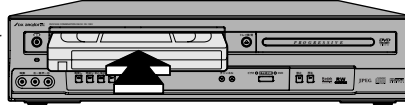
前面入力端子(ライン2)を使用する場合のダビング接続例

背面入力端子(ライン1)を使用する場合のダビング接続例

詳しくはほかのビデオデッキまたはカメラ一体型ビデオの取扱説明書をお読みください。

市販のテープやレンタルテープ、およびその他のメディア（DVDなど）をダビングされた場合、正常に録画できなかったり（画像が乱れる、定期的に暗くなったり明るくなったりする）、テレビの映像が正常に映らない場合があります。これは著作権者保護の目的で、コピーガード機能が働いているために起こる現象です。本機の故障ではありません。

- 本機のDVDからビデオへはダビングできません。
- あなたがテレビ放送やレコード、録画物などから録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

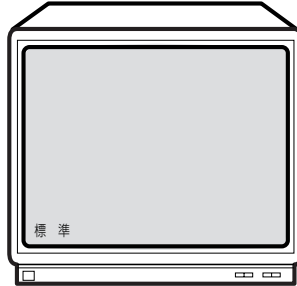
■ テープのダビングをするには

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
　　　リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

1 ツメの折れていないテープを入れる
（ツメが折れている場合は録画できません。）

2 ズーム/標準/3倍 を押して**録画モード**を選ぶ

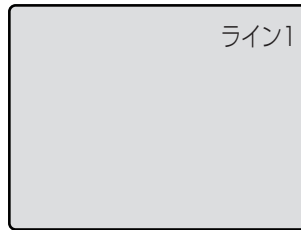
- **標準モード**
  画質を優先したいとき
- **3倍モード**
  録画時間を長くしたいとき

標　準

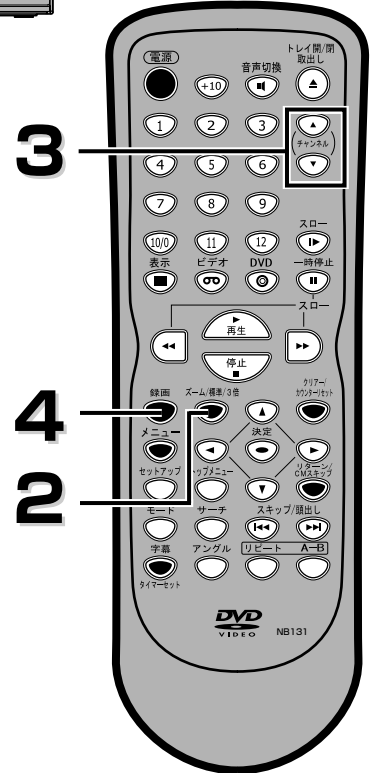
3

を押して、**ライン1、またはライン2を**選ぶ

- **本機の背面入力端子に接続している場合は、ライン1を選びます。**
- **本機の前面入力端子に接続している場合は、ライン2を選びます。**

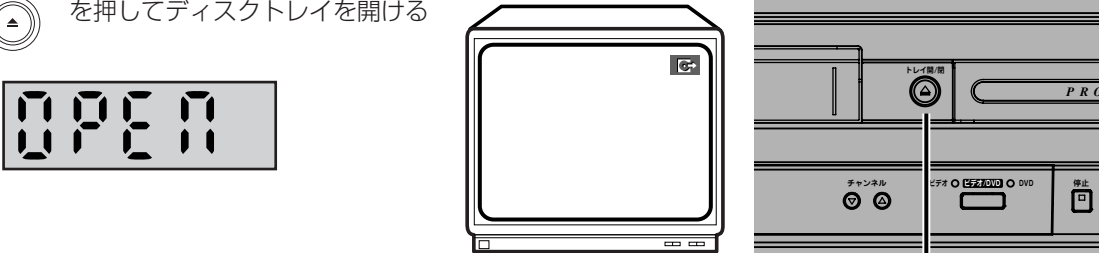
ライン1

4

を押す

- **録画を開始します。**

5 ほかのビデオデッキ（またはカメラ一体型ビデオ）の**再生ボタン**を押す

あどばいす

- ダビングを止めるときは、録画する機器（本機）を止めてから再生する機器を止めてください。
- 誤動作を防ぐために、録画する機器の操作は、本体ボタンを使用することをおすすめします。
- 接続する機器の取扱説明書もよくご覧ください。

ディスクを再生する

■ 再生のしかた DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット CD JPEG

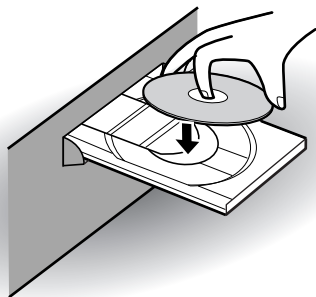
● 再生を始める前に…

• テレビ、アンプ、その他本機に接続されている機器の電源をすべて入れます。（入力方式を本機に適合するように切り換えたうえで、音声のボリュームが適正かどうか確かめてください。）
• ディスク回転中に電源プラグをコンセントから抜かないでください。
• 電源プラグを抜くときは、ディスクを取り出し、電源ボタンで電源を切ってから電源プラグを抜いてください。

準備： 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 トレイ開/閉 を押してディスクトレイを開ける

2 再生するディスクをトレイにのせる

• ラベル面を上にして、ディスクがトレイのくぼみに正しくセットされているか確認してください。

3 トレイ開/閉 を押してディスクトレイを閉める

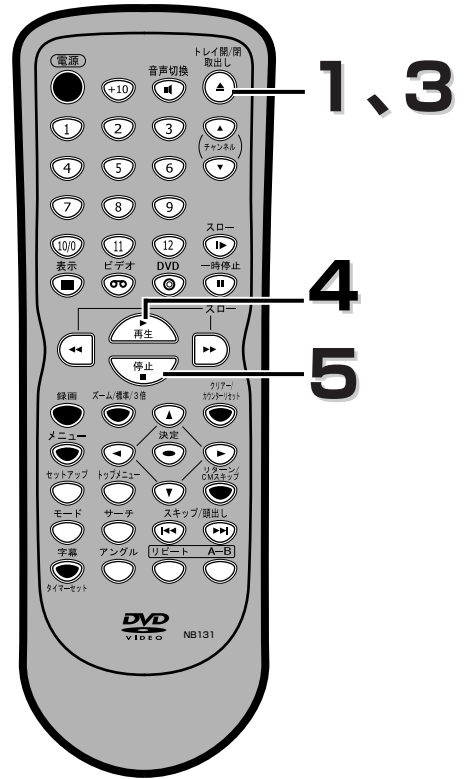
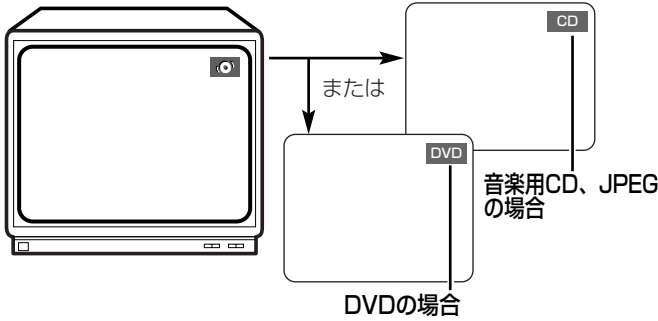
あどばいす

• 片面記録ディスクが裏表逆になっていると、ディスクを傷つける恐れがあります。必ず裏表を確認のうえ、ご使用ください。
• 電源「切」の状態でも、トレイ開／閉ボタンを押すと電源が入り、トレイが開きます。
• 2層ディスクの再生中に映像が一瞬止まることがあります。これはディスクの1層と2層が切り換わるために起こるもので、故障ではありません。ディスク付属の説明書も合わせてご覧ください。

4 を押す

- ディスクの最初のチャプター、またはトラックから再生が始まります。
- メニュー画面が記録されているDVDディスクを再生すると、画面表示されたメニューを使って、再生することができます。[➡ 74～75ページ]
- DVD-RW/-R（VRフォーマット）記録のディスクのオリジナル、プレイリスト画面から直接お好みのタイトルを選んで再生することができます。[➡ 76ページ]

5 再生をやめるとき、 を押す

→次ページへつづく

ディスクを再生する

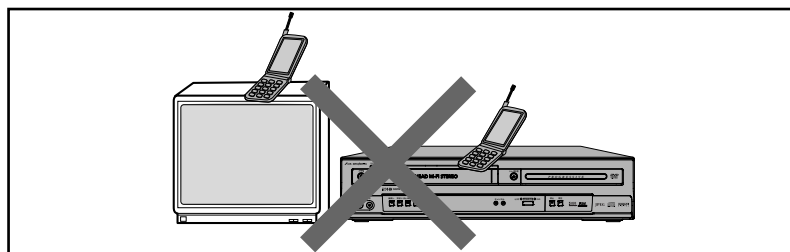
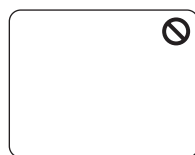
画面に下記の表示がでた場合は、109ページをご覧ください。

ディスクエラー	リージョンエラー	パレンタルエラー
––ディスクを取り出してください。–– 再生可能なディスクを挿入してください。	––ディスクを取り出してください。–– この地域での再生は禁止されています。 このディスクのリージョンは： １＊＊＊＊＊	現在のパレンタル設定では再生が制限されています。

（表示された数字がディスクに記録されているリージョン番号です）

あどばいす

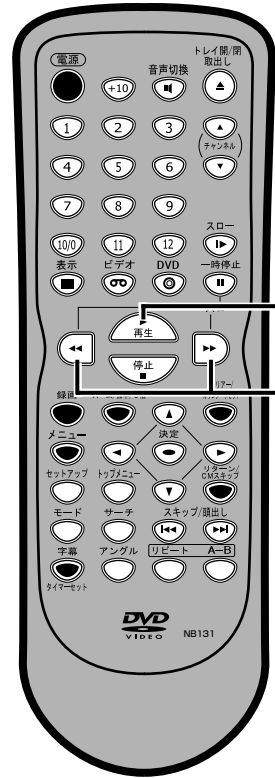
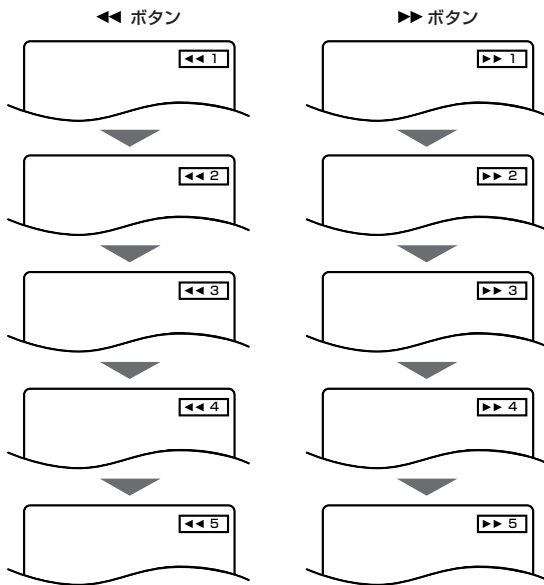
- 本機の動作中にテレビ画面の右上隅に「禁止アイコン」が表示されることがあります。これは、禁止されている操作が本機かディスクに対して行われていることを警告するためのものです。
- ディスクに汚れや傷があると、画像がゆがんで見えたり、再生が停止したりすることがあります。このような場合には、ディスクを清掃して電源プラグをいったん抜き取り、プラグを差し込みなおしてから再生を再開してください。

- 再生プログラム信号が備わっているDVDディスクの場合は、2番目のタイトルから再生が始まったり、タイトルを飛ばして再生をすることがあります。
- 携帯電話をご使用になるときはテレビや本機に近づけないでください。音声に異音が入ったり、テレビにノイズがでたりする場合があります。異音がでたり、テレビにノイズがでたりした場合には、携帯電話を離してご使用ください。

■ 早送り／早戻しをする DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット CD

準備： 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 再生中に ▶▶ または ◀◀ を押す

(DVDの音声はでません。)

- ▶▶ または ◀◀ を押すたびに、DVDの場合は5段階、音楽用CDの場合は3段階に再生速度が変わります。
- DVDの場合、ディスクによって早送り/早戻しの速度が異なる場合がありますが、目安は1（×2)、2（×8)、3（×20)、4（×50)、5（×100）です。
- 音楽用CDの場合、早送り/早戻しの速度の目安は1（×2)、2（×8)、3（×30）です。

2 を押すと通常の再生速度に戻る

DVD編 早送り／早戻しをする

あどばいす

- タイトルからタイトルの早送り/早戻しはできません。
- DVDで早送り/早戻し中に映像にブレが生じる場合は、「映像設定」で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。
[➡ 99～100ページ]

ディスクを再生する

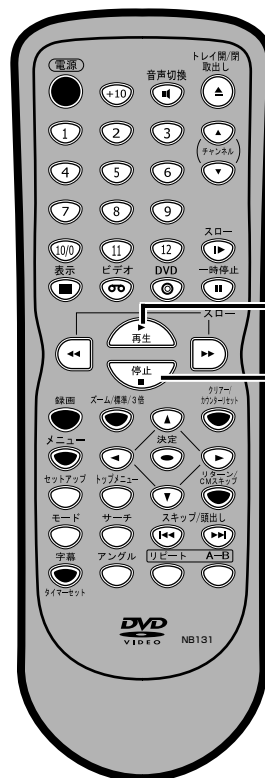
■ 続きから再生する（リジューム機能） DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット C D JPEG

準備： 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 再生中に を押す

- 再生が停止し、次いで画面中央に「再開メッセージ」が表示されます。

2 を押す

- 停止した位置から、続けて再生されます。

あどばいす

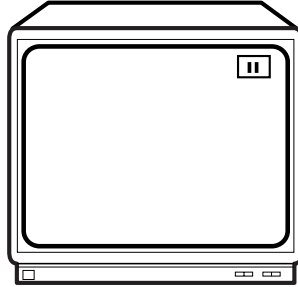
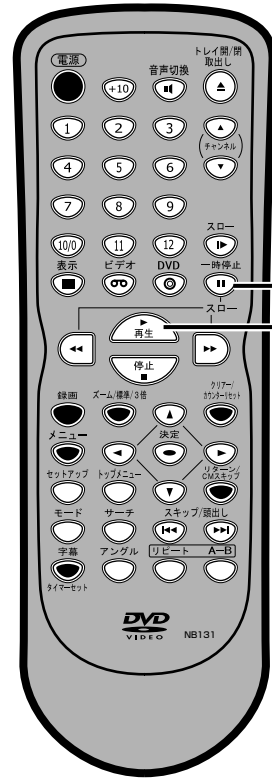
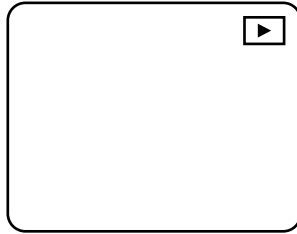
- 電源を切ってもつづき再生の情報は消えません。
- 次のような操作をした場合、つづき再生はできなくなります。
  - ・停止ボタンを2回押す
  - ・ディスクトレイを開く
- JPEGの再生時はトラックの先頭から再生します。

■ 一時停止（静止） DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット CD JPEG

準備： 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 再生中に 一時停止 を押す

- 再生が一時停止し、音声は消音となります。
- DVDは静止画再生となります。
- 音楽用CDとJPEGは一時停止となります。

2 再生を再開するには 再生 を押す

あどばいす

- DVDで一時停止中に映像にブレが生じる場合は、「映像設定」で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。
[➡ 99～100ページ]

■ チャプターやトラックを頭出しする（スキップ） DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット CD JPEG

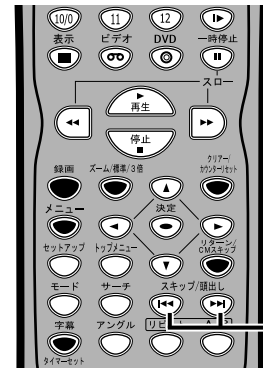
準備： 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 再生中に スキップ/頭出し ▶▶| か スキップ/頭出し |◀◀ を押す

- DVDの場合は、同一タイトル内のチャプターの頭出しができます。
- 音楽用CD、JPEGの場合は、トラックの頭出しができます。

スキップ/頭出し ▶▶| — 次のチャプターを頭出しします。

または

スキップ/頭出し |◀◀ — 現在のチャプターを頭出しします。
さらに押すと前のチャプターに戻ります。

あどばいす

- JPEGの場合は ◀ / ▶ （左右カーソルボタン）でもスキップ可能です。

一時停止（静止） DVD編 チャプターやトラックを頭出しする（スキップ）

ディスクを再生する

■ コマ送り再生 DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット

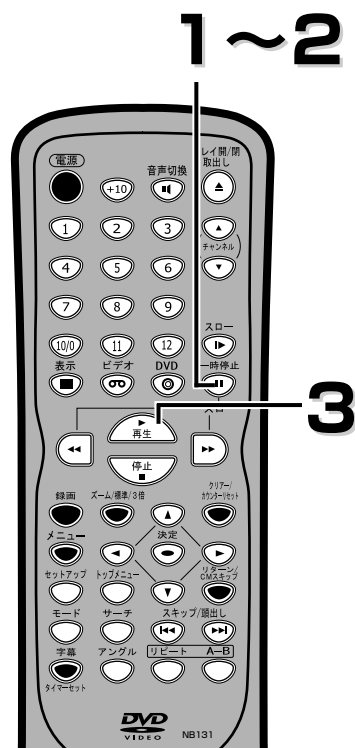
準備： 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
　　　リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 再生中に 一時停止 を押す

2 一時停止中に 一時停止 を押す

- ボタンを押すたびに、音声は消音されたまま、コマ送りされます。

3 再生を再開するには

再生 を押す

あどばいす

- コマ送り再生中に映像にブレが生じる場合は、「映像設定」で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。
  [➡ 99～100ページ]

■ 再生速度を微調整する（早見早聞／遅見遅聞再生） DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット

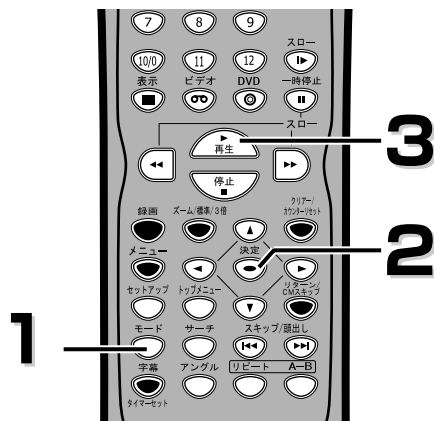
準備： 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
　　　リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。
※ドルビーデジタル方式で記録されたディスクにのみ有効な機能です。

1 再生中に モード を1回押す

- 現在の設定状態が表示されます。

2 決定 で♪♪/♪/オフを切り換える

- ♪♪　：約1.3倍速で再生を行います。（早見早聞再生）
- ♪　　：約0.8倍速で再生を行います。（遅見遅聞再生）
- オフ　：通常再生を行います。

3 通常の再生に戻るには を押す

あどばいす

- 決定ボタン以外に カーソル（◀ ▶）ボタンで設定を変更することも可能です。
- 早見早聞／遅見遅聞再生中に再生ボタンを押すと通常再生に戻ります。
- 早見早聞／遅見遅聞再生中は音声（言語）切り換えはできません。
- 早見早聞／遅見遅聞再生中はバーチャルサラウンド設定、黒レベル設定はできません。
- 早見早聞／遅見遅聞再生中はバーチャルサラウンド機能は働きません。
- ディスクによっては働かない箇所があります。
- デジタル端子（同軸デジタル音声出力端子/光デジタル音声出力端子）に接続している場合PCM音声が出力されます。

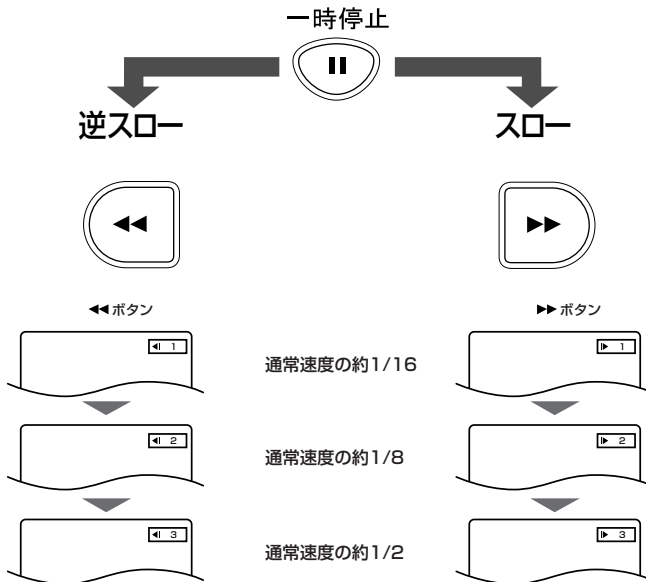
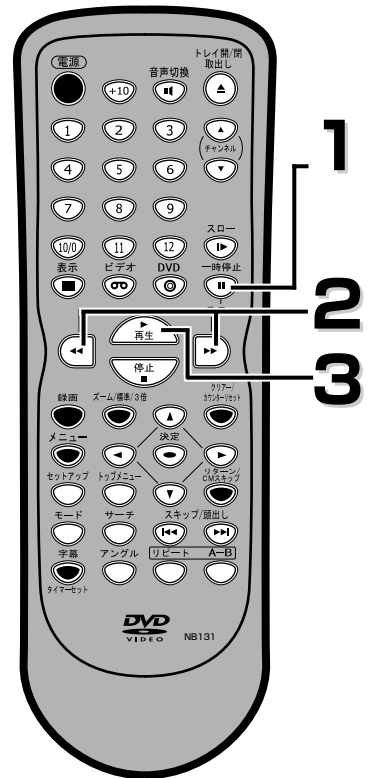
■ スロー再生 DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット

準備： 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 再生中に 一時停止 を押す

2 再生を一時停止している間に ▶▶ または ◀◀ を押す

（音声は消音のままです。）

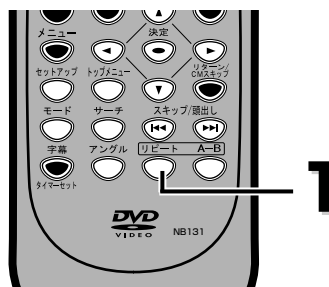
- スローモーションモードで再生が行われます。
- ◀◀ または ▶▶ を押すたびに3段階に再生速度が変わります。
- ディスクによって再生速度が異なる場合がありますが、目安は1（1/16）、2（1/8）、3（1/2）です。

3 再生 を押すと通常の再生速度に戻る

あどばいす

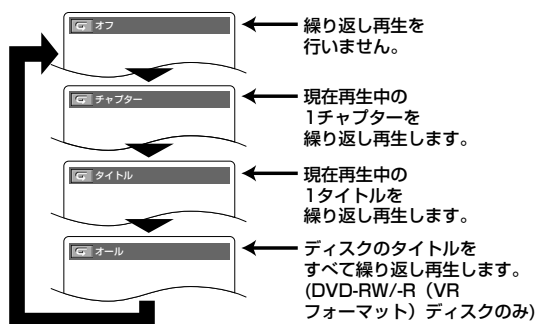
- 音楽用CDのスロー再生はできません。
- スロー再生中に映像にブレが生じる場合、「映像設定」で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。[➡ 99〜100ページ]

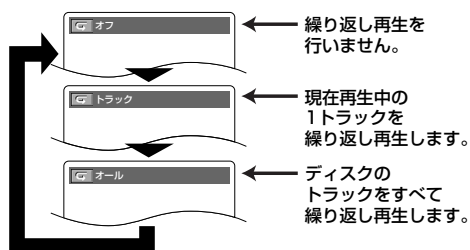
ディスクを再生する

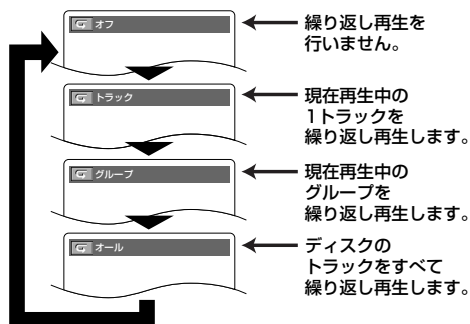
■ 繰り返し再生（リピート再生） DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット CD JPEG

準備： 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 再生中に リピート を押す

DVDの場合

- 1つのタイトル、チャプターまたはディスク全体（DVD-RW（VRフォーマット）ディスクのみ）を、繰り返し再生します。
- リピート を押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。

音楽用CDの場合

- ディスク全体または1つのトラックが繰り返し再生されます。
- リピート を押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。

JPEGの場合

- グループまたは1つのトラック、ディスク全体が繰り返し再生されます。
- リピート を押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。

プログラム/ランダム再生中に リピート を押し、“オール”にするとプログラム/ランダム再生が繰り返し実行されます。[➡ 72、73ページ]

あどばいす

- ディスクによっては、繰り返し再生ができないものがあります。
- リピート設定をしたあと、ほかのタイトル、チャプター、グループ（フォルダ）、トラック（ファイル）をサーチすると、この設定は消去されます。
- リピート設定をしても、タイトル、チャプターの先頭に戻らず、次の場面に移るディスクがあります。
- A-Bリピート設定中は、リピート設定できません。

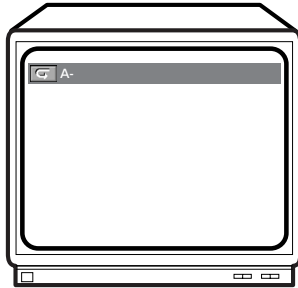
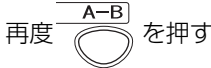
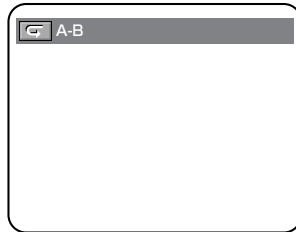
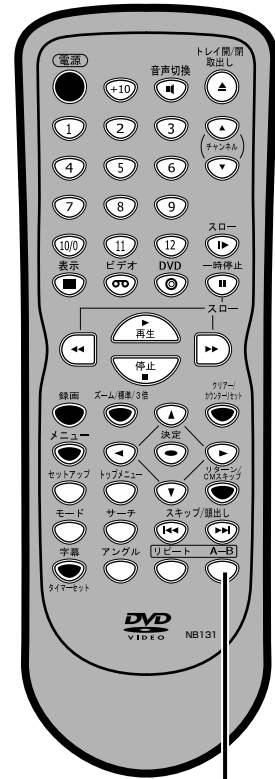
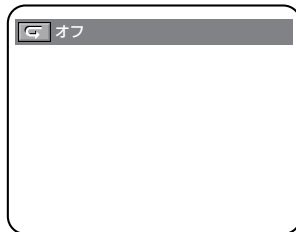
■ 繰り返し再生（A-Bリピート再生） DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット CD

選択したセクションを繰り返し再生するように、設定することができます。

準備： 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 再生中に繰り返し再生の開始点にしたい箇所で

を押す

• 開始ポイント（A）が選択されます。

2 リピート再生の最終点にしたい箇所で、
再度 A–B を押す

• 終了ポイント（B）が選択されます。
• 選択されたセクションが繰り返し再生されます。

3 A-Bリピート再生を終わらせるには、A–B を押してリピート再生をオフに切り換える

あどばいす

• DVDの場合、A-Bリピートは、同じタイトル内にのみ設定することができます。
• 音楽用CDの場合、A-Bリピートは、同じトラック内にのみ設定することができます。
• DVDの場面によっては、A-Bリピート機能を利用できない場合もあります。
• 設定された開始ポイント(A)をキャンセルするには、

を押すと、“オフ”と表示されます。
• 開始ポイント(A)のみ設定したままタイトル/トラックの終端まで再生された場合は、自動的に終端に終了ポイント(B)が設定されます。
• リピート設定中は、A-Bリピート設定できません。

■ プログラム再生　CD

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 ディスクを挿入し、停止中に モード を押す

• プログラム設定画面が表示されます。

2 ▲ / ▼ を押して希望するトラックを選択し、決定 を押す

• 選択したトラックの合計時間が画面上側に表示されます。

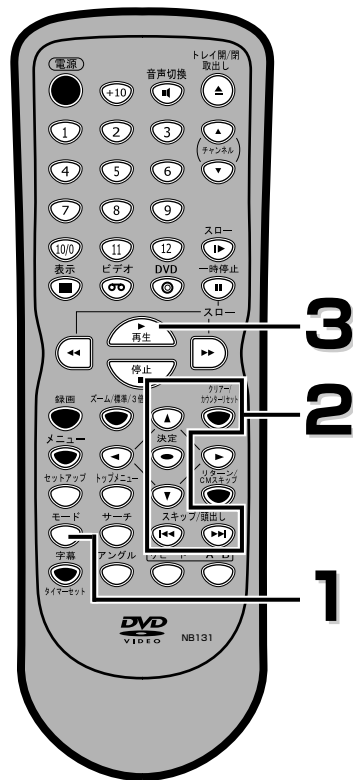
• 最後に入力したプログラムを取り消すには、クリアー/カウンターリセット

を押します。

• 引き続き別のトラックをプログラムするときは、手順2を繰り返します。またこのとき、8トラック以上が入力され、画面内に表示しきれない場合は、次のページを示す“▷▷|”（|◁◁）が表示され、▶▶| または |◀◀ で入力したトラックの確認ができます。

3

を押す

• プログラムされている順序で再生が開始します。

プログラム再生中、停止ボタンは次のように作動します。

● **停止ボタンを1回押した場合、一旦停止となります。**
再生再開時：停止されていた位置から、プログラム再生を続けることができます。

● **停止ボタンを2回押した場合、プログラム再生はキャンセルされます（プログラムの設定は保持されます）。**
再生再開時：トラック1から通常再生を始めます。保持されているプログラム設定を再生するには、**モードボタン**を押してから、**再生ボタン**を押します。

あどばいす

• プログラム再生中はプログラムの追加はできません。このような操作を行う場合は現在の再生を停止してください。
• プログラム再生中は、希望のトラックからの再生およびランダム再生はできません。
• プログラムの設定は、電源を切ったり､ディスクが入っているトレイが開くと、消去されます。
• すべてのプログラムを消すには手順2でリストの一番下の“オールクリア”を選択してください。
• 1度設定したトラック順を入れかえることはできません。トラック順を変更したい場合は、手順2で クリアー/カウンターリセット

を使って入力しなおしてください。

• プログラム再生中に、プログラム設定した前後のトラックを再生するときは スキップ/頭出し

を押してください。
• 99トラックまでプログラムできます。

■ ランダム再生　CD

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

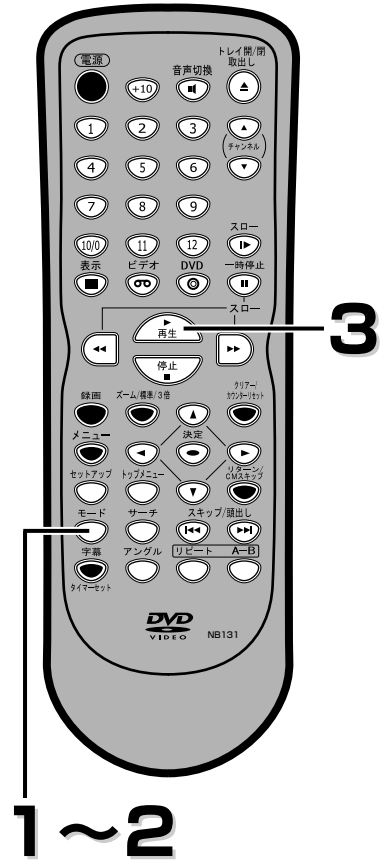
1 停止中に モード を押す

• プログラム設定画面が表示されます。

2 モード をもう一度押す

• ランダム設定画面が表示されます。

3 再生 を押す

• ランダム再生が始まります。

あどばいす

• ランダム再生中は、希望のトラックからの再生およびプログラム再生はできません。
• ランダム再生は、電源を切ったり、再生を停止したり、ディスクが入っているトレイが開くと解除されます。
• ランダム再生中は、前のトラックへ戻ることはできません。

希望するところから再生する（サーチ）

■ ディスクメニューを使う DVD-V

ディスクの内容を表示し、ディスクメニューから再生することができます。

（例）

● 表示される内容はディスクによって異なります。
ここでは一般的な操作の例を示しています。

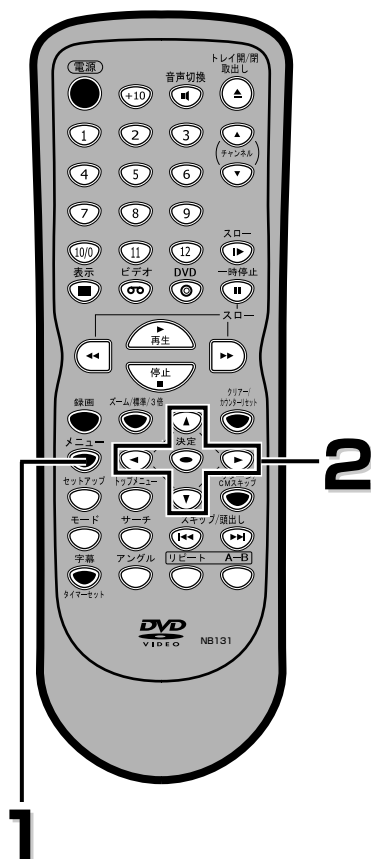
準備： 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 メニュー を押す

- ディスクメニューが表示されます。

2 希望するタイトルを選択する

- カーソルボタン（▲ / ▼ / ◄ / ►）を押して選びます。次に 決定 を押します。
- ディスクによっては、数字ボタンや再生ボタンが有効な場合があります。

3 選択したタイトルから再生が始まる

DVD編

ディスクメニューを使う

あどばいす

- ディスクの取扱説明書をお読みください。

■ タイトルメニューを使う　DVD-V

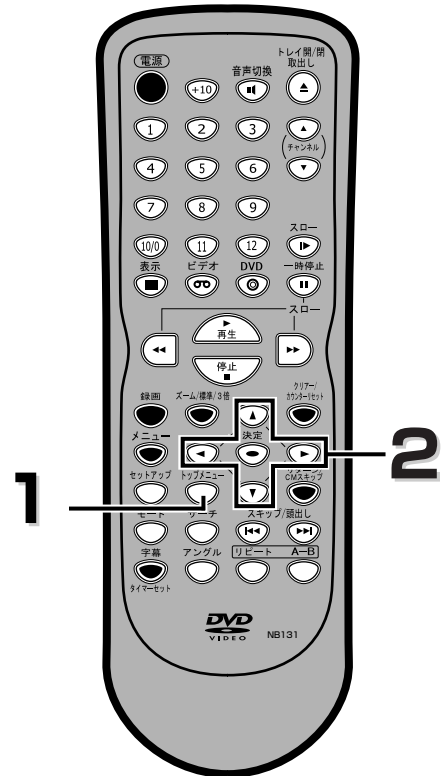
タイトルメニューが入っているDVDの場合は、このメニューの中から希望するタイトルを選択することができます。

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 トップメニュー を押す

- タイトルメニューが表示されます。

2 希望するタイトルを選択する

- カーソルボタン（▲ / ▼ / ◄ / ►）を押して選びます。次に 決定 を押します。
- ディスクによっては、数字ボタンや再生ボタンが有効な場合があります。

再生中にメニュー画面を呼び出すには？

- メニュー を押してDVDメニューを呼び出します。
- トップメニュー を押してタイトルメニューを呼び出します。
（ディスクによっては呼び出せないものがあります。）

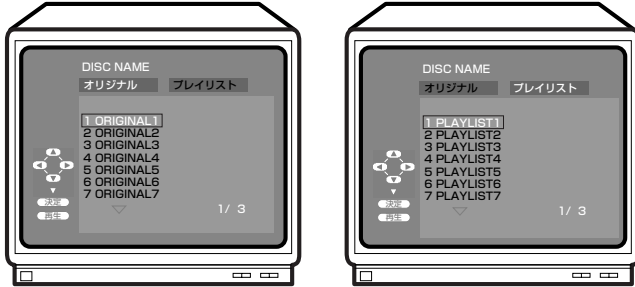
希望するところから再生する（サーチ）

■ VRフォーマットで記録されたDVD-RW/-Rディスクを再生する DVD-RW/-R VRフォーマット

VRフォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）で記録されたDVD-RW/-Rディスクにプレイリストを設定しているときは、“オリジナル”、または“プレイリスト”を選択して再生することができます。

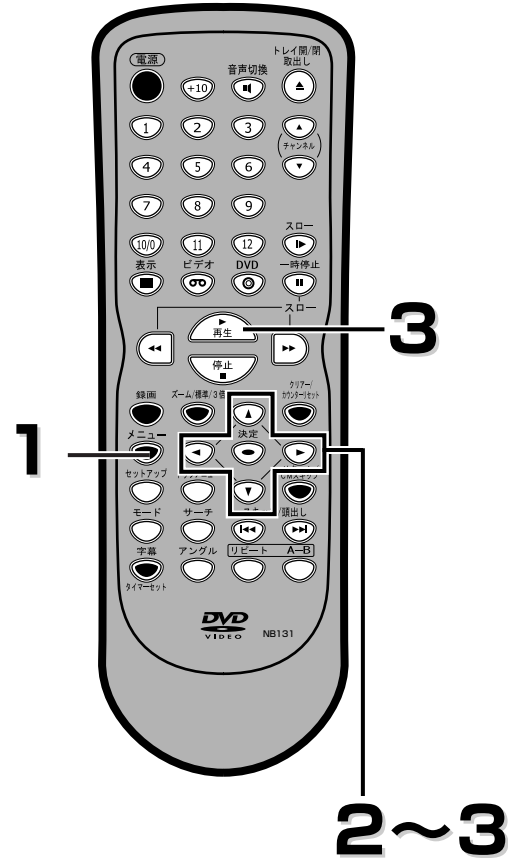
準備： 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 停止中に メニュー を押す

• 現在設定されているメニューが表示されます。

2 ◄ / ► 押してオリジナル、またはプレイリストを選択する

• プレイリストが作成されていないときは、メニュー画面にプレイリストは表示されません。
• 設定の状態を切り換えると、つづき情報(リジューム)は解除されます。

3 ▲ / ▼ を押して希望するタイトルを選択し、決定 または 再生 を押す

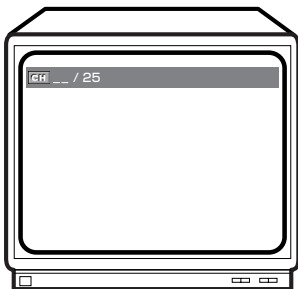
• 選択したタイトルの再生が始まります。

あどばいす

• DVDレコーダーで録画して作られたタイトルをオリジナルと呼びます。
• オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルをプレイリストと呼びます。
• 弊社製のDVDレコーダーで記録された未ファイナライズディスクに対応しています。他社製のDVDレコーダーで記録されたファイナライズしていないディスクは再生できません。
• ディスク名／タイトル名は25文字まで表示できます。英数、アルファベット、ひらがな、カタカナによる表示が可能で、その他認識されない文字はアスタリスクで表示されます。また、表示可能な文字であっても記録方式によっては表示できない（アスタリスクが表示される）場合があります。
• VRフォーマットで記録されたDVD-RW/-Rでは、編集（タイトル消去・記録の繰り返し）やプレイリスト作成により、再生中に映像や音声が一瞬止まることがあります。
• VRフォーマットはDVD-RW/-Rディスクを使って、プログラム編集などのDVDレコーダーならではの機能を楽しむための録画方式です。

■ 希望するチャプターまたはタイトルからの再生 DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット

準備： 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 再生中に サーチ を押す

- チャプターサーチ画面が表示されます。

2 タイトルをサーチする場合は、もう一度

サーチ を押す

- タイトルサーチ画面が表示されます。

3 数字ボタンを押して希望するチャプターまたはタイトル番号を入力する

- ディスクに2桁以上のチャプターやタイトルがあるとき、1桁の数字を入力するには、 10/0 を押してから希望の数字を押してください。
  例）チャプター1： 10/0 → 1
- 1桁のチャプターやタイトルしかない場合は、直接数字を押してください。
  例）チャプター1： 1

スキップ/頭出しボタン(⏮ ⏭)の使い方

再生中に

（スキップ/頭出し ⏭）を押すと、そのときに再生されていたチャプターを飛ばし、次のチャプターの再生を始めます。

（スキップ/頭出し ⏮）を1回押すと、再生されていたチャプターの頭出しをして再生を始めます。

（スキップ/頭出し ⏮）を続けて2回押すと、一つ前のチャプターに戻ります。

あどばいす

- ディスクによっては、希望するタイトルまたはチャプターからの再生ができないことがあります。
- 再生中に希望するチャプター番号の数字ボタンを押すと、現在再生中のタイトルのチャプター番号をサーチし、再生します。
- 停止中に希望するタイトル番号の数字ボタンを押すと、指定したタイトル番号の先頭から再生します。
- 入力をやり直すときは、

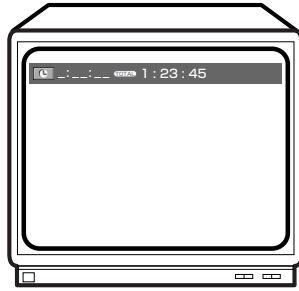
（クリアー/カウンターリセット）を押してください。

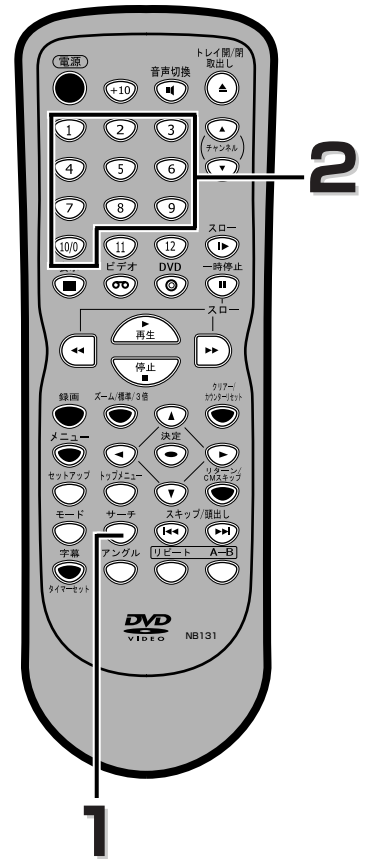
希望するところから再生する（サーチ）

■ 希望するタイムカウントからの再生 DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット CD

準備： 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 再生中に サーチ をタイムサーチ画面が表示されるまで繰り返し押す

• タイムサーチ画面が表示されます。

2 数字ボタンで希望の時間を入力する

• その時間から再生が始まります。
例：　1時間23分30秒
1 → 2 → 3 → 3 → 10/0

あどばいす

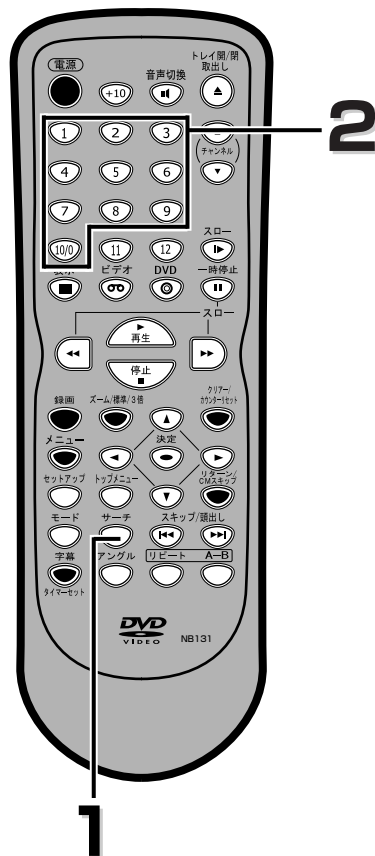
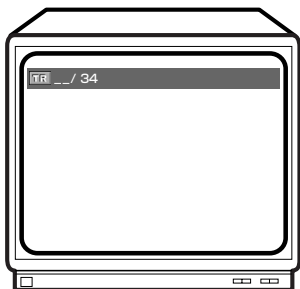
• タイムサーチは、DVDは再生中のタイトルを先頭からカウントした時間、音楽用CDは再生中のトラックを先頭からカウントした時間を指定し再生します。
• DVDの場合、チャプター内でのタイムサーチはできません。
• 音楽用CDの場合、CD全体のタイムサーチはできません。
• ディスクによっては、タイムカウント(時間)からの再生ができないものがあります。
• ディスクの総時間を越えた数値を入れたとき、タイムサーチは働きません。
• 数字ボタンの入力をやり直す場合は、 を押してください。

• タイトルやトラックの総時間に応じて、入力する必要のない箇所にはあらかじめ0が表示されます。たとえばタイトルの総時間が10分未満ならば、“0：0_：_ _”と表示されます。

■ 希望するトラックからの再生　CD JPEG

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 再生中に をトラックサーチ画面が表示されるまで繰り返し押す

- トラックサーチ画面が表示されます。

2 数字ボタンで希望するトラック番号を入力する

- 選択したトラックから再生が始まります。
- ディスクに2桁以上のトラックがあるとき、1桁の数字を入力するには、10/0 を押してから希望の数字を押してください。
  例）トラック1：10/0 → 1
- 1桁のトラックしかない場合は、直接数字を押してください。
  例）トラック1：1

スキップ/頭出しボタン(▶▶|)の使い方

再生中に ▶▶| を押すと、そのときに再生されていたトラックを飛ばし、次のトラックの再生を始めます。 を1回押すと、再生されていたトラックの頭出しをして再生を始めます。
 を続けて2回押すと、一つ前のトラックに戻ります。

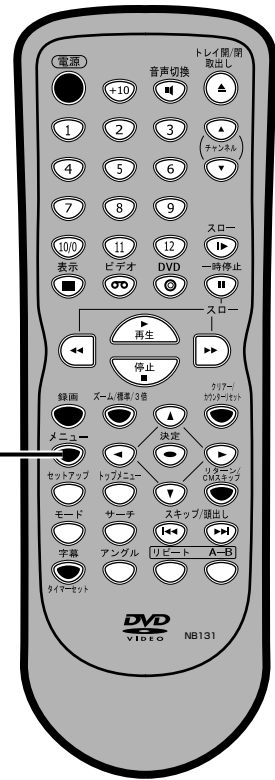
あどばいす

- 再生または停止中に数字ボタンを使って、希望するトラックから再生を始めることができます。
  （例）トラック1：1
  または、2桁以上のトラック番号を入力する場合は 10/0 を押し、数字を入力します。
  （例）トラック14：10/0 → 1 → 4
- 入力をやり直すときは、 を押してください。

DVD編 希望するトラックからの再生

■ JPEGディスクの再生 JPEG

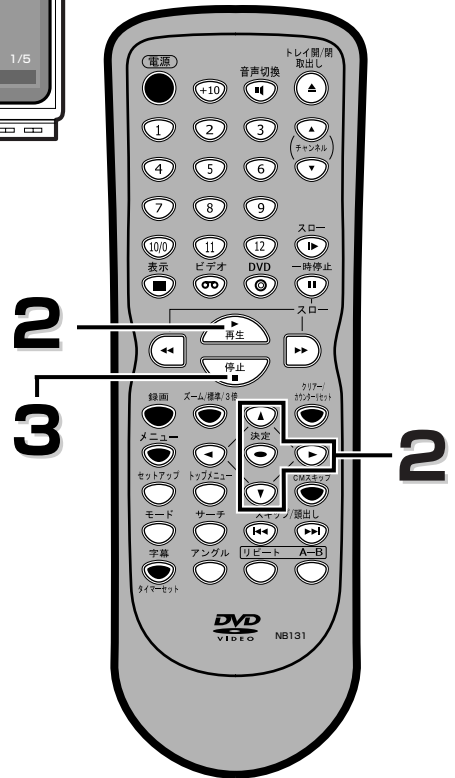
1 JPEGが記録されたディスクを挿入する

- 自動的にファイルリスト画面が表示されます。
- グループ（フォルダ）名の先頭には "⊡" が表示されます。
- JPEGトラック名の先頭には "☺" が表示されます。
- 画面内にすべて表示されない場合は、次のページを示す "▽" が表示されます。前のページがある場合には "△" が表示されます。 "▽" の右側には現在のページ番号と総ページ番号が表示されます。
- 255グループ、999トラックまで認識できます。
- グループ（フォルダ）構成によっては、255グループ、または999トラックまで表示しない場合があります。
- グループの中にJPEGトラックが見つからない場合、そのグループは表示されません。
- カーソルボタン（◀）を押すと現在選択しているフォルダの1階層上のフォルダを一覧表示します。
- 再生中または停止中に メニュー を押すと、ファイルリスト画面が表示されます。

2

 または で再生したいグループまたはトラックを選択し、再生 または 決定 を押す

トラックを選択した場合
選択したトラックから順に再生が始まります。
グループを選択した場合
カーソルボタン（▶）または決定ボタンを押し、次にカーソルボタン（▲/▼）でそのグループ内の再生したいトラックを選択し、再生ボタンまたは決定ボタンを押すと再生が始まります。

- **トップメニューボタンを押すと1番上の階層に戻ります。**
- **9階層以降の階層は再生できません。**
- **JPEG画像が表示されている間は、アングルボタンを押すごとに時計まわりに、90度ずつ画像を回転して見ることができます。**

3

再生を停止するときは を押す

あどばいす

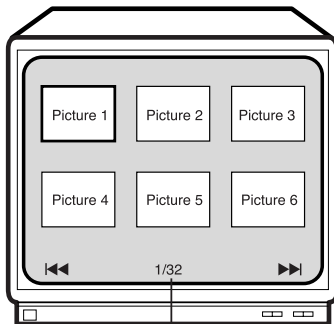
- グループ名／トラック名は25文字まで表示できます。英数、アルファベット、ひらがな、カタカナによる表示が可能で、その他の認識されない文字は＊（アスタリスク）で表示されます。また、表示可能な文字であっても記録方式によっては＊で表示される場合があります。
- 記録したときの条件によっては、リスト表示されているトラックでも再生できないことがあります。
- ファイルリスト画面を表示していない状態で再生しているときに数字ボタンでファイル番号を入力すると、そのファイルのダイレクト再生を始めることができます。
- ファイルリスト画面表示中はダイレクト再生ができません。
- プログレッシブ形式のJPEG画像は再生できません。
- JPEGファイルの容量が大きいと、画面表示に時間がかかることがあります。

■ ピクチャーCDの再生 JPEG

本機はコダック（株）が扱っているピクチャーCDを再生することができます。ピクチャーCDを再生することで、写真の画像をテレビで楽しむことができます。
· ピクチャーCDは、従来の銀塩フィルムカメラで撮った写真をデジタルデータに変換してCDに書き込むサービスです。ピクチャーCDに関する詳細はコダック（株）の現像サービスを取り扱っている店頭でお問い合わせください。

1 ピクチャーCDを挿入し、

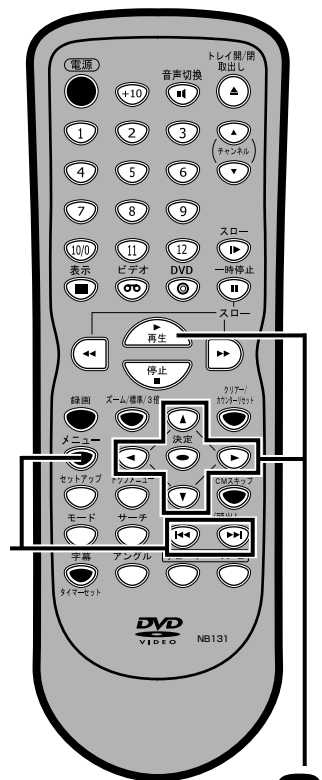
メニュー を押す

- ピクチャーCDのメニューが表示されます。
- 画面内にすべてのメニュー項目が表示されない場合は、次のページを示す "▶▶I" が表示されます。前のページがある場合には "I◀◀" が表示されます。
- I◀◀ または ▶▶I を押して、表示したいページを選択します。
- 現在のトラック番号と総トラック数は中央下部に表示されます。
- すべてのメニュー項目が表示されるまで時間がかかることがあります。

現トラック番号/総トラック数

2 トラックを選択する

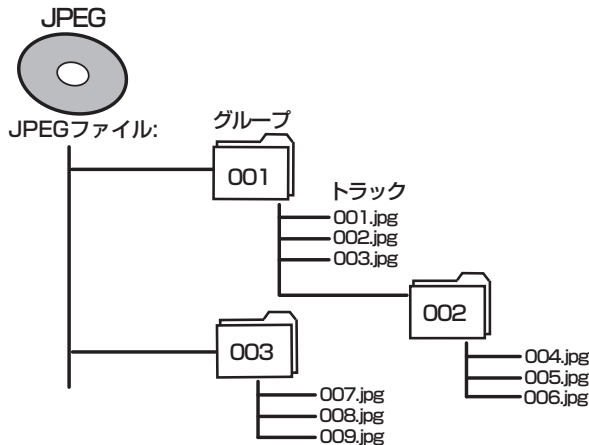
- カーソルボタン[▲ / ▼ / ◀ / ▶]を押して再生したいトラックを選択し、

 または 決定 ボタンを押します。

- 選択されたトラックから画像再生が始まります。トラックは「その他」の設定の[スライドショー]で設定された時間（5秒間または10秒間）で表示され、次のトラックに移ります。
- JPEG画像が表示されている間は、アングルボタンを押すごとに時計まわりに、90度ずつ画像を回転して見ることができます。

あどばいす

- 再生中にメニューボタンを押すと[⃠（禁止マーク）]が表示されます。ピクチャーCDのメニューを再度表示させたい場合は、一時停止ボタンを押してからメニューボタンを押してください。
- 「その他」の設定の[スライドショー]表示時間設定が、5秒または10秒であっても、JPEGファイルの容量が大きいと、表示時間が長くなる場合があります。

■ JPEGファイル形式について

- 「.jpg(JPG)」または「.jpeg(JPEG)」という拡張子がついたファイルを「JPEGファイル」と呼びます。
- ディスクに記録されたJPEGファイルはトラックとよばれ、下図のようにグループとよばれるフォルダに分類されます。

- 本機ではExif規格に適合した画像ファイルも再生可能です。
＊Exif (Exchangeable Image File format)はファイルフォーマット形式の一つで、JEIDA（Japanese Electronic Industry Development Association）によって制定されたものです。
- 拡張子が「.jpg(JPG)」と「.jpeg(JPEG)」以外のファイルはJPEGメニューのリストには表示されません。
- 拡張子「.jpg(JPG)」または「.jpeg(JPEG)」がついたファイルでも、JPEG形式で記録されていないものを再生するとノイズがでることがあります。
- また本機はコダックピクチャーCDに収められたJPEGファイルも表示可能です。
ピクチャーCDを再生すると、テレビで写真画像をお楽しみいただけます。
＊ピクチャーCDとは従来のフィルムカメラによって撮影された画像をデジタルデータ化しCDに記録したものです。
ピクチャーCDについての詳細はコダックのサービス取り扱い店にお問い合わせください。

再生可能JPEGファイル	
画像サイズ	JPEG再生時 7MB以下　最大:6,300×5,100ピクセル 最小:32×32ピクセル

- 255グループ、999トラックまで認識できます。
- グループ（フォルダ）構成によっては、255グループ、または999トラックまで表示しない場合があります。
- 9階層以降の階層は再生できません。

あどばいす

- グループ名／トラック名は25文字まで表示できます。英数、アルファベット、ひらがな、カタカナによる表示が可能で、その他の認識されない文字は＊（アスタリスク）で表示されます。また、表示可能な文字であっても記録方式によっては＊で表示される場合があります。
- 記録したときの条件によっては、リスト表示されているトラックでも再生できないことがあります。
- 「その他」の設定の[スライドショー]表示時間設定が、5秒または10秒であっても、JPEGファイルの容量が大きいと、表示時間が長くなる場合があります。

■ スライドショーモード JPEG

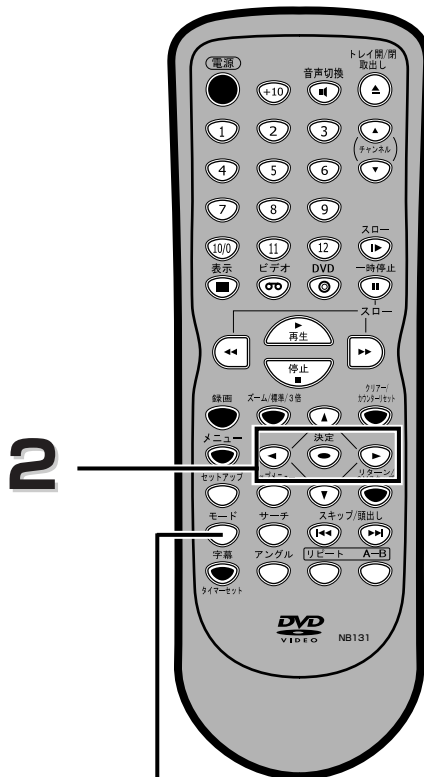
再生中にスライドショーモードを切り換えることができます。スライドを見るように、画像を順番に表示します。

1 再生中に[JPG]が表示されるまで モード を繰り返し押す

- スライドショーモード画面が表示されます。
- スライドを見るように画面を順番に表示します。
- 停止中、またはファイルリスト画面やピクチャーCDメニュー画面からスライドショーモードを切り換えることはできません。

2 決定 または ◄ / ► を押す

- 決定を押すたびに、スライドショーモードが切り換わります。
  - カット イン／アウトモード：完全な画像を順次表示していきます。
  - フェード イン／アウトモード：次の画像に移るときに、徐々に表示していきます。

3 モード を押して終了する

あどばいす

- 「その他」の設定の[スライドショー]表示時間設定が、5秒または10秒であっても、JPEGファイルの容量が大きいと、表示時間が長くなる場合があります。
- プログレッシブ形式のJPEG画像は再生できません。

■ JPEGファイルの画像サイズを調整する

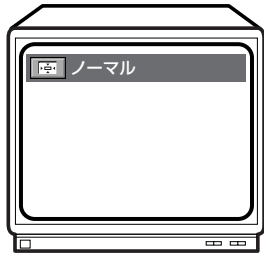
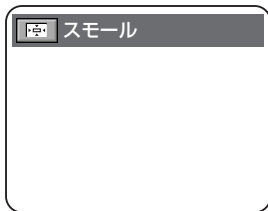
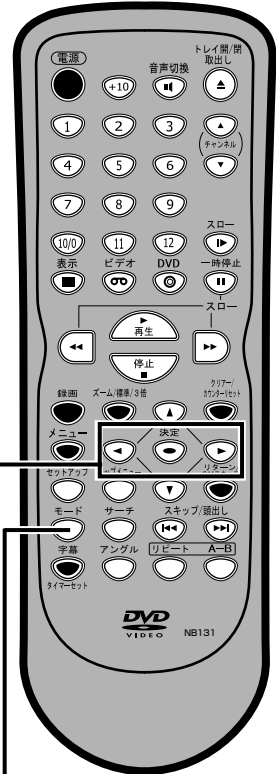
接続するテレビによっては表示されるJPEGファイルの端が切れる場合があります。このような場合には、画像を少し小さくし表示します。

1 再生中に[ ]が表示されるまで

モード を繰り返し押す

- **画像サイズ設定画面が表示されます。**
- **停止中、またはファイルリスト画面から画面サイズ設定画面を表示することはできません。**

2 決定 または ◄ / ► で設定を切り換える

－ノーマル：100%の画面サイズで表示します。

－スモール：95%の画面サイズで表示します。

3 モード を押して終了する

- [スモール]に設定しても、効果のあらわれない画像があります。
〈例〉画像サイズの小さなファイルなど

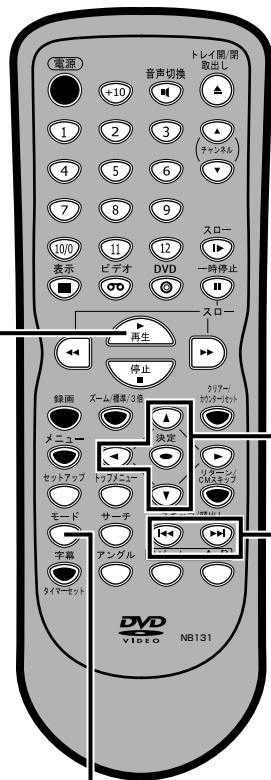
DVD編 JPEGファイルの画像サイズを調整する

■ JPEGディスクをプログラム順に再生する JPEG

1 JPEGファイルが記録されたディスクを挿入し、停止中にプログラム画面が表示されるまで（モード）を繰り返し押す

- プログラム画面が表示されます。

2 ▲/▼ でグループを選択し、（決定）を押す

- リスト画面が表示されます。

3 ▲/▼ でトラックを選択し、（決定）を押す

- プログラムが入力されます。
- プログラム入力されたトラックは右画面に表示されます。またこのとき、8トラック以上が入力され、画面内に表示しきれない場合は、次のページを示す "▷▷|"（|◁◁）が表示され、⏮ または ⏭ で入力したトラックの確認ができます。
- 画面内にすべて表示しきれない場合は次のページを示す " ▽ " が表示されます。
- カーソルボタン（◀）を押すと現在選択しているフォルダの1階層上のフォルダを一覧表示します。

4 プログラム入力を完了し、（再生）を押す

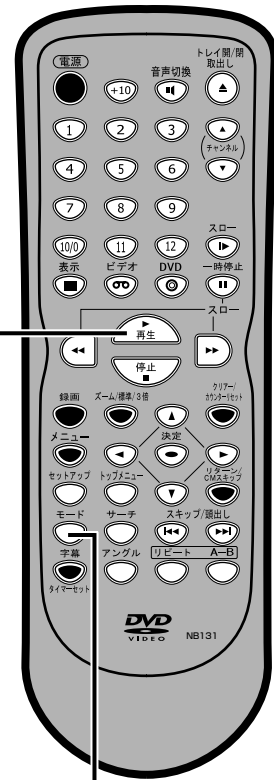
あどばいす

- クリアー/カウンターリセットボタンを押すと最後に入力したプログラムを取り消すことができます。
- すべてのプログラムを消すには、手順3でリストの1番下の[オールクリア]を選択します。
- リターン/CMスキップボタンを押すとプログラムの内容を記憶した状態で停止画面になります。
- プログラム再生を止めるには、停止ボタンを2回押します。設定していたプログラム再生を始めるには、モードボタンを押してから再生ボタンを押します。
- 電源を切る、またはディスクトレイを開けるとプログラム設定は解除されます。
- 最大プログラム数は99トラックまでです。

■ JPEGディスクをランダムに再生する JPEG

1 JPEGファイルが記録されたディスクを挿入し、停止中にランダム画面が表示されるまで モード を繰り返し押す

2 ▶再生 を押す

• ランダム再生が始まります。

あどばいす

• ランダム再生は、電源が切れたり、ディスクが入っているトレイが開くと解除されます。
• ランダム再生中に停止ボタンを押すと、ランダム再生は解除されます。

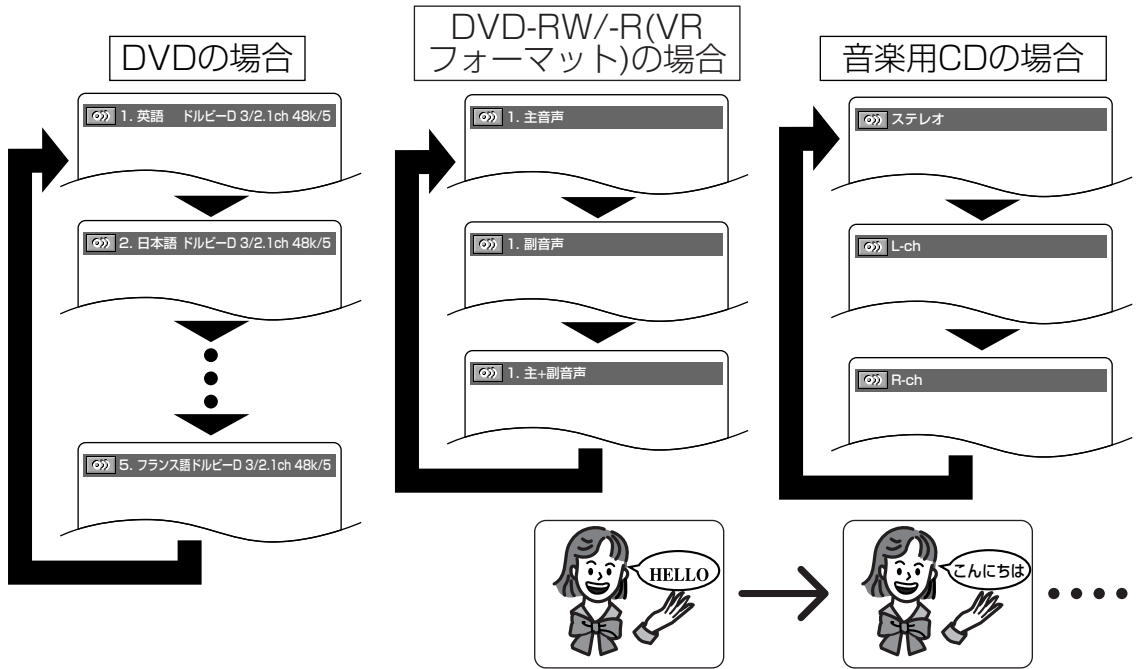
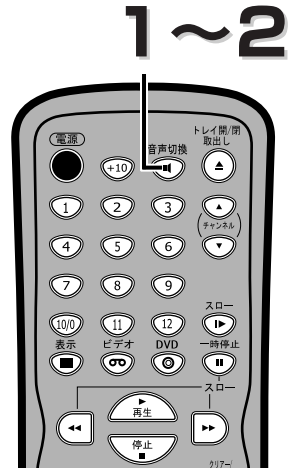
■ 音声（言語）をかえる DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット CD

本機には、希望する音声(言語)およびサウンドモードが選択できる機能が備えられています。

準備： 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 再生中に 音声切換 を押す

2 音声切換 を繰り返し押して希望する音声(言語)を選択する

- DVDディスクに複数の音声（言語）が含まれている場合に切り換えることができます。
- 音楽用CDの場合、ステレオ／左チャンネル (L-ch)／右チャンネル (R-ch)に切り換えることができます。
- DVDディスクによっては、複数の言語が入っていても音声切換ボタンが作動しないことがあります。このような場合は、メニュー画面で音声を切り換えてください。

あどばいす

- 音声切換 を繰り返し押しても希望する言語が表示されないときは､その言語がディスクに含まれていません。
- 電源投入時、「言語設定」で選択されている言語に戻ります。選択された言語がディスクに含まれていないときは、そのディスクに入っている言語が選ばれます。［ ➡ 96～98ページ］
- 音声言語表示画面は、約5秒後に消えます。
- 音声言語の表示には“日本語”や“英語”のほかに、アルファベット3文字や“－－－”と表示される場合があります。
- 早見早聞／遅見遅聞再生中は、音声（言語）の切り換えはできません
- DVD-RW/-R(VRフォーマット)で二重音声が記録されていない場合は、主音声、副音声、主+副音声の切り換えはできません。
- デジタル接続のみで音声出力しているときは、VRフォーマットのディスク再生時に音声を切り換えることはできません。

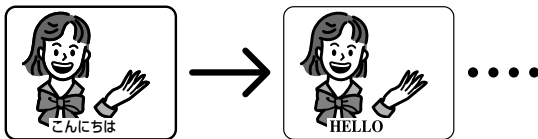
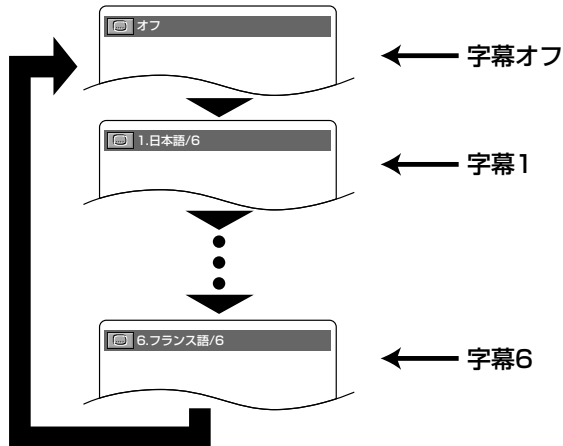
■ 字幕（言語）をかえる DVD-V

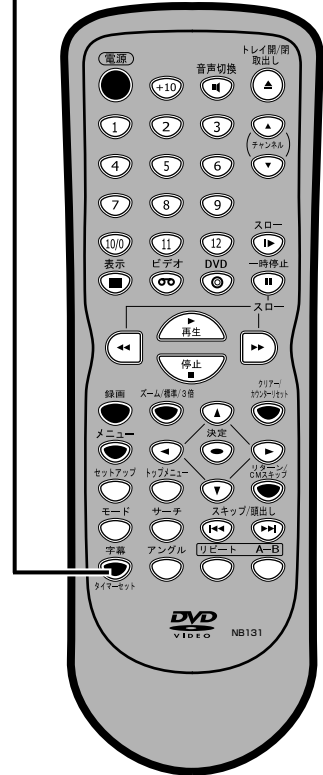
本機には、希望する字幕(言語)を選択できる機能が備えられています。

準備： 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 再生中に 字幕（タイマーセット） を押す

2 さらに 字幕（タイマーセット） を押して希望する言語の字幕を選択する

- 再生中のディスクに複数の言語が含まれている場合、字幕(言語)を切り換えることができます。
- 字幕(言語）は、使用中のディスクに1つの言語しか含まれていない場合、切り換えることができません。
- ディスクによっては、複数の言語が入っていても字幕切換ボタンが作動しないことがあります。このような場合は、メニュー画面で字幕を切り換えてください。

- 字幕（タイマーセット） を押すと字幕(言語）が、字幕１、字幕2…と言語が切り換わります。

1〜2

字幕(言語)オン/オフの切り換えかた

1 再生中に 字幕（タイマーセット） を押す。

2 カーソルボタン ◄ / ► を押してオン/オフを切り換える。

あどばいす

- 字幕（タイマーセット） を繰り返し押しても希望する言語が表示されないときは、その言語の字幕がディスクに含まれていません。
- 電源投入時、「言語設定」で選択されている言語に戻ります。選択された言語がディスクに含まれていないときは、そのディスクに入っている言語が選ばれます。［ ➡ 96〜98ページ］
- 変更した字幕(言語)が表示されるまで多少時間がかかる場合があります。
- 字幕言語表示画面は約5秒後に消えます。
- “なし”が画面上に表示されたときは、字幕はそのシーンに入っていません。
- 字幕言語には、“日本語”や“英語”のほかに、アルファベット3文字や“－－－”と表示される場合があります。

■ アングル（カメラアングル）をかえる DVD-V

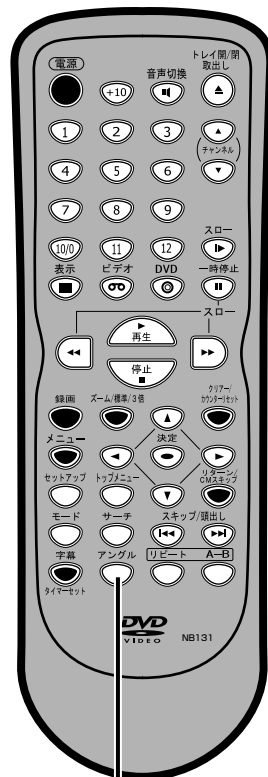
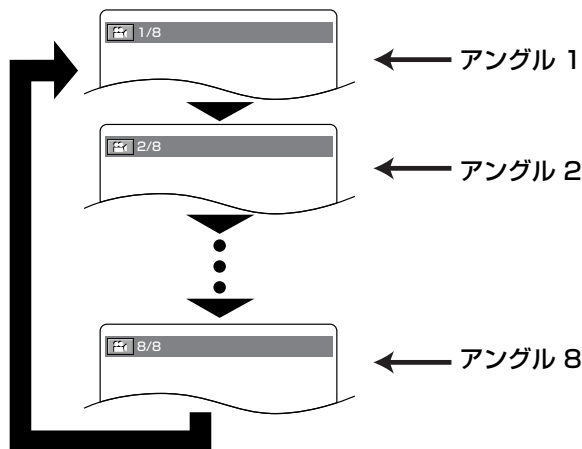
本機には希望するカメラアングルを選択できる機能が備えられています。

準備： 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 再生中に アングル を押す

- 各種カメラアングルの画像が記録されたディスクでは、画面右上にアングルアイコン（ ）が表示されます。画面上にこのアイコンが表示されているときに、カメラアングルを変更できます。
- 画面に禁止アイコン（⊘）があらわれた場合、カメラアングルを変更することができません。

2 アングル番号が画面上に表示されている間に アングル を押す

- アングル を押すたびに、アングルに応じて再生の画面が切り換わります。

あどばいす

- アングル表示画面は約5秒後に消えます。
- 「その他」の設定で[アングルアイコン]の設定を[オフ]にしている場合はアングルアイコンはあらわれません。
[➡ 105 ～ 106ページ]

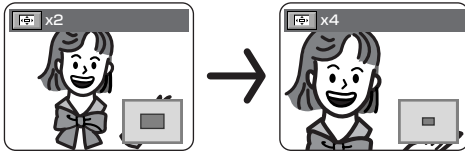
■ ズーム再生（画面上で拡大） DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット JPEG

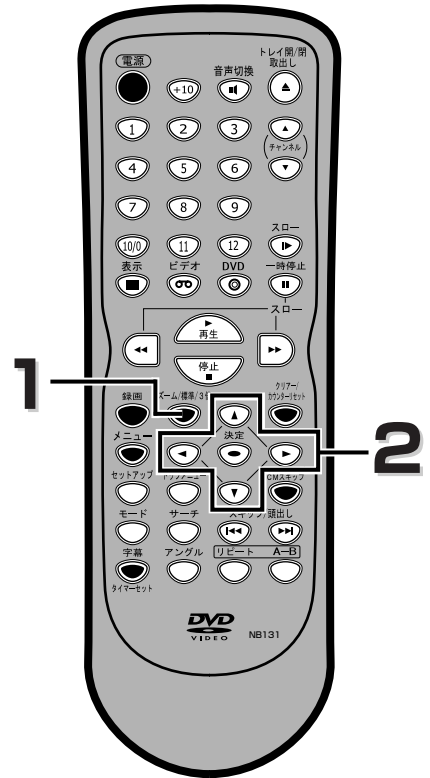
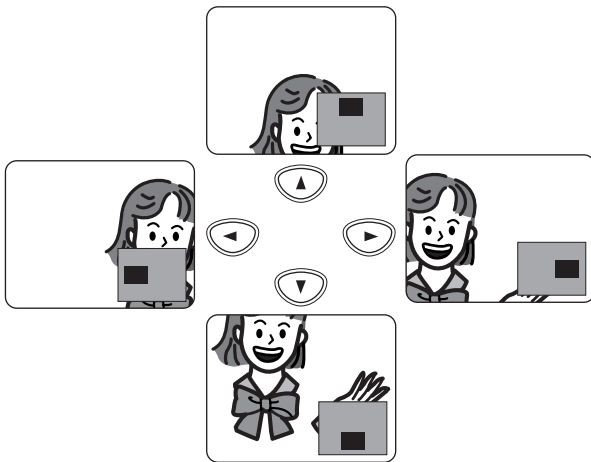
お好みにより画面上で2倍または4倍の大きさに拡大できます。

準備： 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 再生中に ズーム/標準/3倍 を押す

- 画面中央で画像が拡大されます。

- ズーム/標準/3倍 を繰り返し押すと、2段階の切り換えができます。

2 ズーム再生中に ▲ / ▼ / ◄ / ► を押すと、ズームする部分が移動する

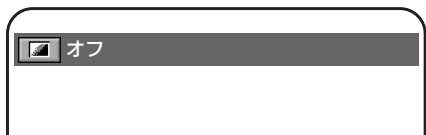
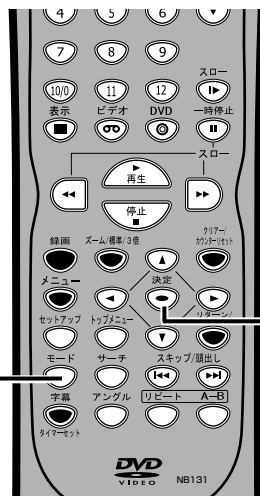
- ズームフレームを中心から上下左右に移動させることができます。2倍ズームのときは4段階、4倍ズームのときは6段階です。ディスクによっては4倍ズームができないものもあります。また、メニュー画面でのズームはできません。
- 現在拡大されている箇所は画面右下の表示内のカーソル部分です。JPEGでは表示されません。
- 画面右下の表示は 決定 を押して表示のオン/オフを切り換えます。

あどばいす

- ズーム機能は、操作表示画面が表示されている間は作動しません。
- ディスクによってはｘ4の大きさに拡大できないものもあります。
- ズームフレームを上下左右に移動するのに時間がかかる場合があります。
- JPEGは、×2の大きさへの拡大のみです。

再生中の設定

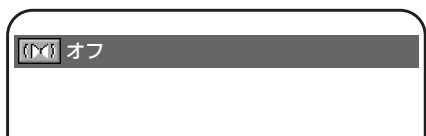
■ 黒レベル設定 DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット

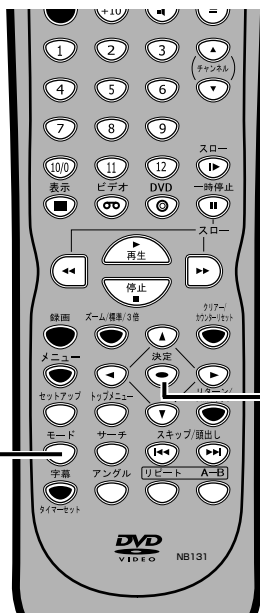
黒レベルをオンにすると、画面で暗いところを明るくします。(初期設定はオフ)

準備： 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

2 決定 でオン/オフを切り換える

■ バーチャルサラウンド設定 DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット CD

バーチャル（疑似）サラウンドを楽しむことができます。(初期設定はオフ)

準備： 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 再生中にバーチャルサラウンド設定画面が表示されるまで繰り返し モード を押す
(CDの場合は1回押す)

2 決定 で［ 1: 標準 / 2: 強 / オフ ］を切り換える

- ディスクによってはサラウンド効果がでにくいものや、でないものがあります。
- 音声がひずむ場合は、バーチャルサラウンド設定を［オフ］にしてください。
- 音楽用CDでサウンドモードを[ステレオ]以外に設定している場合は、バーチャルサラウンドを切り換えることができません。

あどばいす

- 黒レベル設定は、早見早聞／遅見遅聞再生中は設定の変更はできません。
- バーチャルサラウンド設定は、早見早聞／遅見遅聞再生中は設定の変更はできません。
- 黒レベル、バーチャルサラウンドの各設定値は、電源をオフにしても記憶します。
- 96kHzの音源に対して、バーチャルサラウンド設定を有効にすると、48kHzにダウンサンプリングされます。

■ マーカー設定 DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット CD

マーカー機能を使って、マーカー設定した箇所より再生することができます。マーカーは10個まで設定することができます。

準備： 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

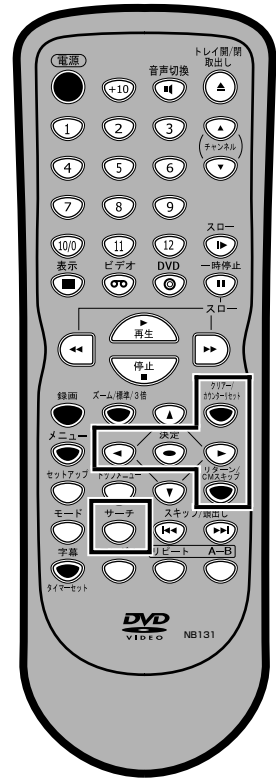
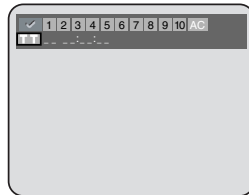
● マーカーを設定する

1 再生中に サーチ をマーカー設定画面が表示されるまで繰り返し押す

2 ◄ / ► で設定されていない1～10までの数字を選ぶ

3 決定 を押す

• マーカーをつけた箇所の時間が表示されます。

4 サーチ または リターン/CMスキップ を押す

• 再生画面に戻ります。

● マーカー設定した箇所から再生する

1 サーチ をマーカー設定画面が表示されるまで繰り返し押す

2 ◄ / ► でマーカーをつけた数字を選び 決定 を押す

• 設定されていなければ、“＿：＿＿：＿＿”と表示されます。
• 選択された箇所から再生が始まります。

あどばいす

• 設定したマーカーは電源をオフにするか、トレイを開けると削除されます。

● マーカー設定を削除する

1 サーチ をマーカー設定画面が表示されるまで繰り返し押す

2 ◄ / ► でマーカーをつけた数字を選び クリアー/カウンターリセット を押す

• すべてのマーカー設定を削除するには、◄ / ► で“AC”を選び、決定 を押します。

3 サーチ または リターン/CMスキップ を押す

• 再生または停止画面に戻ります。

DVD編 マーカー設定

再生中の設定

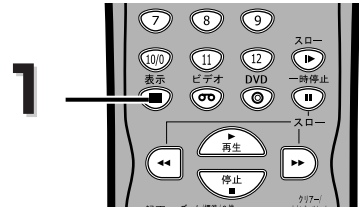
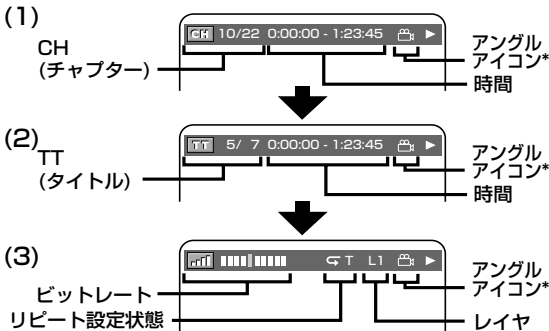
■ 画面表示の切り換え DVD-V DVD-RW/-R VRフォーマット CD JPEG

リモコンの表示ボタンを押してディスクについての情報を確認することができます。

再生情報の表示

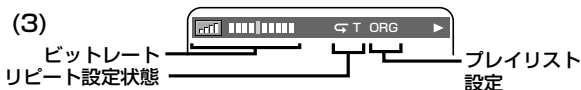
準備： 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 再生中に 表示 を押す

- 画面上に情報が表示されます。
- 表示 を繰り返し押すと、次の情報が表示されます。

DVDの場合

	項目	表示内容
(1)	CH	現チャプター番号/総チャプター数
	時間	チャプター経過時間/チャプター残り時間
(2)	TT	現タイトル番号/総タイトル数
	時間	タイトル経過時間/タイトル残り時間
(3)	ビットレート	画像の情報量 ディスクに記録されている画像の情報量を示す値です。表示は目安です。
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます (リピート設定されていないときは、表示されません)。 C：チャプター　T：タイトル　A⇆B：A-Bリピート
	レイヤ	L0/L1 2層ディスクを再生しているとき、現在再生しているレイヤ（層）を表示します。

リターン／CMスキップボタンまたは表示ボタンを押すと再生画面に戻ります。
*カメラアングルが切り換え可能な場合のみ、表示されます。

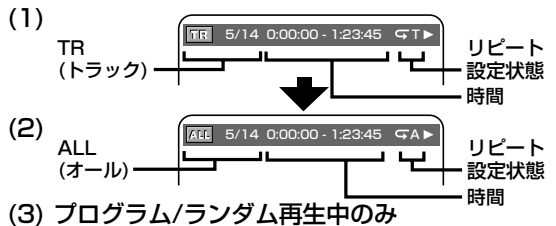
DVD-RW/-R(VRフォーマット)の場合

(1)と(2)はDVDの場合と同じです

	項目	表示内容
(3)	ビットレート	画像の情報量 ディスクに記録されている画像の情報量を示す値です。表示は目安です。
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます (リピート設定されていないときは、表示されません)。 C：チャプター　T：タイトル　A：オール A⇆B：A-Bリピート
	プレイリスト	ORG：[オリジナル]を再生しています。 PL：[プレイリスト]を再生しています。

リターン／CMスキップボタン、または表示ボタンを押すと再生画面に戻ります。

音楽用CDの場合

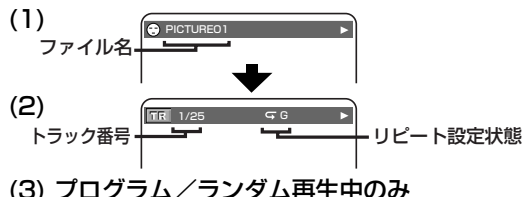
(3) プログラム/ランダム再生中のみ

TR プログラム　または　TR ランダム

	項目	表示内容
(1)	TR	現トラック番号/総トラック数
	時間	トラック経過時間/トラック残り時間
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます (リピート設定されていないときは、表示されません)。 C：チャプター　A：オール　A⇆B：A-Bリピート
(2)	オール	現トラック番号/総トラック数
	時間	ディスク経過時間/ディスク残り時間
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます (リピート設定されていないときは、表示されません)。 C：チャプター　A：オール　A⇆B：A-Bリピート

リターン／CMスキップボタンまたは表示ボタンを押すと再生画面に戻ります。

JPEGの場合

(3) プログラム／ランダム再生中のみ

TR プログラム　または　TR ランダム

	項目	表示内容
(1)	ファイル名	現在再生しているトラック（ファイル）の名称
(2)	T	現トラック番号/総トラック数
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは表示されません)。 T：トラック（ファイル） G：グループ（フォルダ）　A：オール

リターン／CMスキップボタン、または表示ボタンを押すと再生画面に戻ります。

DVD・CDの設定をかえる（セットアップ）

■ 初期設定一覧（出荷時の設定）

便利にお使いいただくために設定しておける内容と、工場出荷時の設定を一覧表にしています。

- ワイドテレビとの接続や、オーディオアンプとのデジタル接続時に設定を変える必要があります。詳しくは各ページをご参照ください。
- パレンタル設定以外の設定を初期化する方法は、107ページをご覧ください。

メニュー項目	設定項目(□は工場出荷設定)		設定内容
1. 言語設定 ➡96～98ページ	音声言語	オリジナル 日本語 英語 ：	スピーカーから聞こえる音声言語の種類を設定
	字幕言語	オフ 日本語 英語 ：	テレビに表示される字幕言語の種類を設定
	ディスクメニュー言語	日本語 英語 ：	ディスクメニューなど画面表示される言語の種類を設定
	画面表示言語 Quick	日本語 ENGLISH	設定画面の言語やテレビ画面に表示される“再生”などの言語の設定
2. 映像設定 ➡99～100ページ	TV画面モード Quick	4:3レターボックス 4:3パンスキャン 16:9ワイド	接続するテレビのタイプに合わせて設定
	スチルモード	オート フィールド フレーム	一時停止中の画質を設定
	プログレッシブ Quick	オフ オン	プログレッシブのオン／オフを設定
3. 音声設定 (デジタル出力) ➡101～102ページ	DRC	オン オフ	音量範囲をコントロールする／しないを設定
	ダウンサンプリング	オン オフ	デジタル端子の接続時、96kHzのPCMで録音された音声信号を48kHzに変換する／しないを設定
	ドルビーデジタル Quick	ビットストリーム PCM	デジタル音声出力端子からでる音声信号の種類を設定
4. パレンタル設定 (視聴制限) ➡103～104ページ	パレンタルレベル	オール 8～1	DVDソフトの視聴制限のレベルを設定
	パスワード変更	4桁のパスワードを入力	パスワードの設定・変更
5. その他 ➡105～106ページ	アングルアイコン	オン オフ	アングルアイコン（🎥）の画面表示有無の設定
	オートパワーオフ	オン オフ	静止または停止状態で30分間入力がない場合、電源「切」にする／しないを設定
	スライドショー	5秒 10秒	JPEGの表示時間を設定

あどばいす

- 設定を変更すると、その内容は電源を切った状態でも保持されます。
- 停止状態でないと、セットアップ機能は利用できません。
- メニュー画面つきDVDディスク再生したときは、ディスクメニューでの設定が優先されることがあります。
- Quick マークのある項目は、セットアップ画面のクイックセットアップモード内で設定することができます。その他の項目は、96～107ページで設定を変更してください。

DVD・CDの設定をかえる（セットアップ）

■ 言語設定

再生中の場合、停止■を押します。

準備： 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 セットアップ を押す

- セットアップ画面が表示されます。

2 ◄ / ► を押して " " を選択し、

決定 を押す

- カスタムモードが表示されます。

3 ◄ / ► を押して " " を

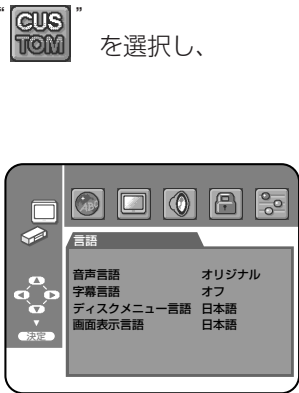
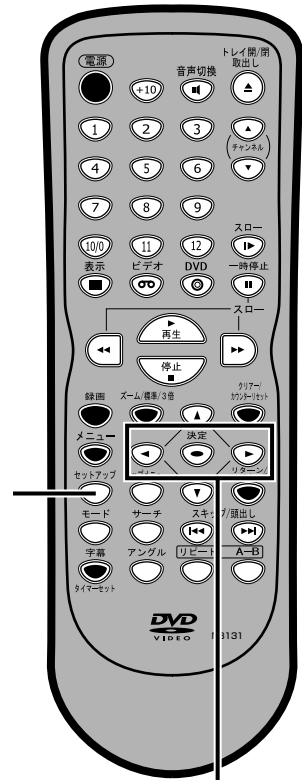
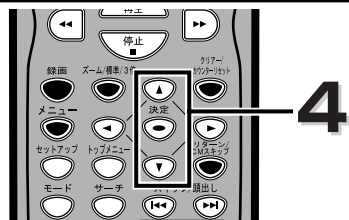
選択し、 決定 を押す

- 言語設定画面が表示されます。

4

▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、

決定 を押す

停止 録画 ズーム/標準/3倍 クリアー/カウンターリセット メニュー 決定 セットアップ トップメニュー リターン/CMスキップ モード サーチ 頭出し 4

● **音声言語**（初期設定：オリジナル）
再生ディスクの言語(音声)を選択します。
＊オリジナル：ディスクのオリジナル言語(音声)となります。

言語
音声言語
オリジナル
日本語
英語
フランス語
スペイン語
ドイツ語
イタリア語
決定

▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、
決定 を押す

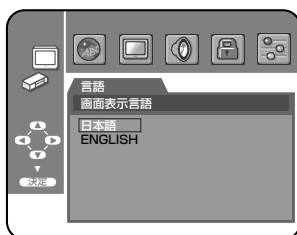
● **字幕言語**（初期設定：オフ）
再生ディスクの言語(字幕)を選択します。
＊オフ：字幕なしとなります。

● **ディスクメニュー言語**（初期設定：日本語）
ディスクメニューの表示言語を選択します。

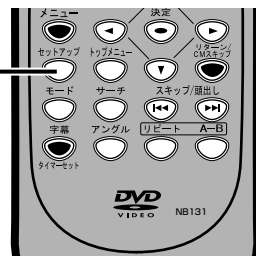
▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、
決定 を押す

音声・字幕・ディスクメニュー言語に入っていない言語を選ぶ場合

“その他”を選択し、言語コード設定画面を表示させ 決定 を押します。98ページのリストを参照しながら数字ボタンを押して希望する言語コードを入力します。

● **画面表示言語**（初期設定：日本語） Quick
本機の設定画面や画面表示の言語を選択します。

→次ページへつづく

5 セットアップ を押す

• 設定を完了し、セットアップ画面が消えます。

あどばいす

• 一部のディスクでは音声と字幕の言語設定が利用できませんので、音声切換ボタンと字幕ボタンを使います。
[➡ 88～89ページ]

■ 言語コード一覧表

言語名	言語コード
アファル語	4747
アブバジア語	4748
アフリカーンス語	4752
アムハラ語	4759
アラビア語	4764
アッサム語	4765
アイマラ語	4771
アゼルバイジャン語	4772
バジキール語	4847
ベラルーシ語	4851
ブルガリア語	4853
ビハーリー語	4854
ビスラマ語	4855
ベンガル語、バングラ語	4860
チベット語	4861
ブルトン語	4864
カタロニア語	4947
コルシカ語	4961
チェコ語(CZE)	4965
ウェールズ語	4971
デンマーク語(DAN)	5047
ドイツ語※	5051
ブータン語	5072
ギリシャ語(GRE)	5158
英語※	5160
エスペラント語	5161
スペイン語※	5165
エストニア語	5166
バスク語	5167
ペルシャ語	5247
フィンランド語(FIN)	5255
フィジー語	5256
フェロー語	5261
フランス語※	5264
フリジア語	5271
アイルランド語(IRI)	5347
スコットランドゲール語	5350
ガルシア語	5358
グアラニ語	5360
グジャラート語	5367
ハウサ語	5447
ヒンディ語	5455
クロアチア語	5464
ハンガリー語(HUN)	5467
アルメニア語	5471

言語名	言語コード
国際語	5547
国際語	5551
イヌピック語	5557
インドネシア語	5560
アイスランド語(ICE)	5565
イタリア語※	5566
ヘブライ語	5569
日本語※	5647
イディッシュ語	5655
ジャワ語	5669
グルジア語	5747
カザフ語	5757
グリーンランド語	5758
カンボジア語	5759
カンナダ語	5760
韓国語※	5761
カシミール語	5765
クルド語	5767
キルギス語	5771
ラテン語	5847
リンガラ語	5860
ラオス語	5861
リトアニア語	5866
ラトビア語、レット語	5868
マダガスカル語	5953
マオリ語	5955
マケドニア語	5957
マラヤーラム語	5958
モンゴル語	5960
モルダビア語	5961
マラータ語	5964
マレー語	5965
マルタ語	5966
ミャンマー語	5971
ナウル語	6047
ネパール語	6051
オランダ語※	6058
ノルウェー語(NOR)	6061
プロバンス語	6149
アファン語(オロモ語)	6159
オリヤー語	6164
パンジャブ語	6247
ポーランド語(POL)	6258
パシュトー語	6265
ポルトガル語(POR)	6266

言語名	言語コード
ケチュア語	6367
ラエティ=ロマン語	6459
キルンディ語	6460
ルーマニア語(RUM)	6461
ロシア語※	6467
キニャルワンダ語	6469
サンスクリット語	6547
シンド語	6550
サンゴ語	6553
セルビアクロアチア語	6554
シンハラ語	6555
スロバキア語	6557
スロベニア語	6558
サモア語	6559
ショナ語	6560
ソマリ語	6561
アルバニア語	6563
セルビア語	6564
シスワティ語	6565
セストゥ語	6566
スンダ語	6567
スウェーデン語(SWE)	6568
スワヒリ語	6569
タミール語	6647
テルグ語	6651
タジク語	6653
タイ語	6654
ティグリニャ語	6655
トゥルクメン語	6657
タガログ語	6658
セツワナ語	6660
トンガ語	6661
トルコ語(TUR)	6664
ツォンガ語	6665
タタール語	6666
トウィ語	6669
ウクライナ語	6757
ウルドゥ語	6764
ウズベク語	6772
ベトナム語	6855
ボラピュク語	6861
ウォロフ語	6961
コーサ語	7054
ヨルバ語	7161
中国語※	7254
ズール語	7267

音声切換ボタンを押したとき、※は画面上にそのまま表示されます。また、(　)で示されている言語は(　)通り、それ以外の言語は“ーーー”で表示されます。

■ 映像設定　再生中の場合、を押します。

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

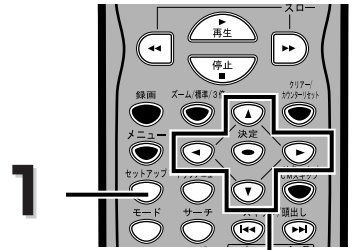
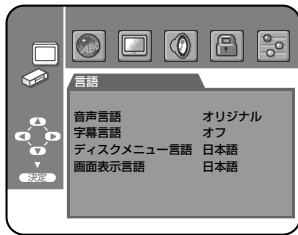
1 セットアップ を押す

• セットアップ画面が表示されます。

2 を押して

“” を選択し、決定 を押す

• カスタムモードが表示されます。

3

“” を選択し、決定 を押す

• 映像設定画面が表示されます。

4 ▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、決定 を押す

● **TV画面モード**（初期設定：4:3 レターボックス） Quick
＊4：3 レターボックス：上下に黒い帯つきの画面になります。
＊4：3 パンスキャン　：左右をカットした画面になります。
＊16：9ワイド　　　　：ワイド画面テレビに接続されている場合、自動的に横長の画面になります。

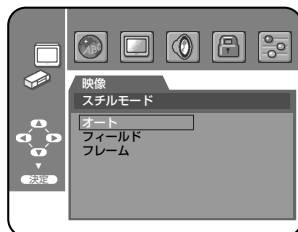
 を押して
選択したい項目を選び、
決定 を押す

あどばいす

• DVDによっては、TV画面モードで設定したモードとは違う画面になることがあります。
• TV画面モードの設定が〔4:3パンスキャン〕であっても、パンスキャン指定のないDVDソフトはレターボックスで表示されます。

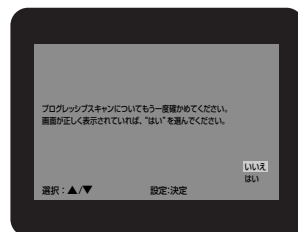
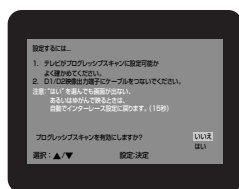
→次ページへつづく

DVD・CDの設定をかえる（セットアップ）

● **スチルモード**（初期設定：オート）
一時停止時の画質を設定します。
＊オ ー ト ：表示する静止画の情報を元に、「フレーム」/「フィールド」のどちらかで表示されます。
＊フィールド：オートに設定しても画像のブレが発生するとき設定します。“フィールド”を選択すると、情報量が少ないため、画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。
＊フレーム：動きのない画像を特に高解像度で一時停止させたいとき選びます。“フレーム”を選択すると、画質はよくなりますが、2枚のフィールドを同時に出力させるため、画像にブレを生じることがあります。

選択したい項目を選び、
決定
を押す

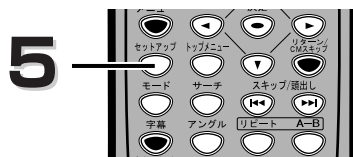
● **プログレッシブ**（出荷設定：オフ） Quick
[プログレッシブ]を[オン]または[オフ]に設定します。
プログレッシブの説明は23ページをご覧ください。

• **[プログレッシブ] を [オン] に設定したときは、映像設定画面表示中に　を押すと下記画面に移ります。**

を押して[はい]を選び、

[はい]を選び、 決定 を押す

• **プログレッシブの場合、この時点で設定が完了し、通常の画面が表示されます。**

5 セットアップ を押す

• **設定を完了し、セットアップ画面が消えます。**

あどばいす

• テレビの1枚の画面のことをフレームと呼び、1枚のフレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面から作られています。
• [スチルモード] で [オート] を選択しているときに、静止画によっては、画像にブレを生じることがあります。

DVD編 映像設定

■ 音声設定

再生中の場合、を押します。

準備： 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1

セットアップ を押す

• セットアップ画面が表示されます。

2

 を押して "" を選択し、

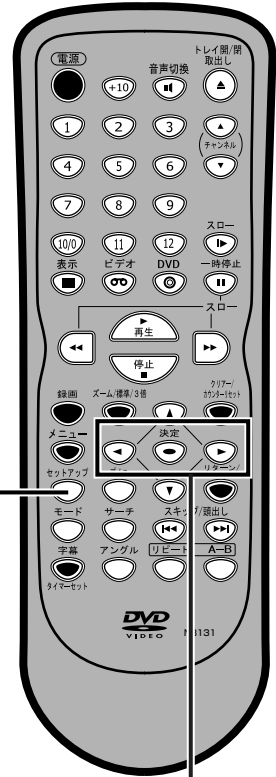
決定 を押す

• カスタムモードが表示されます。

3

  を選択し、

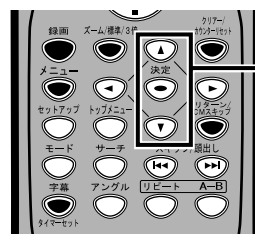
 を押す

• 音声設定画面が表示されます。

DVD編 音声設定

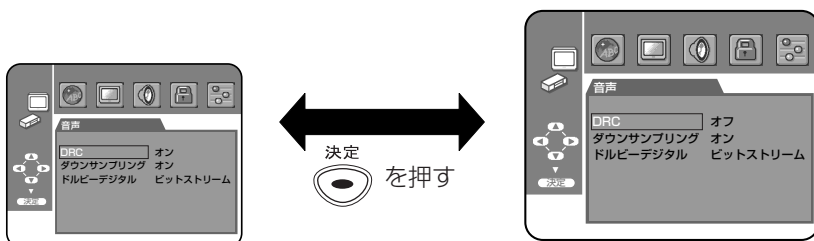
→次ページへつづく

DVD・CDの設定をかえる（セットアップ）

4

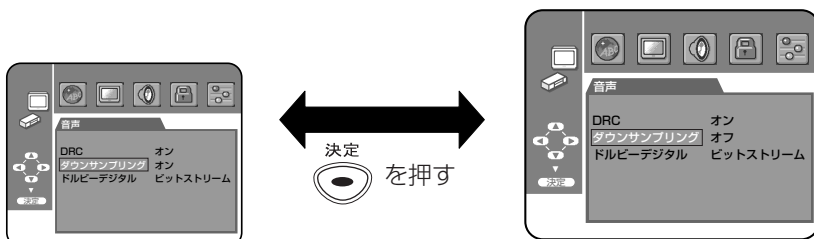
（▲）/（▼）を押して選択したい項目を選び、 を押す

● DRC（初期設定：オン）

＊オン：再生時に音声の強弱の幅(ダイナミックレンジ)を調整します。

• この機能は音量範囲をコントロールするものです。音量範囲を圧縮することにより夜間の出力を抑制するだけでなく低音部の音量を上げることもできます。
• ただし、この機能はドルビーデジタルで録音した音声の場合のみ有効です。

● **ダウンサンプリング**（初期設定：オン）

デジタル端子の接続時、96kHzのPCMで録音された音声信号を48kHzに変換する／しないを設定します。また、96kHzの高音質で楽しむためには96kHzに対応したアンプに接続する必要があります。

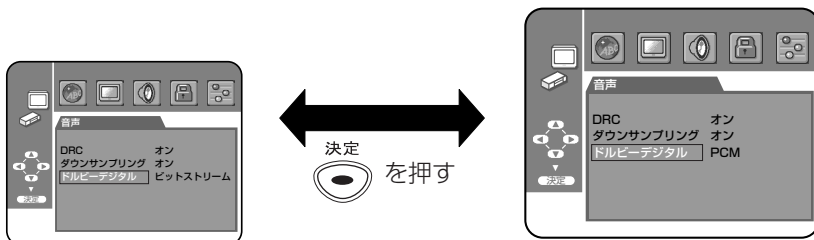
＊オフ：“オフ”に設定した場合、96kHzで出力されますが、ディスクのコピーガード機能が働いているとき、96kHzで録音された音はデジタル出力で48kHzに変換して出力されます。

＊オン：96kHzに対応していないアンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。

● **ドルビーデジタル**（初期設定：ビットストリーム） Quick

＊ビットストリーム：ドルビーデジタルデコーダーを搭載したアンプと接続したときに選びます。

＊PCM：ドルビーデジタルに対応しないアンプと接続したときに選びます。

5

 を押す

• **設定を完了し、セットアップ画面が消えます。**

■ パレンタル設定（視聴制限）

再生中の場合、 を押します。

準備： 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させせます。

1

 を押す

- セットアップ画面が表示されます。

2

 を押して “” を選択し、

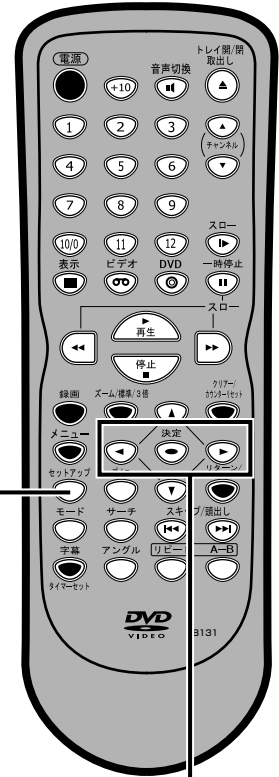
 を押す

- カスタムモードが表示されます。

3

 を押して “” を選択し、

 を押す

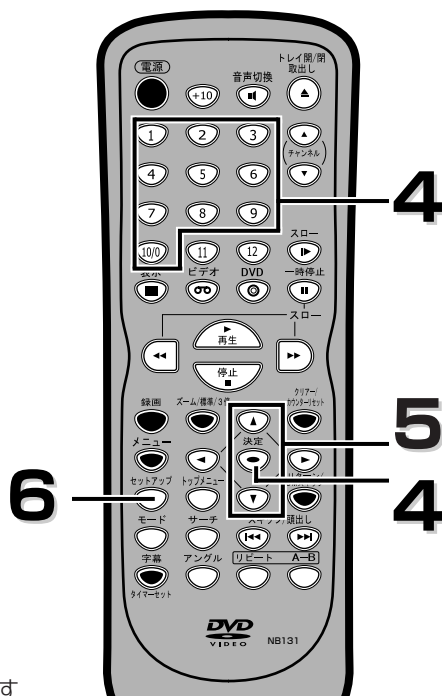
- パレンタル設定画面が表示されます。

パレンタル（視聴制限）について

子供が誤ってDVDプレーヤーを操作できないようにするための機能です。
ディスクによって、子供に見せたくないシーンをカットしたり、再生できなくするなど、視聴規制レベルが設定されているものがあります。本機では子供が設定を変えることのないように、パスワードで設定を保護することができます。
本機はディスクにパレンタルコードが記録してあればパレンタルロックをかけることができます。パレンタルロック対応のディスクを再生したとき、暴力シーンなど、子供には見せたくない部分を飛ばして見ることができます。選んだ規制レベルより上のレベルのディスクは、パレンタルロックを解除しないかぎり、再生できません。

→次ページへつづく

DVD・CDの設定をかえる（セットアップ）

4 数字ボタンを押して4桁のパスワードを入力する

- **最初に設定をするときは、任意の4桁の数字を入力し、決定ボタンを押します。**
  この数字は次回からパスワードとして使用されます。
  忘れないようにご注意ください。
- **パスワードを入力して、パレンタルレベルとパスワード設定を変更することができます。**
- **「4737」をパスワードにすることはできません。**

5 ▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、 決定 を押す

● パレンタルレベルを選択した場合

▲ / ▼ を押してオールまたは8から1までの項目を選び、 決定 を押します。

（オール）

パレンタルロックをオフ状態にします。

（レベル8）

どのレベルのDVDソフトウエア
（成人、一般、子供）でも再生できます。

（レベル7から2）

一般用と子供向けのDVDソフトウエアのみ再生できます。

（レベル1）

子供用のDVDソフトウエアのみ再生できます。
成人向け、一般用のソフトウエアは利用できません。

● パスワード変更を選択した場合

数字ボタンで4桁のパスワードを入力し、 決定 を押します。

を押す

- **設定を完了し、セットアップ画面が消えます。**

パスワードを忘れたとき

手順4で数字ボタンを[4]、[7]、[3]、[7]の順に押すと、すでに入力されていたパスワードが解除されます。

あどばいす

- **設定した方法で、パレンタルロック機能が作動するか確認してください。**
- **パスワードを忘れないように、どこかに書きとめておいてください。**

■ その他の設定

再生中の場合、停止 ■ を押します。

準備： 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1 セットアップ を押す

• セットアップ画面が表示されます。

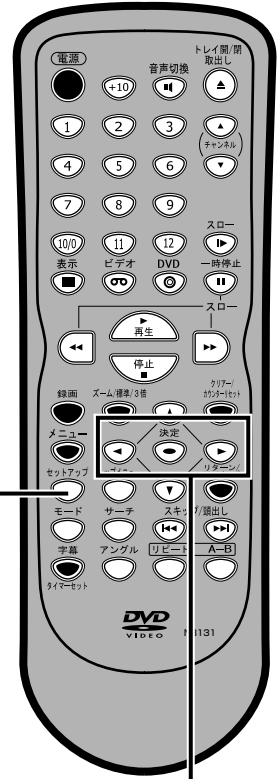
2 ◀ / ▶ を押して “” を選択し、

決定 を押す

• カスタムモードが表示されます。

3 ◀ / ▶ を押して “” を選択し、

決定 を押す

• その他の設定画面が表示されます。

DVD編 その他の設定

→次ページへつづく

DVD・CDの設定をかえる（セットアップ）

4

 を押して選択したい項目を選び、 決定 を押す

● **アングルアイコン**（初期設定：オン）
画面上にアングルアイコンを表示／非表示します。

決定 を押す

● **オートパワーオフ**（初期設定：オン）
静止または停止状態が30分間続くと、電源が自動的に切れるように設定できます。

決定 を押す

● **スライドショー**（初期設定：5秒）
＊5秒 ：約5秒ごとに画像が切り換わります。
＊10秒：約10秒ごとに画像が切り換わります。

決定 を押す

▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、決定 を押す

5

セットアップ を押す

• **設定を完了し、セットアップ画面が消えます。**

DVD編 その他の設定

■ パレンタル設定以外の設定を初期化する

再生中の場合、停止■を押します。

準備： 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのDVDボタンを押して、本体のDVDランプを点灯させます。

1

を押す

• セットアップ画面が表示されます。

2

 を押して“”を選択し、

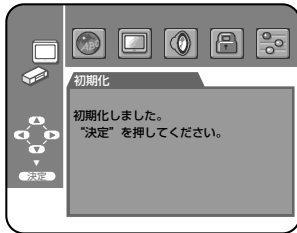
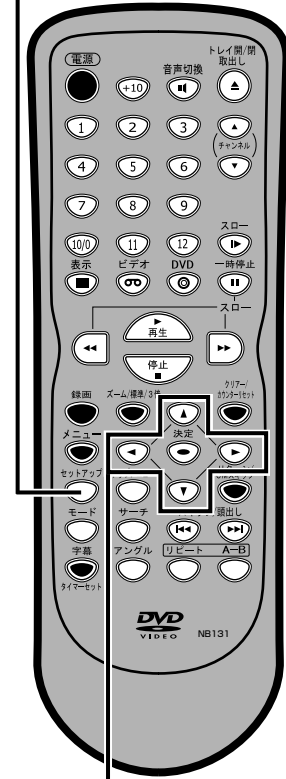
決定 を押す

• 初期化画面が表示されます。

3

• 初期化が実行されます。

4

を押す

• 設定を完了し、セットアップ画面が消えます。

故障かな？と思ったら

■ ここをお調べください

この取扱説明書にそって操作しても正常に働かないときは、下記を参照しながら点検してください。
点検されても直らないときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

	症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
共通	電源が入らない	※電源プラグがはずれている。 ※停電で電源が切れている。 ※内部の保護回路が働いている可能性があります。	●電源プラグをコンセントにしっかり差し込む。 ●安全保護装置が働いていることがあります。このときは、1度電源プラグをコンセントから抜きしばらく(1時間程度)時間をおいて、再びコンセントに差し込んで、電源を入れてください。それでも、電源が入らない場合は、**お買い求めの販売店や船井サービスセンターにご相談ください。**	ーー ーー
	画像と音声がでない	※テレビ側にビデオ入力（映像/音声）端子がない。	●テレビ側にビデオ入力端子がない場合は、本機と接続できません。	21
	リモコンで操作できない	※リモコン操作切換ボタンを押していない。 ※リモコンが本体の受光部に向いていない。 ※リモコンと本体が離れすぎている。 ※リモコンと本体の受光部の間に障害物がある。 ※リモコンの電池が消耗している。 ※リモコンに水など水分を含む物をこぼした。 ※製品本体のリモコン受光部不良の可能性がある。	●ビデオを操作する場合はビデオボタン、DVDを操作する場合はDVDボタンを押す。 ●リモコンを本体の受光部に向ける。 ●7m以内の所で操作する。 ●障害物を取り除く。 ●電池を交換する。 ●リモコンの交換が必要です。**お買い求めの販売店や船井サービスセンターにご相談ください。** ●ラジオを利用し、次のようなチェックを行なってみてください。 AM放送で放送局のない周波数(雑音のでる状態)に合わせ(音量は大きめ)、ラジオのそばで任意のボタンを押します。雑音の中にブ、ブ、ブのような音が聞こえてきましたらリモコンは正常と考えられます。**お買い求めの販売店や船井サービスセンターにご相談ください。**	26 16 16 ーー 16 ーー ーー
	時計表示がでない (表示例)　ーー:ーー	※停電があった。 ※電源プラグがはずれている。	●電源を入れ、**時計を合わせ直す。** ●電源プラグを**コンセント**に差し込み、時計合わせをやり直す。	29-30 ーー
ビデオ部	ビデオの操作ができない	※DVDランプが点灯している。 ※録画予約されている。	●本体のビデオ/DVDボタン、またはリモコンのビデオボタンを押し、ビデオランプを点灯させてください。 ●リモコンのタイマーセットボタンを押し、予約スタンバイを解除する。	26 47
	テレビの番組が映らない	※本機に接続されていたアンテナ線がはずれている。 ※アンテナ線が断線、ショートしている。 ※本機の受信チャンネルが設定されていない。 ※テレビの入力切換がビデオになっていない。 ※テレビ放送の電波が弱い。	●**アンテナ線**を正しくつなぐ。 ●**アンテナ線を点検する。** ●**受信チャンネル**を設定する。 ●テレビの切り換えを**「ビデオ」**に設定する。 ●電波が弱い地域では、ビデオを接続すると映りが悪くなることがあります。このようなときは**お買い求めの販売店や船井サービスセンターにご相談ください。**	19-20 ーー 31-32 29 19-20
	録画予約ができない	※時計合わせが正確に行われていない。 ※録画予約が正しくセットされていない。 ※ビデオテープが入っていない。 ※ビデオテープのツメが折れている。 ※停電があった。	●**時計合わせ**を正確に行う。 ●**録画予約**を正しくセットする。 ●**ビデオテープ**を入れる。 ●ツメの場所に**セロハンテープ**を貼る。 ●電源を入れ、**時計合わせを正確に**行い、録画予約をやり直す。	29-30 45-47 42 8 29-30、45-47
	録画ができない	※ビデオテープのツメが折れている。	●ツメの場所に**セロハンテープ**を貼る。	8
	再生の画像がきれいに映らない	※テレビの画面調整が正しくない。	●テレビの**画面調整**をする。	ーー
	音声はでるが再生画がでない、またはブルー一色になる	※ビデオヘッドが汚れている。	●ヘッドクリーニングが必要です。 **クリーニングテープ(市販品)でヘッドクリーニングを行なってください。**	8
	ビデオの時に映像がでない	※入力が1系統のテレビにS映像またはD端子を接続している。	●入力が1系統のテレビをお持ちの場合は基本接続で、ご覧ください。	21
	再生画像、音声ともにでない	※テレビの入力切換などがテレビになっている。 ※映像･音声コードがはずれている。	●テレビの入力切換などを**ビデオ**にする。 ●映像･音声コードを端子の根元まで**キッチリと差し込む。**	29 21
	ビデオに切り換えても画像がでない。｢ブー｣音のみがでる	※映像･音声コードの映像/音声が逆になっている。	●映像･音声コードの映像/音声を**正しく接続**してください。	21-25
	予約録画再生画像の一部にノイズがでる	※トラッキングの調整が合っていない。 ※別のビデオで録画したカセットテープを再生している。 ※傷んだテープを使用している。	●見やすい画像になるように、**トラッキングをチャンネル（▲▼）ボタン**で調整する。 ●傷んだテープのご使用は**おひかえください。**	10 ーー
	市販ビデオソフトをダビングしたら、画像が乱れる	※ビデオソフトはコピーガードの機能でガードされています。したがって規格上ダビングできなくなっています。	●故障ではありません。	ーー
	テープが完全に巻戻されない	※巻戻しは２段階で行います。高速巻戻しから低速巻戻しに変わる際一度停止しますので、その時点で取出されますと完全に巻き取られていない場合があります。	●故障ではありません。	ーー
	ビデオテープを入れた直後、ビデオテープがでてきた	※ビデオ本体を保護するための安全機構が働いた。 ※ビデオ内部に異物が入った。	●1度カセットテープを取り出してから、再度カセットテープをまっすぐに**入れ直してください。** ●異物の取り出しが必要です。**異物を確認し、お買い求めの販売店や船井サービスセンターにご相談ください。**	37 115
	ビデオテープがでてこない	※テープがビデオヘッド等に張りついている可能性があります。	●無理に取り出すと、テープや本機をいためるおそれがあります。2時間ほど放置し、そのあと電源を入れて停止/取出しボタンを押してください。それでもでてこない場合は、**お買い求めの販売店や船井サービスセンターにご相談ください。**	ーー

	症状	原因	処置	参照ページ
DVD部	DVDの操作ができない	※ビデオランプが点灯している。	●本体のビデオ/DVDボタン、または リモコンのDVDボタンを押し、DVDランプを点灯させてください。	26
	画像がでない	※映像コードがはずれている。 ※違う種類のディスクが入っている。 ※コピーガード機能が働いている。 ※ビデオランプが点灯している。 ※プログレッシブスキャンモードになっている。（表示部に"P．SCAN"が点灯している）	●映像コードをしっかり接続する。 ●DVD（リージョン番号2、ALL)、音楽用CD以外の物が入っていないか確認する。 ●本機とテレビを直接接続する。 ●本体のビデオ/DVDボタン、または リモコンのDVDボタンを押し、DVDランプを点灯させてください。 ●プログレッシブ出力時は、S端子と映像出力端子からは画像が出力されません。本体DVD側の"再生"ボタンを5秒間以上押し続けてください。	21-23 11 19 26 23
	再生が始まらない	※結露が発生している。 ※ディスクが入っていない。 ※ディスクが裏返しに入っている。 ※ディスクが汚れている。 ※パレンタル設定(視聴制限)が有効になっている。	●電源プラグをコンセントへ差し込み、約1～2時間放置する。 ●ディスクを入れる。 ●ディスクのラベル面を上にして、正しく入れ直す。 ●ディスクを清掃する。 ●パレンタル設定を解除するか、規制レベルを変更する。	9 62 62 9 103-104
	音声がでない	※音声コードがはずれている。 ※音声出力の選択が正しくない。 ※音声接続をしている機器の電源が入っていない。 ※音声接続をしている機器の入力切換が正しくない。 ※DTS音声を再生している。	●音声コードをしっかり接続する。 ●音声出力の選択を正しく行う。 ●音声接続をしている機器の電源を入れる。 ●音声接続をしている機器の入力切換を正しく行う。 ●本機はDTSをサポートしていません。	21-25 101-102 －－ －－ －－
	マルチチャンネルドルビーサウンドにならない	※間違ったケーブルを使用している。	●マルチチャンネルドルビーサウンドを楽しむには、同軸デジタルケーブルまたは光デジタルケーブルを使用し、マルチチャンネルドルビーデジタル対応アンプやデコーダーとの接続が必要です。	25 101-102
	映像が乱れる	※コピーガード機能が働いている。 ※早送り、早戻しをした直後である。 ※携帯電話など電波を発生する機器を近くで使用している。	●本機とテレビを直接接続する。 ●画像が多少乱れることがありますが、故障ではありません。 ●本機から離して使用する。	19 －－ 64
	セットアップで選んだ音声言語、字幕言語にならない	※DVDディスクにセットアップで選んだ音声言語、字幕言語が記録されていない。	●DVDディスクにその音声言語や字幕言語が記録されているか確認する。	96-98
	アングルを変えて見ることができない	※DVDディスクに複数のアングルが記録されていない。	●DVDディスクに複数のアングルが記録されているか確認する。	90
	音声言語、字幕言語の切り換えができない	※DVDディスクに複数の音声言語、字幕言語が記録されていない。	●DVDディスクにその音声言語や字幕言語が記録されているか確認する。	96-98
	テレビ画面に"🚫"が表示され、操作できない	※本機またはディスクがその操作を禁止しています。	●故障ではありません。	64
	再生中に画像が動かなくなる	※ディスクがDVDディスクの仕様を満たしていない。 ※ディスクが汚れている。 ※ディスクにキズがある。 ※2層ディスクが1層から2層に切り換わった。	●停止ボタンを押してから、再生ボタンを押してみる。 ●ディスクを清掃する。 ●電源プラグをコンセントから抜き再度接続して再生する。 ●映像が一瞬止まることがありますが、故障ではありません。	－－ 9 －－ －－
	DVDランプからビデオランプに勝手に切り換わる	※停止状態で30分経過すると、自動的にDVDの電源「切」状態になります。	●本体のビデオ/DVDボタン、または リモコンのDVDボタンを押し、DVDランプを点灯させる。	26
	"ディスクエラー —ディスクを取り出してください。— 再生可能なディスクを挿入してください。" と画面表示される	※再生できないディスクが入っている。 ※ディスクが汚れている。 ※ディスクが裏返しに入っている。 ※ディスクにキズがある。	●再生できるディスクを入れる。 ●ディスクを清掃する。 ●ディスクのラベル面を上にして正しく入れ直す。 ●キズのないディスクと取り換えて再生する。	11 9 62 9
	"リージョンエラー —ディスクを取り出してください。— この地域での再生は禁止されています。このディスクのリージョンは：1＊＊＊＊＊" と画面表示される	※リージョン番号「2」または「ALL」以外のディスクが入っている。	●リージョン番号「2」または「ALL」のディスクを入れる。	11
	"パレンタルエラー 現在のパレンタル設定では再生が制限されています。"と画面表示される	※パレンタル設定が有効になっている。	●パレンタル設定を変更する。	103-104

あどばいす

- 機能によっては一部の操作状態で利用できないことがありますが、これは故障ではありません。正しい操作方法については、本文の説明をよくお読みください。
- ディスクにより音量が異なることがありますが、ディスクの記録方式の違いによるもので故障ではありません。

■ 索引

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

ら行

英数字

■ 用語の解説

用語	説明
拡張子	OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表す文字符号です。ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。
黒レベル	暗部の階調を補正し、映画などの暗いシーンでも見やすくする機能です。
視聴制限（パレンタルレベル）	DVDディスクの中には、ディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。ディスクを再生したときの規制レベルを本機は設定することができます。
初期設定	本機でディスクを再生して楽しむための、映像出力設定や視聴制限（パレンタルレベル）などを設定します。
ズーム	テレビ画面で見ている映像の一部を、拡大表示する機能です。
タイトル	DVDビデオディスクに複数の映画が入っているときなど、各映画の題名（タイトル）などをいいます。
ダイナミックレンジ	ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。デシベル(dB)単位で測定されます。ダイナミックレンジを圧縮する(オーディオDRC)と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。
チャプター	タイトルの中にある章をチャプターと言います。
ディスクメニュー	DVDビデオディスクに記録されているメニューで、字幕の言語や吹き替え音声などを選ぶことができます。
トップメニュー	DVDビデオディスクで、再生するチャプターや字幕の言語などを選ぶメニューのことです。トップメニューを「タイトル」と呼ぶものもあります。
トラッキング	ビデオテープ再生中に画面にでたノイズを少なくし、きれいな再生画像になるように調整することです。
トラック	音楽用CDの各曲をトラックと言います。
ドルビーデジタル（3/2.1ch）	ドルビーラボラトリーズが開発した立体音響効果のことです。最大5.1chの独立したマルチチャンネルオーディオシステムです。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして採用されているドルビーデジタルと同一のシステムです。ドルビーデジタルを楽しむには、本機のデジタル出力端子とドルビーデジタル対応アンプやデコーダーのデジタル入力端子を接続することが必要です。
光デジタル音声出力	音声は通常、電気信号に変えてDVDからアンプなどのほかの機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバで伝達できるようにしたものが光デジタル音声出力です。
ピックアップレンズ	ディスクに記録されている信号を、光学的に読み取る部分のことです。
ビットレート	ディスクに記録された映像・音声のデータを1秒間に読み込む量をあらわします。

用語	説明
プログレッシブ	1回の画面表示を2回の走査で行う従来のインターレース（飛び越し走査）方式に対し、1回の画面表示を1回の走査で行う方式をプログレッシブ（順次走査）方式といい、ちらつきの少ない高密度の映像を楽しめます。
マルチアングル	同じ画像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめます。
リジューム	ディスクの再生中に一度停止すると、停止した位置を本機がメモリーし、停止した位置から続けて再生することができる機能です。
リニアPCM	Pulse Code Modulationの略でデジタル音声のことをいいます。リニアPCMとは圧縮していないPCM信号です。CDの音声と同じ方式ですが、DVDの場合、サンプリング周波数が48kHzや96kHzで記録されており、CDよりも高音質の音声が楽しめます。
リニアPCM音声	音楽用CDなどに用いられている信号記録方式です。
リージョン番号 （再生可能地域番号）	DVDは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクの番号をリージョン番号といいます。
CPRM	Content Protection for Recordable Media CPRMとは、「1回だけ録画可能」番組に対してスクランブルをかけて録画する著作権保護システムです。
DRC	音声の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調節します。 DRCオン/オフを切り換えることによって、テレビの会話などが聞きづらいときや、深夜に映画を見るようなときに効果があります。
D1/D2映像出力端子 （D端子）	デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号出力端子です。D映像入力端子やコンポーネント映像入力（Y、P_B/C_B、P_R/C_R）端子でテレビと接続することにより、よりきれいな映像が楽しめます。
JPEG	Joint Photographic Experts Groupの略で、静止画像データの圧縮方式の一つです。データサイズを小さく出来るので、広く使われています。
MPEG	Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。DVDの映像/音声はこの方式で記録されています。
NTSC方式	National Television System Committeeの略で、主に日本やアメリカで使われているテレビの信号方式です。
VHF放送とUHF放送	VHF放送は1〜12チャンネル、UHF放送は13〜62チャンネルでご覧になれます。
4:3パンスキャン	4：3のテレビと本機を接続しワイド（16：9）ディスクを再生したときに、再生画像の左右をカットし4：3のサイズにする機能です。 テレビ画面
4:3レターボックス	4：3のテレビと本機を接続しワイド（16：9）ディスクを再生したとき、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です。 テレビ画面

その他

■ 仕様

● 仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

区分	項目		仕様
ビデオ部	テレビシステム		NTSC方式
	ビデオヘッド		回転式4ヘッド
	録画システム		回転2ヘッドヘリカルスキャン輝度信号FM方式、 色信号低域変換直接記録方式VHS規格
	音声トラック		ハイファイ音声トラック：2チャンネル ノーマル音声トラック：1チャンネル
	使用テープ		1/2インチ(VHS)
	テープ速度		「標準」：33.4mm/秒、「3倍」：11.1mm/秒
	最大録画再生時間		「標準」：2時間40分(T-160使用時) 「3倍」：8時間(T-160使用時)
	受信チャンネル		VHF：1～12チャンネル、UHF：13～62チャンネル、CATV：C13～C63チャンネル
	受信方式		インターキャリア方式
	タイマー表示		午前/午後12時間システム
DVD部	形式		DVDビデオ、音楽用CD、JPEG用CD
	使用ディスク		11ページ参照
	出力信号方式		NTSCカラー方式
	周波数特性		DVD(リニア音声) 20Hz～22kHz(48kHzサンプリング周波数) 20Hz～44kHz(96kHzサンプリング周波数) 音楽用CD 20Hz～20kHz(JEITA)
	信号対雑音比(S/N比)		CD：100dB(JEITA)
	ダイナミックレンジ		DVD(リニア音声)：90dB、CD：85dB(JEITA)
	総合ひずみ率		CD：0.008%、DVD：0.008%
	ワウ・フラッタ		測定限界(±0.001% W PEAK)以下
端子	ビデオ部	アンテナ入力	VHF/UHF：F形コネクター(一軸)
		アンテナ出力	VHF/UHF：F形コネクター(一軸)
		映像入力	ピンジャック×2(背面1、前面1)
		音声入力	ピンジャック×4(背面2、前面2)
	ビデオ/DVD共用部	映像出力	ピンジャック×1(背面1)
		音声出力	ピンジャック×2(背面2)
	DVD部	S映像出力	ミニDIN 4pin (75Ω) (C) 0.286V(p-p) (75Ω) (Y) 1.0 V(p-p) (75Ω)
		コンポーネント映像出力	D1/D2出力端子
		光デジタル音声出力	光コネクター
		同軸デジタル音声出力	ピンジャック×1　0.5V(p-p) (75Ω)
		アナログ音声出力	ピンジャック×2(背面2) 2V(ms) (100kΩ)
電気的仕様	映像出力インピーダンス		75Ω
	映像出力レベル		1.0Vp-p
	音声出力レベル		–6dBv
	映像入力レベル		0.5～2.0Vp-p
	音声入力レベル		–10dBv
	映像S/N比		45dB以上
	音声S/N比		40dB以上
	ハイファイ音声		周波数特性：20～20000Hz、ワウ・フラッタ：0.05%WRMS以下 ダイナミックレンジ：80dB以上
その他	電源		AC100V/50Hz, 60Hz
	消費電力		約18W 待機時3.3W
	停電保証		約30秒
	許容温度範囲		5℃～40℃
	許容湿度範囲		80%以下
	寸法		435mm(幅)×94mm(高さ)×233mm(奥行)
	質量		約2.7kg

■ アフターサービスについて

1）保証書（梱包箱に貼り付けしてあります。）
保証書に販売店名と購入日（購入日を証明する納品書や領収書）がありませんと保証期間内でも万一故障がある場合に有償修理になることがあります。内容をご確認のうえ、本取扱説明書とともに大切に保管してください。

2）保証期間はお買い求めの日から1年間です。
本機は一般家庭用として作られています。各種の消耗部品については、業務用や特殊使用の場合、保証期間内でも「**有償修理**」となります。

3）アフターサービスのご依頼について

◆保証期間中、万一製品が故障してしまった場合
この取扱説明書の「**故障かな?と思ったら**」をよくお読みになり、点検を繰り返しても正常に作動しないときは、製品に保証書を添えて、販売店にご持参いただくか、または最寄りのサービスセンターまで梱包のうえ、ご送付ください。
（製品が破損しないようにご注意ください。）保証書の記載内容にしたがって修理させていただきます。

◆保証期間を過ぎて製品が故障してしまった場合
販売店にご持参いただくか、または最寄りのサービスセンターまで運賃元払い（お客様ご負担）にて、下記枠内の内容を記載した用紙を添付し、ご送付ください。修理によって製品の機能を維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理をご依頼される際にご連絡いただきたい内容：
- ご住所・ご氏名・電話番号
- 故障または異常の内容
- 製品型番・製造番号・ご購入日

4）アフターサービスについてご不明な点は…
販売店、または最寄りの**船井サービスセンター**までお問い合わせください。

5）補修用性能部品の最低保有期間
この製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、製造打切後最低8年間保有してあります。

ご購入メモ

■ご購入記録として下記内容をご記入ください。
（この製品の製造番号は背面および保証書に記載してあります。）

お買い上げ年/月/日	年　　月　　日
お買い上げ店名/住所/電話番号	☎
お買い上げ製品の型番	DV-140V
お買い上げ製品の製造番号	

愛情点検

●長年ご使用の製品の点検を！

（熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか

- ●再生しても映像や音がでない。
- ●変なにおいがしたり、煙がでたりする。
- ●内部に水や異物が入った。
- ●時計表示などに異常がある。
- ●ディスクを傷めた。
- ●その他の異常や故障がある。

ご使用中止

このようなときは、故障や事故防止のためスイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ずお買い求めの販売店にご連絡ください。

■本製品についてのご質問やその他ご不明な点は、下記**お客様ご相談室**までお問い合わせください。

【船井電機株式会社　お客様ご相談室】

☎(072) 871－1110　FAX(072) 871－1199

■インターネットからもお問い合わせを受け付けております。
詳しくは、船井電機株式会社ホームページ（ **http://www.funai.jp**）の「**お客様ご相談室**」をご覧ください。

■お問い合わせをいただく場合、下記内容をお知らせください。
● お名前・ご住所・電話番号　● 製品型番・製造番号・ご購入日・ご購入店名

■お客様が船井電機株式会社およびグループ会社にお電話でご連絡をいただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。

■ご相談、ご依頼をいただいた内容によっては、サービス活動およびその後の安全点検活動のために、弊社のグループ会社および秘密保持契約において厳正に管理された業務依託先に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。

■故障の場合は、お買い上げの販売店または船井サービスセンターまでお問い合わせください。
■ご質問の際は、お買い上げの販売店またはDXアンテナ家電営業部までお問い合わせください。

【船井サービス株式会社】

北海道サービスセンター	〒060-0061　北海道札幌市中央区南一条西10-4 南大通ビルアネックス1Ｆ **☎(011) 281－0130　FAX（011）281－0137**
東北サービスセンター	〒984-0046　宮城県仙台市若林区二軒茶屋3-5 鴫原ビル1Ｆ **☎(022) 299－1658　FAX（022）299－1662**
関東サービスセンター	〒192-0363　東京都八王子市別所1-18-10 **☎(0426) 79－5402　FAX（0426）79－5406**
中部サービスセンター	〒466-0064　愛知県名古屋市昭和区鶴舞3-4-3 富田ビル2Ｆ **☎(052) 735－0440　FAX（052）735－0441**
近畿サービスセンター	〒577-0012　大阪府東大阪市長田東3-2-43 長田SKパークビル1Ｆ **☎(06) 6746－3373　FAX（06）6746－3374**
中国/四国サービスセンター	〒708-0015　岡山県津山市神戸88 **☎(0868) 28－7586　FAX（0868）28－1746**
九州サービスセンター	〒812-0014　福岡県福岡市博多区比恵町17-7 サンシティパーキングビル1Ｆ **☎(092) 475－1252　FAX（092）475－3227**

■付属品、部品については、サービスセンターでお求めいただけます。
■本製品についてのインターネットによる修理のご依頼や、付属品のオンラインショッピングは
http://www.funai.info をご覧ください。

【DXアンテナ株式会社】

家電営業部（東日本）	〒130-0026　東京都墨田区両国4丁目21番4号 両国三和ビル2F **☎(03) 3846－3950　FAX（03）3846－3990**
家電営業部（西日本）	〒532-0011　大阪市淀川区西中島7丁目4番17号 新大阪上野東洋ビル8F **☎(06) 6889－1530　FAX（06）6889－1540**

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

・札幌支店 TEL.(011)822-1251(代)	・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100(代)	・豊橋出張所 TEL.(0532)69-2370(代)	・広島支店 TEL.(082)237-5331(代)
・東北支店 TEL.(022)243-2141(代)	・新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代)	・三重営業所 TEL.(059)226-1643(代)	・岡山営業所 TEL.(086)245-2948(代)
・盛岡出張所 TEL.(019)636-1581(代)	・茨城営業所 TEL.(029)826-5341(代)	・金沢支店 TEL.(076)261-9988(代)	・高松営業所 TEL.(087)868-1222(代)
・郡山出張所 TEL.(024)921-7131(代)	・千葉支店 TEL.(043)253-1121(代)	・富山営業所 TEL.(076)422-7878(代)	・松山営業所 TEL.(089)925-3826(代)
・東京西営業所 TEL.(03)3354-8451(代)	・静岡営業所 TEL.(054)281-0141(代)	・大阪支店 TEL.(06)6304-5651(代)	・福岡支店 TEL.(092)541-0168(代)
・東京東営業所 TEL.(03)3633-1411(代)	・浜松営業所 TEL.(053)461-6885(代)	・堺営業所 TEL.(072)278-5311(代)	・北九州営業所 TEL.(093)922-6556(代)
・東京システム事業部 TEL.(03)3341-5282(代)	・中部支店 TEL.(052)771-5106(代)	・京都営業所 TEL.(075)382-6141(代)	・大分営業所 TEL.(097)504-7799(代)
・多摩営業所 TEL.(042)572-4911(代)	・松本出張所 TEL.(0263)27-7801(代)	・神戸支店 TEL.(078)974-7100(代)	・熊本営業所 TEL.(096)325-0711(代)
・横浜支店 TEL.(045)651-2557(代)			・南九州営業所 TEL.(099)267-8211(代)
・埼玉支店 TEL.(048)652-3311(代)			・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代)

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代)　東京支社/〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目11番4号 長崎第1ビル3F TEL.(03)3341-4569(代)
カスタマーセンター TEL.(078)682-0455 受付時間 9:30～12:00/13:00～17:00(土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く)　ホームページアドレス http://www.dxantenna.co.jp/

※ 所在地、電話番号は都合により変更する場合がございますので、ご了承ください。（2006年 3月 現在）

販売元: **DXアンテナ株式会社**　〒652-0807 兵庫県神戸市兵庫区浜崎通2番15号
製造元: **船井電機株式会社**　〒574-0013 大阪府大東市中垣内7丁目7番1号

E8A75JD
★★★★★1VMN22456